

令和6年度
第4回葛飾区区民モニターアンケート
調査報告書

- －「葛飾区立図書館の運営について」－
- －「シェアサイクルについて」－
- －「妊婦・子育て世帯向け給付・助成制度について」－

令和6年12月



目次

I	調査概要	1
1.	調査の目的	1
2.	調査のテーマ	1
3.	調査の設計	1
4.	調査機関	1
5.	報告書の表記について	1
II	回答者の属性	2
III	調査結果の詳細	6
1.	葛飾区立図書館の運営について	6
(1)	葛飾区立図書館利用の有無	9
(2)	葛飾区立図書館を利用しなくなった理由	11
(3)	葛飾区立図書館を利用する理由	13
(4)	充実してほしい図書館サービスについて	15
(5)	充実してほしい図書館の設備・スペースについて	17
(6)	ICTの活用で利用してみたい図書館サービス	19
(7)	葛飾区立図書館電子書籍サービス利用の有無	21
(8)	葛飾区立図書館電子書籍サービスを利用しない理由	23
(9)	葛飾区立図書館電子書籍サービスを知るきっかけ	25
(10)	葛飾区立図書館電子書籍サービスの利用頻度	27
(11)	電子書籍サービスの良いところについて	29
(12)	電子書籍サービス利用時に不便に感じる点	31
(13)	電子書籍サービス・ホームページの中でよく利用するページについて	33
(14)	電子書籍を読む場所について	35
(15)	電子書籍サービスで利用したいジャンルについて	37
(16)	葛飾区立図書館に対するご意見・ご要望	39
2.	シェアサイクルについて	42
(17)	よく利用する交通手段	44
(18)	区内を移動するとき、不便を感じる点	46
(19)	区内でシェアサイクルを実施していることを知っているか	48
(20)	区内でシェアサイクルを実施していることをどのような手段で知ったか	50
(21)	シェアサイクルを利用したことがあるか	52
(22)	シェアサイクルを利用した理由	54

(23) シェアサイクルを利用しない理由	56
(24) 今後利用したいと思うか	58
(25) どんな場所にあると便利だと思うか	60
(26) 電動キックボードを利用したいと思うか	63
(27) シェアサイクルについて	65
3. 妊婦・子育て世帯向け給付・助成制度について	67
(28) 妊婦・子育て世帯向け給付・助成制度を知っているか	69
(29) 妊婦・子育て世帯向け給付・助成制度を利用したことがあるか	71
(30) 制度をどのように知ったか	73
(31) 効果的な広報活動について	75
(32) 妊婦・子育て世帯向けの給付・助成制度についてのご意見	77

I 調査概要

1. 調査の目的

区が実施している施策や区が発信している情報等について、無作為に選定した方から公募により決定した「区民モニター」から、適時かつ具体的なご意見を収集することにより、区政への活用を図るもの。

2. 調査のテーマ

- (1) 葛飾区立図書館の運営について
- (2) シェアサイクルについて
- (3) 妊婦・子育て世帯向け給付・助成制度について

3. 調査の設計

- (1) 調査対象 無作為に選定した18歳以上の区民4,000人から公募により決定した区民モニター500名
- (2) 調査方法 インターネットでの回答
- (3) 調査期間 令和6年11月12日（火）～11月30日（土）
- (4) 有効回収数 390名

4. 調査機関

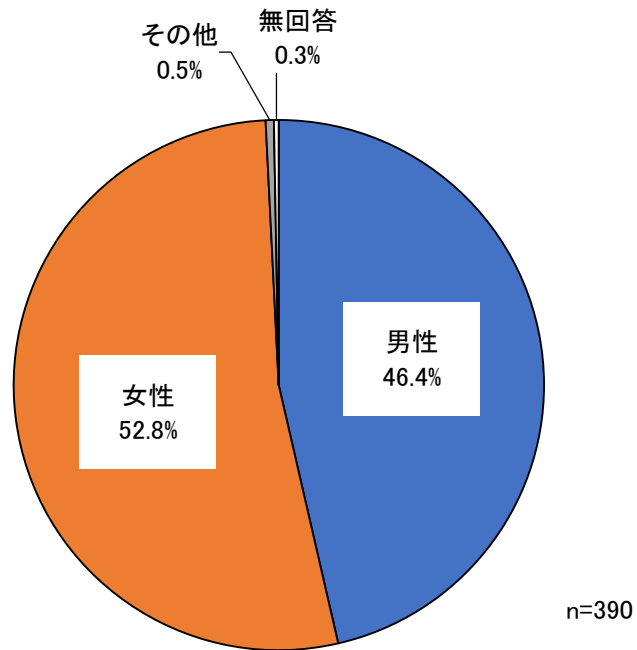
株式会社都市計画21

5. 報告書の表記について

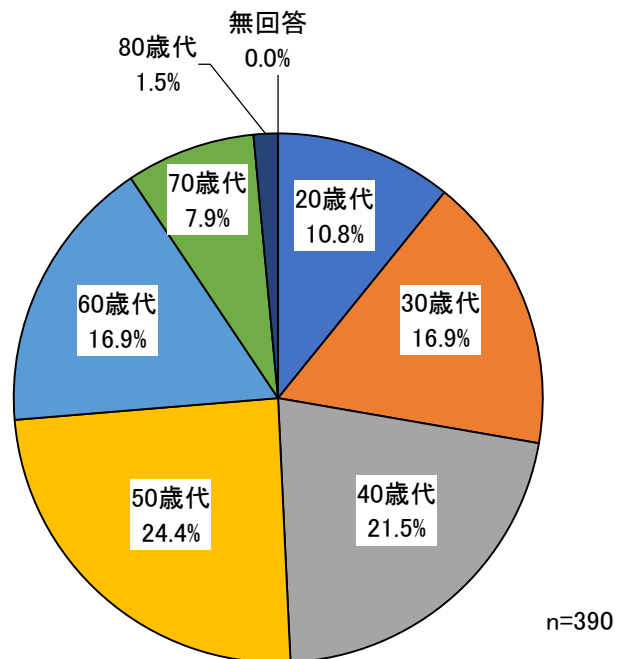
- (1) 比率は全て百分率で表記し、小数点以下第2位を四捨五入して算出している。そのため、四捨五入によって生じる誤差により、百分率の合計が100%にならない場合がある。
- (2) “n”は各設問の回答数を示している。比率はnを母数として、算出している。
- (3) 複数回答の設問では、1人が複数の回答を選択可能なため、各選択肢における回答数の合計が100%を超過している。
- (4) 年齢層・年代別の20歳代には、18歳・19歳を含んでいる。
- (5) 年齢層・年代別の80歳代には、90歳以上を含んでいる。

II 回答者の属性

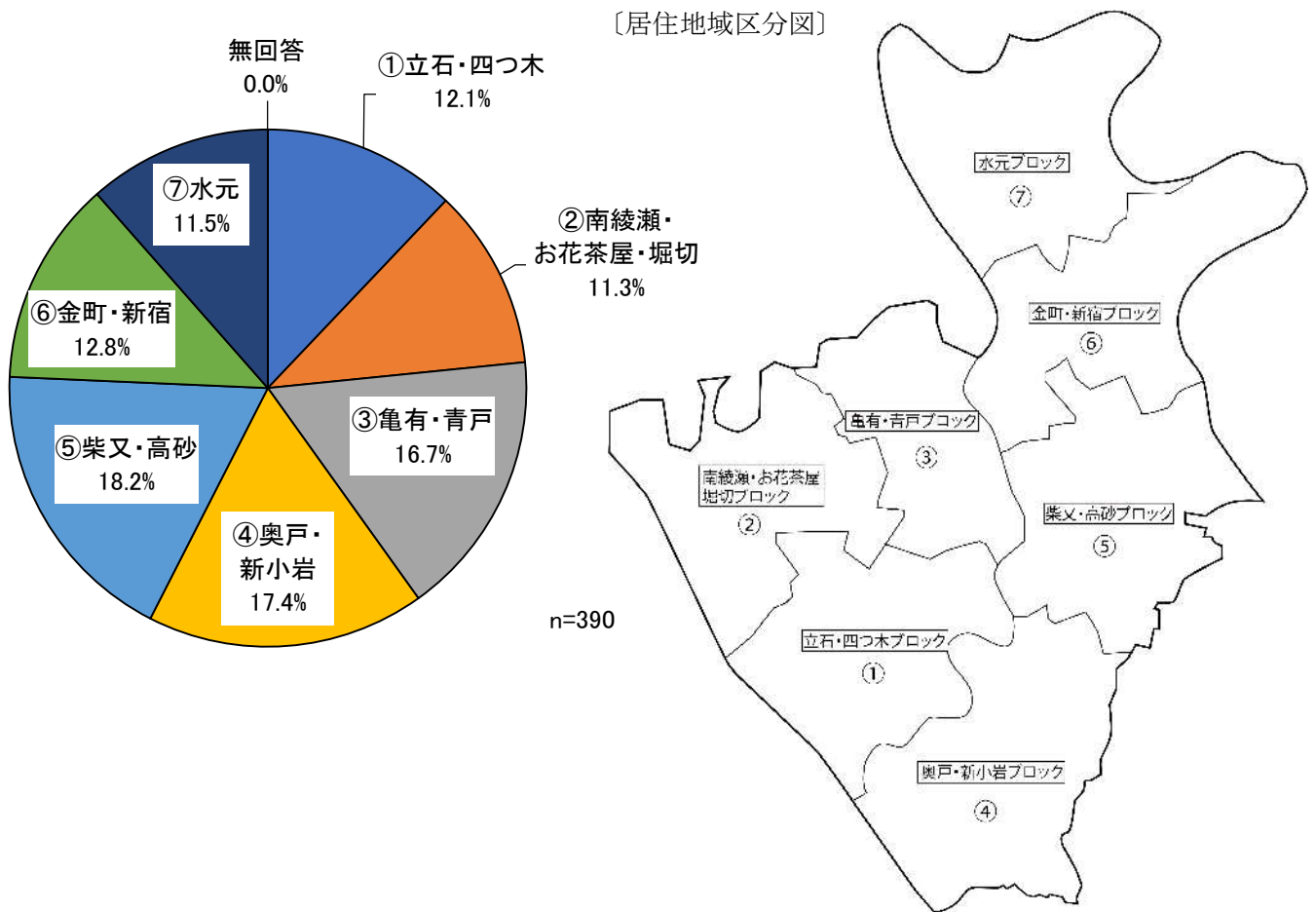
(1) 性別



(2) 年齢層



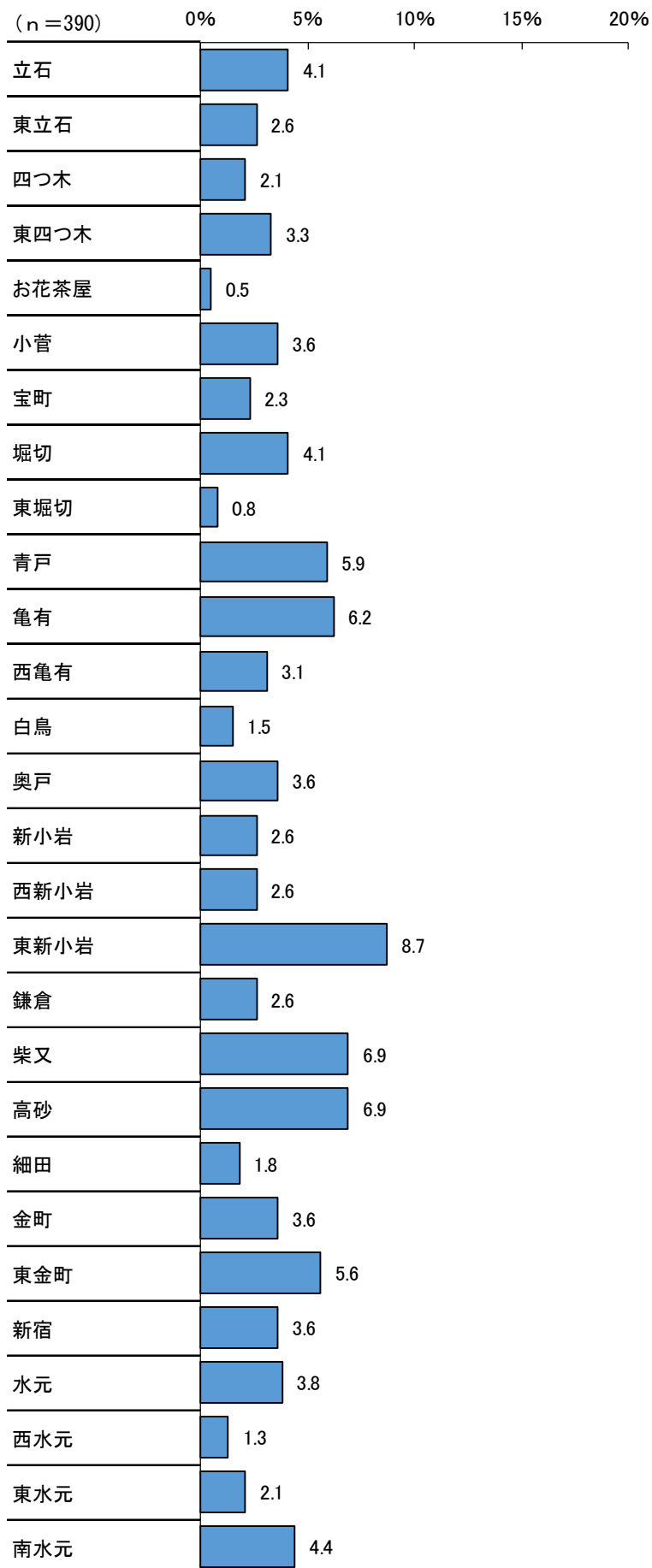
(3) 居住地域 (7区分)



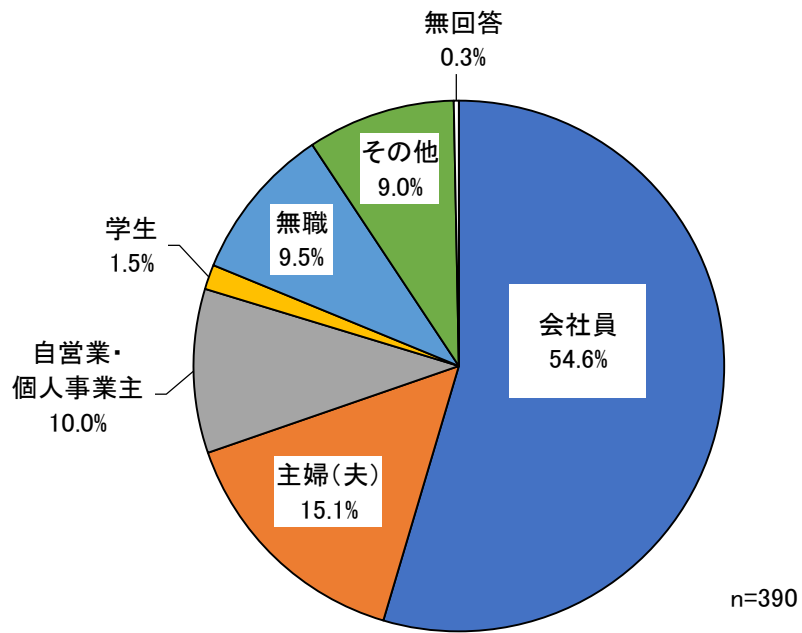
〔居住地域区分表〕

	ブロック名	町名
1	立石・四つ木ブロック	立石・東立石・四つ木・東四つ木
2	南綾瀬・お花茶屋・堀切ブロック	お花茶屋・小菅・宝町・堀切・東堀切
3	亀有・青戸ブロック	青戸・亀有・西亀有・白鳥
4	奥戸・新小岩ブロック	奥戸・新小岩・西新小岩・東新小岩
5	柴又・高砂ブロック	鎌倉・柴又・高砂・細田
6	金町・新宿ブロック	金町・東金町・新宿
7	水元ブロック	水元・西水元・東水元・南水元

(4) 居住地域 (28区分)



(5) 職業



(6) 居住地域別 (7区分) × 性別・年代別

(%)

		立石・四つ木	南綾瀬・お花茶屋・堀切	亀有・青戸	奥戸・新小岩	柴又・高砂	金町・新宿	水元	無回答
n									
【性別】	全体 (390)	12.1	11.3	16.7	17.4	18.2	12.8	11.5	
	男性 (181)	13.8	8.3	13.8	19.9	19.3	15.5	9.4	
	女性 (206)	10.2	13.6	19.4	15.5	17.5	10.2	13.6	
	その他 (2)	50.0				50.0			
【年代別】	20歳代 (42)	16.7	7.1	19.0	14.3	16.7	11.9	14.3	
	30歳代 (66)	7.6	15.2	13.6	16.7	24.2	10.6	12.1	
	40歳代 (84)	13.1	10.7	21.4	21.4	13.1	13.1	7.1	
	50歳代 (95)	10.5	9.5	13.7	23.2	16.8	14.7	11.6	
	60歳代 (66)	12.1	15.2	12.1	12.1	19.7	10.6	18.2	
	70歳代 (31)	19.4	6.5	25.8	3.2	22.6	19.4	3.2	
	80歳代 (6)	16.7	16.7	33.3	16.7	16.7	16.7		

Ⅲ 調査結果の詳細

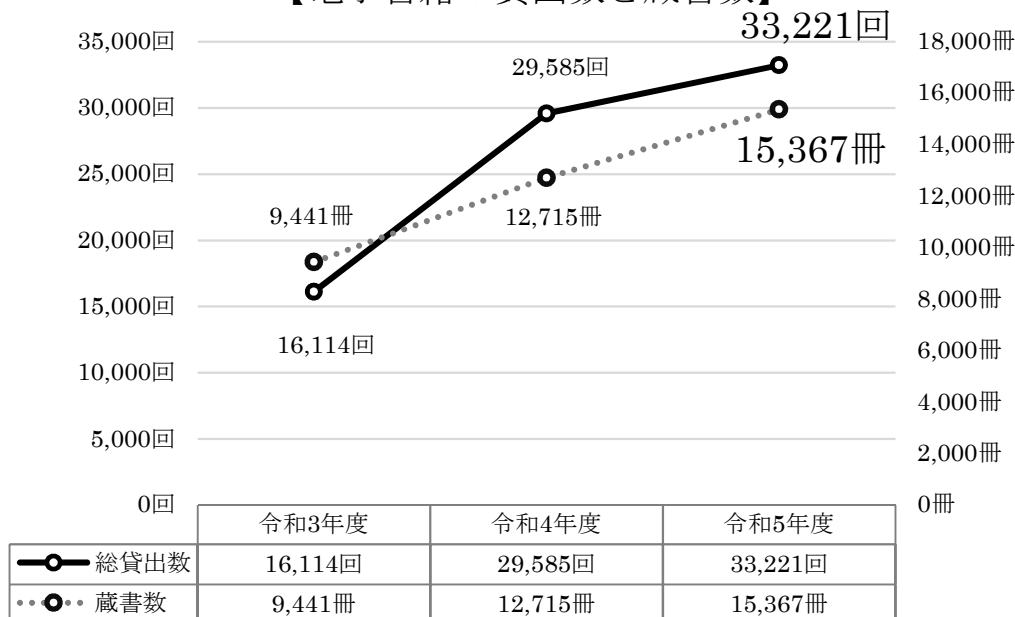
1. 葛飾区立図書館の運営について

葛飾区立図書館では、これからの図書館運営の基本的な考え方として令和6年3月に「葛飾区立図書館の基本的な考え方【取組方針】」を策定しました。「いつでも、どこでも、だれにでも 区民の拠り所となる図書館」を目指し、電子書籍の充実など ICT を活用した非来館者サービスについて検討を進めています。

今後の区民の利便性向上を図るため、新しい図書館サービスについて、区民の皆様のご意見を伺います。

「いつでも、どこでも、だれにでも 区民の拠り所となる図書館」を目指して

【電子書籍の貸出数と蔵書数】



インターネットやスマートフォンの普及に加え、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、テレワーク、オンライン会議・授業などが急速に普及しています。

葛飾区立図書館では、図書館に来館しなくても「いつでも・どこでも・手軽に」読書を楽しめる環境を提供するため、インターネットに接続できる端末からご利用いただける非来館者サービスとして、令和3年9月に電子書籍サービスを開始しました。毎年計画的に拡充しており、令和7年度中に約2万冊の電子書籍をお読み頂けるよう整備する予定としております。また、新たな取組として、ナレーターや声優が朗読した「聴く本」である「オーディオブック」の提供も開始いたします。電車などの移動時間や家事の最中など、生活の中での「ながら読書」に、ぜひご活用頂きたいと考えております。

令和8年度以降は、約2万冊の電子書籍を維持するとともに、2年間でライセンスが消滅する期間限定型の電子書籍については、貸出状況や情報の新しさに応じてコンテンツを買い替えるなどして、電子書籍の魅力や鮮度を高めていきます。

さらに、電子書籍サービスを幅広い年代の方にご利用いただくため、令和5年度から、主にご高齢の方を対象とした電子書籍の使い方体験会を開催しております。

また、中学生に電子書籍を利用するための利用者ID及びパスワードを配付する「かつしかっ子ブック（中学生向け電子書籍）」事業において、区立中学校の生徒用タブレット端末全台のホーム画面に電子書籍サービスに直接アクセスできるアイコンを追加するなど、読書活動の推進に取り組んでおります。令和7年度は、対象年齢の拡充を進め、小学5、6年生向けに「かつしかっ子ブック（小学校高学年向け電子書籍）」事業を開始する予定としております。



利用者の利便性の向上とプライバシーの確保を図るため、各地域図書館に ICT 機器（自動貸出機、セルフ予約棚、簡易返却機）の導入を進めております。令和6年10月に鎌倉図書館に導入し、90%以上の方に自動貸出機をご利用頂いています。令和7年度以降も計画的に導入を進めてまいります。

また、葛飾区立図書館の会議室の有効利用を図るため、空き会議室を学習室等のスペースとして開放しております。現在、中央図書館を含む5館（お花茶屋・上小松・亀有・鎌倉図書館）で実施し、各館の利用可能日時を葛飾区立図書館ホームページで公開しております。また、中央図書館の個人閲覧席について、葛飾区立図書館ホームページから予約できるようにいたしましたので、ぜひご活用ください。

そして、分かりやすく利用しやすい開館日・時間とするため、令和6年4月から、地区図書館の火曜日から土曜日までの開館時間を午前10時から午後6時までに拡大しました（にいじゅく地区図書館は月曜日から土曜日まで）。また、地域図書館児童室の利用時間を午後6時までに延長しました。さらに、年末年始開館についても見直しを行い、令和6年度の年末年始から、中央図書館及び立石図書館の開館日を12月29日、12月30日、1月3日とするとともに、地域図書館5館（お花茶屋・上小松・亀有・水元・鎌倉図書館）も12月29日、12月30日、1月3日を開館いたしました。

今後も、令和6年3月に策定した「葛飾区立図書館の基本的な考え方【取組方針】」に基づき、「いつでも、どこでも、だれにでも 区民の拠り所となる図書館」を実現するために、効率的・効果的な図書館運営を行ってまいります。

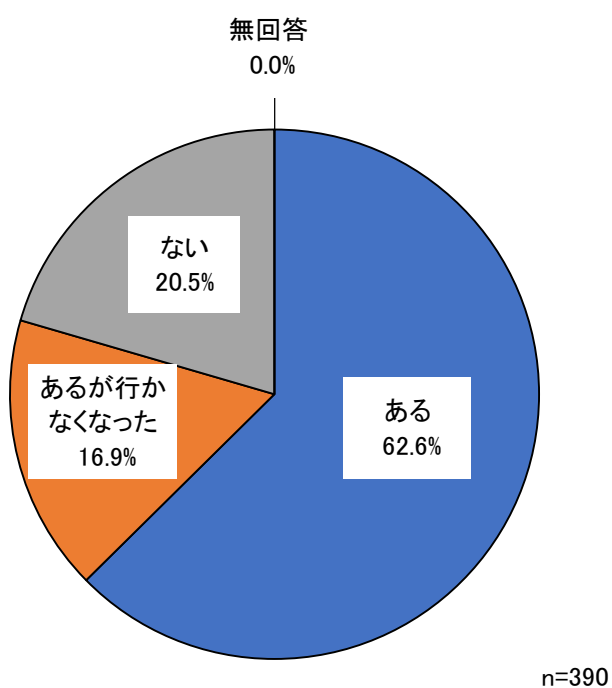
(1) 葛飾区立図書館利用の有無

問1 葛飾区立図書館を利用したことはありますか。(1つ選択)

葛飾区立図書館利用の有無については、「ある」が62.6%、「あるが行かなくなった」が16.9%、「ない」が20.5%となっている。

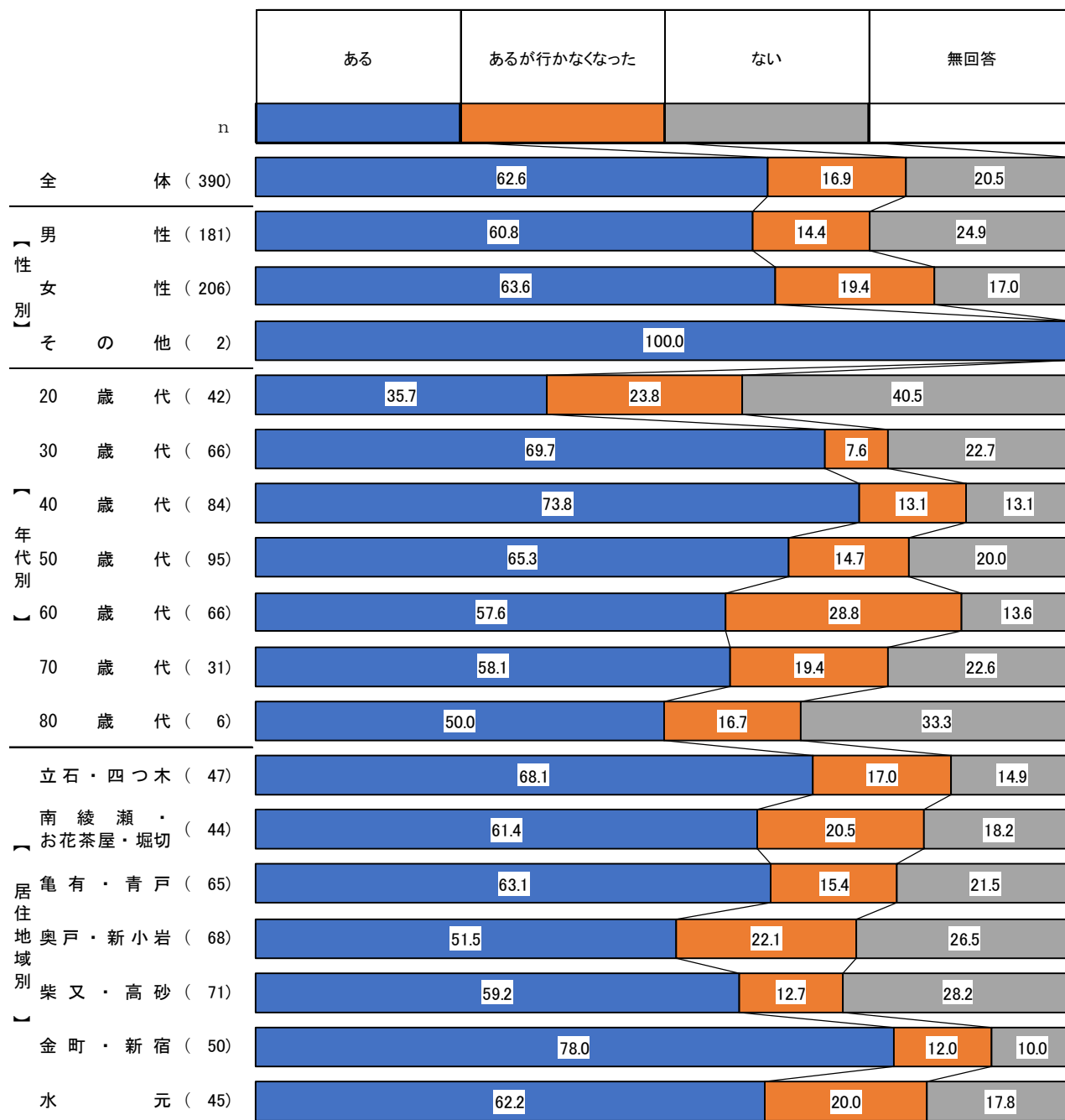
年代別でみると、「ある」は30歳以上の年代で5割以上となっている。一方、20歳代では4割未満と低くなっている。

図表-1 葛飾区立図書館利用の有無（全体）



図表－２ 葛飾区立図書館利用の有無
 (全体・性別・年代別・居住地域別)

(%)



(2) 葛飾区立図書館を利用しなくなった理由

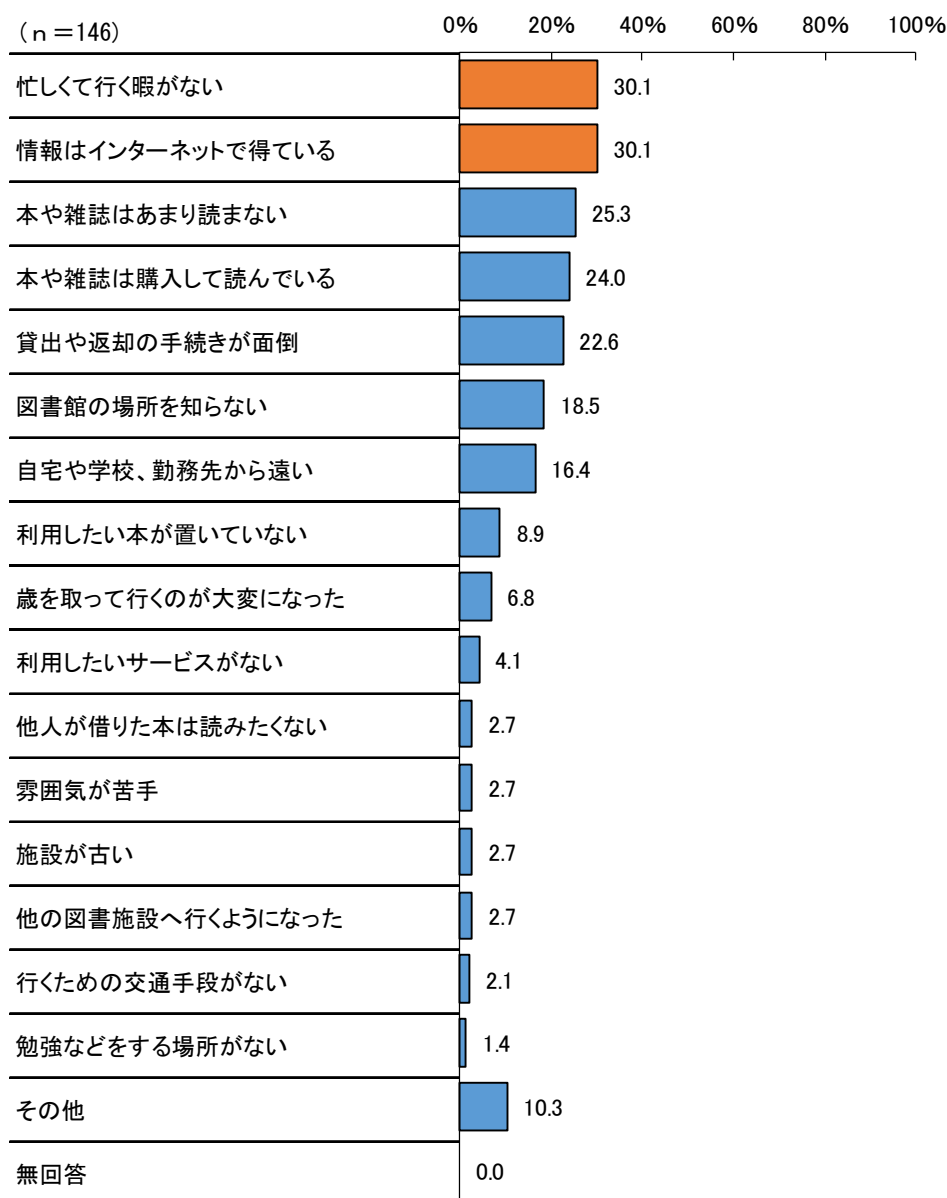
問2 問1で選択肢2「あるが行かなくなった」及び選択肢3「ない」と答えた方にお伺いします。その理由はなぜですか。(あてはまるものを全て選択)

葛飾区立図書館を利用しなくなった理由については、「忙しくて行く暇がない」と「情報はインターネットで得ている」が30.1%で最も高くなっている。

年代別でみると、「忙しくて行く暇がない」は、30歳代、40歳代、50歳代で4割以上と高くなっている。また、「情報はインターネットで得ている」は60歳代が42.9%で最も高くなっている。

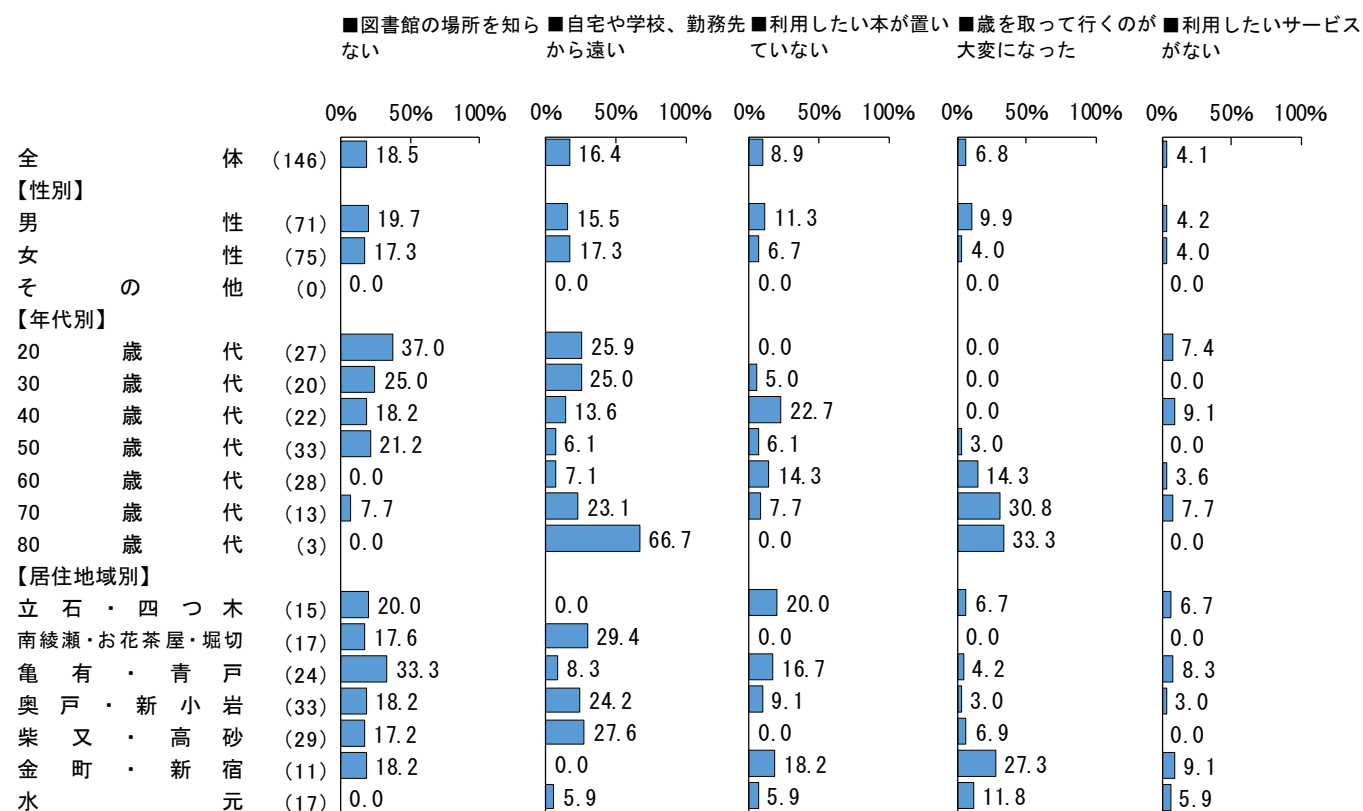
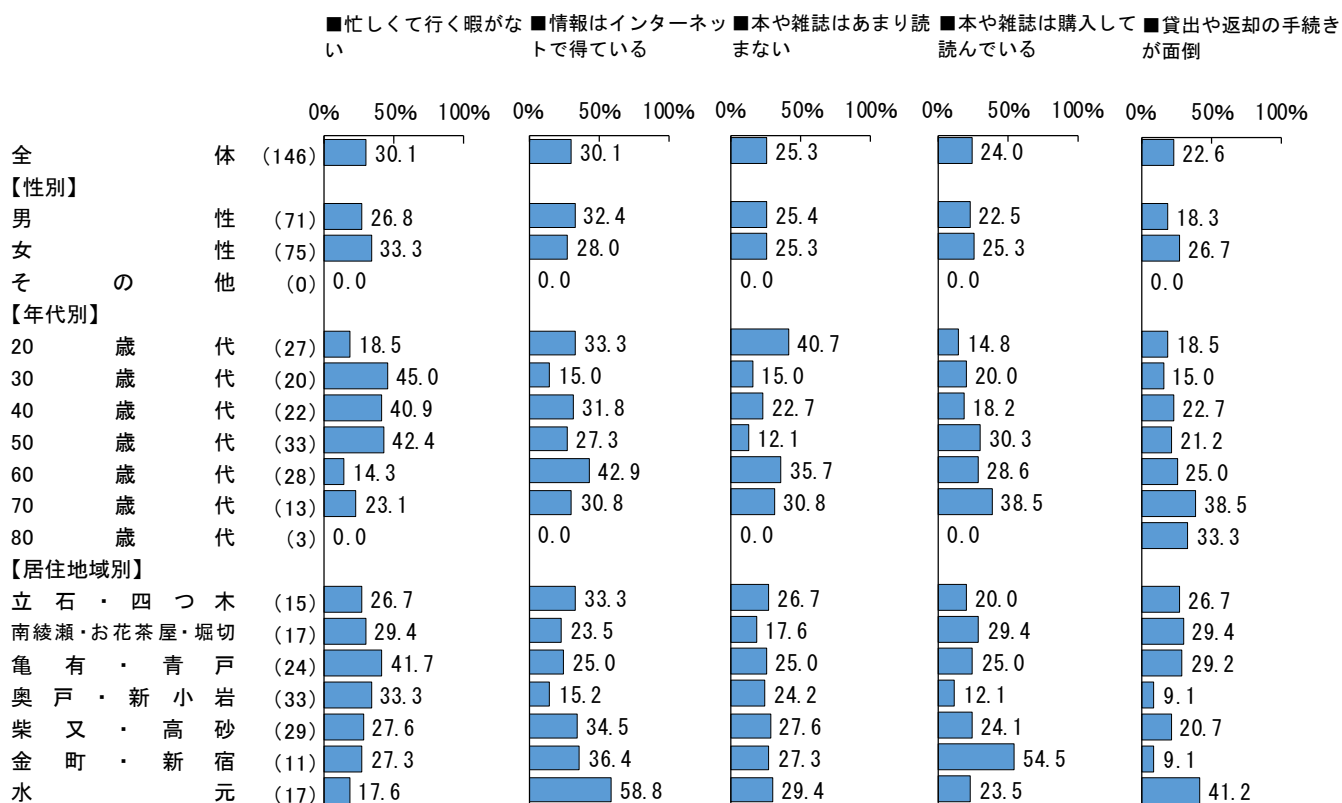
「その他」の内容としては、「一緒に行く子どもが大きくなった」「コロナ禍をきっかけに足が遠のいた」「高齢になったことや、視力の低下」などがあつた。

図表-3 葛飾区立図書館を利用しなくなった理由 (全体)



図表－４ 葛飾区立図書館を利用しなくなった理由

(全体・性別・年代別・居住地域別—上位 10 項目)



(3) 葛飾区立図書館を利用する理由

問3 問1で選択肢1「ある」と答えた方に伺います。主な利用目的は何ですか。(あてはまるものを3つまで選択)

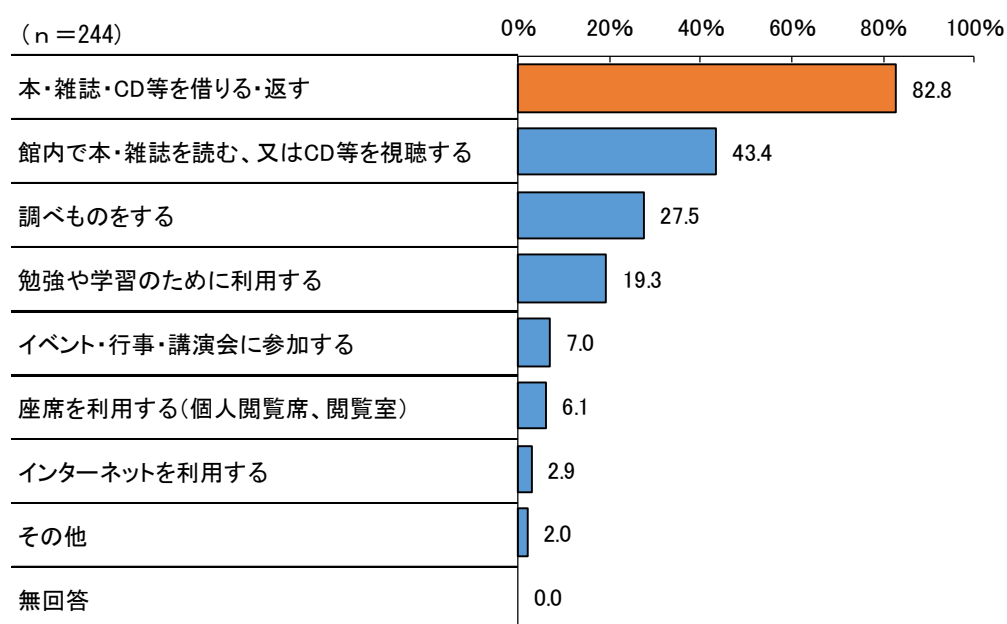
葛飾区立図書館を利用する理由については、「本・雑誌・CD等を借りる・返す」が82.8%で最も高く、次いで「館内で本・雑誌を読む、又はCD等を視聴する」が43.4%となっている。

性別でみると、「本・雑誌・CD等を借りる・返す」は女性が90.8%で男性の74.5%より高くなっている。

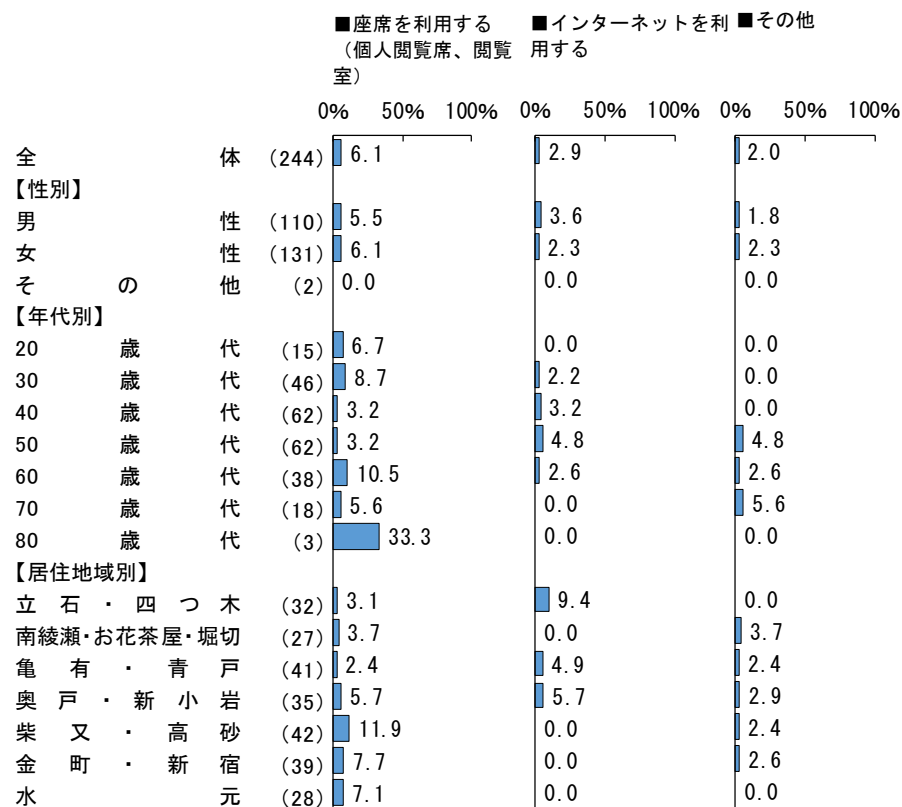
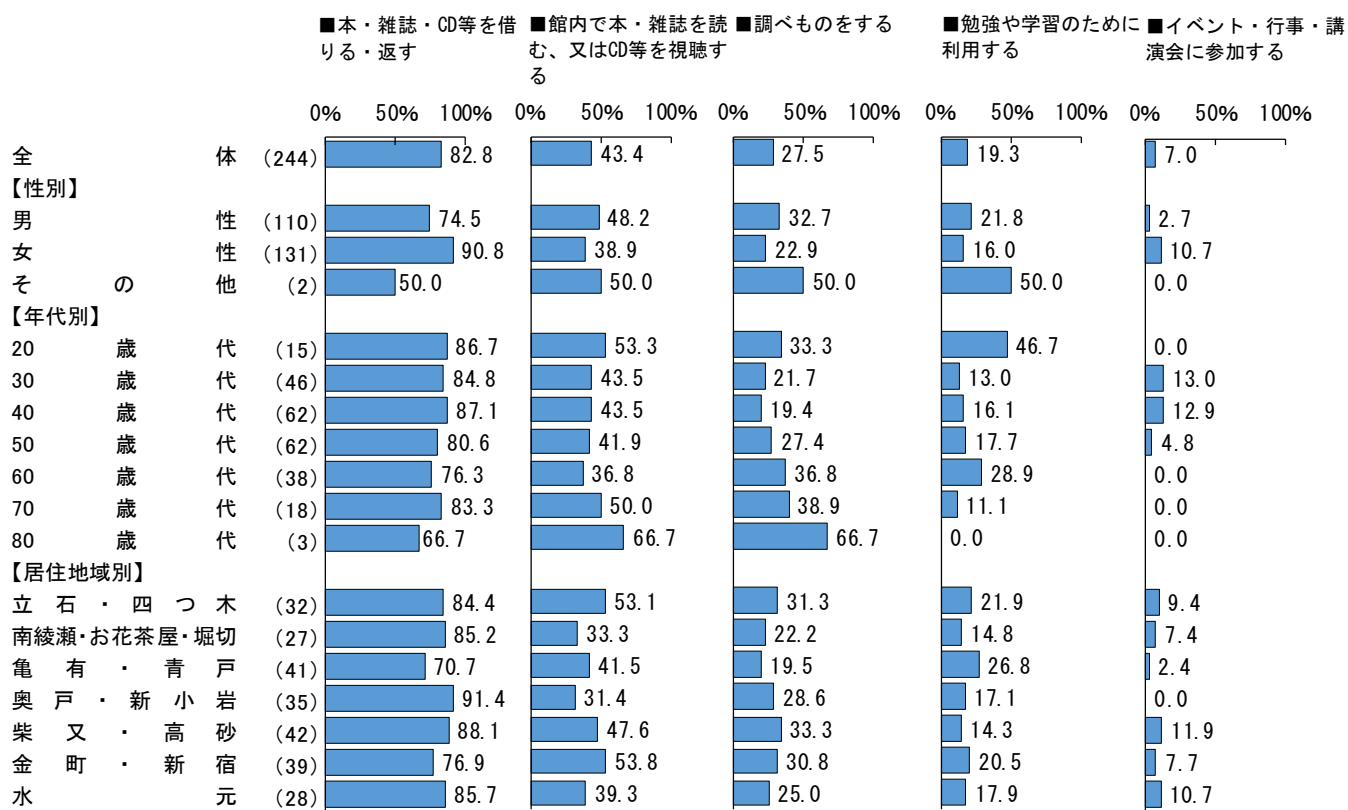
年代別でみると、「勉強や学習のために利用する」は20歳代が46.7%で最も高くなっている。

「その他」の内容としては、「子どもの本をもらいに行った」などがあつた。

図表－5 葛飾区立図書館を利用する理由（全体）



図表－6 葛飾区立図書館を利用する理由
(全体・性別・年代別・居住地域別)



(4) 充実してほしい図書館サービスについて

問4 図書館サービスとして充実してほしいことは何ですか。(あてはまるものを3つまで選択)

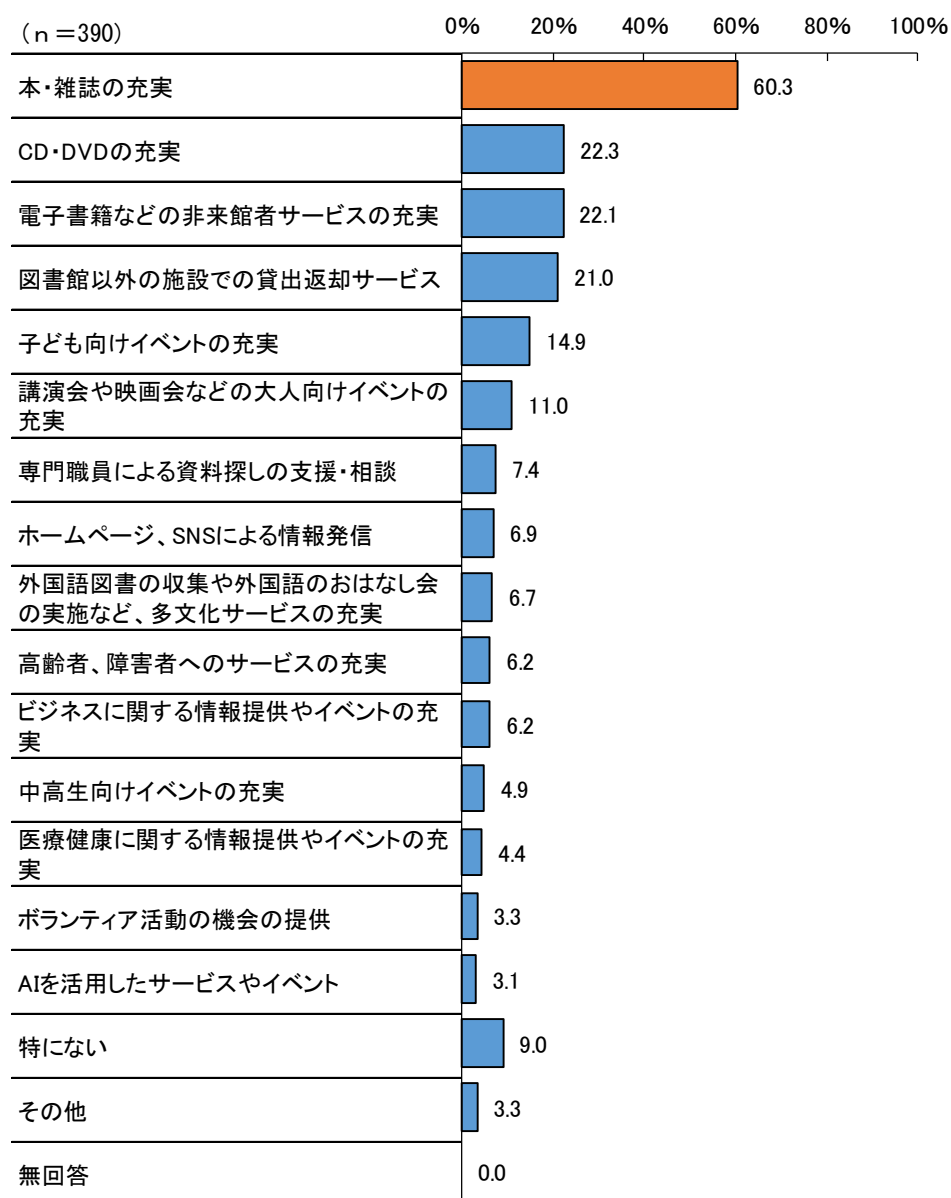
充実してほしい図書館サービスについては、「本・雑誌の充実」が60.3%で最も高く、次いで「CD・DVDの充実」が22.3%、「電子書籍などの非来館者サービスの充実」が22.1%となっている。

年代別で見ると、「本・雑誌の充実」は、80歳代を除く全ての年代で5割以上となっている。

居住地域別で見ると、「本・雑誌の充実」は立石・四つ木が76.6%で最も高く、次いで亀有・青戸が63.1%、金町・新宿が62.0%となっている。

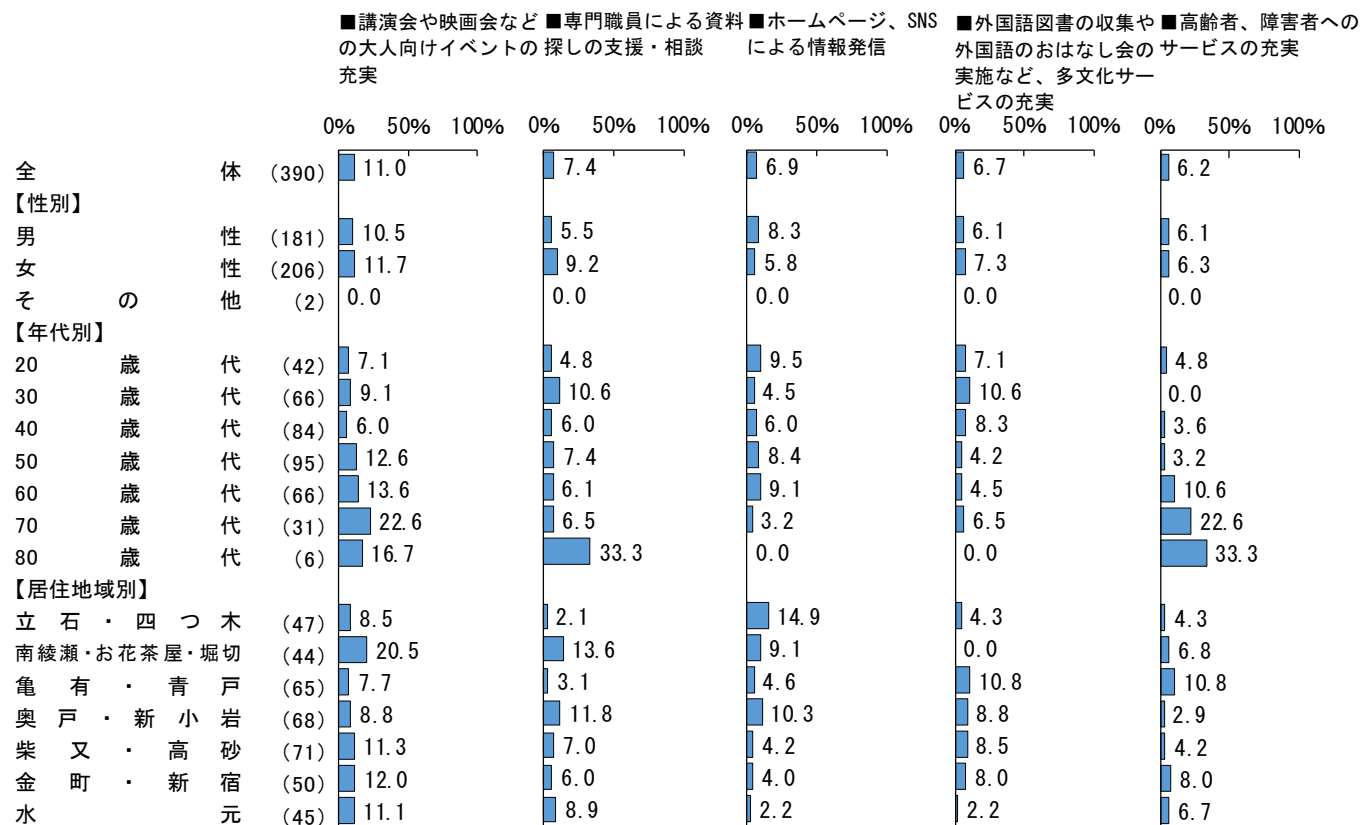
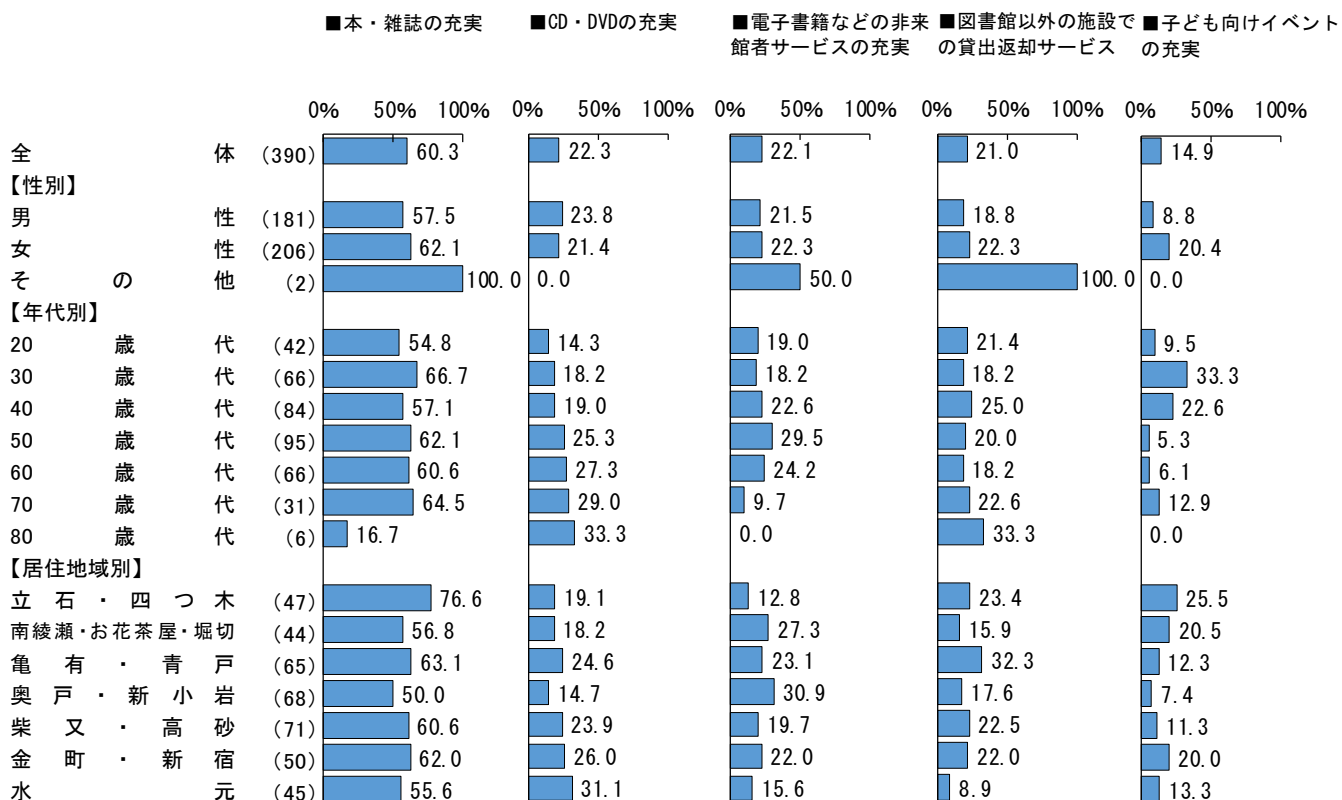
「その他」の内容としては、「自習学習スペースの拡充」「勉強のしやすさ」「電子書籍の貸出可能回数の拡大」などがあつた。

図表ー7 充実してほしい図書館サービスについて (全体)



図表-8 充実してほしい図書館サービスについて

(全体・性別・年代別・居住地域別—上位10項目)



(5) 充実してほしい図書館の設備・スペースについて

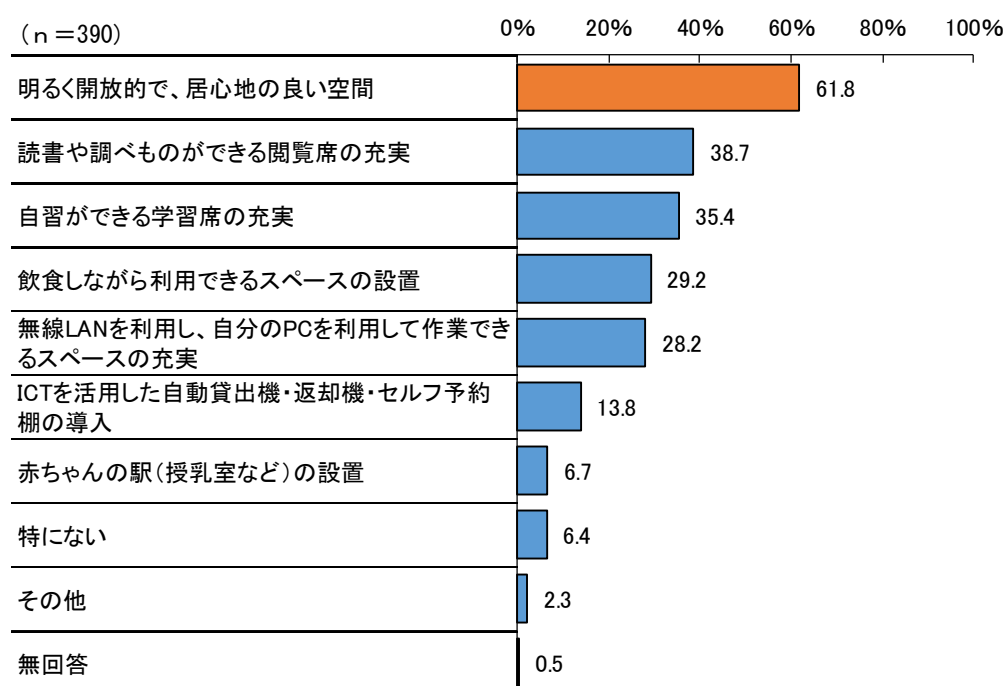
問5 図書館として充実してほしい設備・スペースは何ですか。(あてはまるものを3つまで選択)

充実してほしい図書館の設備・スペースについては、「明るく開放的で、居心地の良い空間」が61.8%で最も高く、次いで「読書や調べものができる閲覧席の充実」が38.7%となっている。

年代別でみると、「自習ができる学習席の充実」は、20歳代、30歳代、40歳代で4割以上と高くなっている。

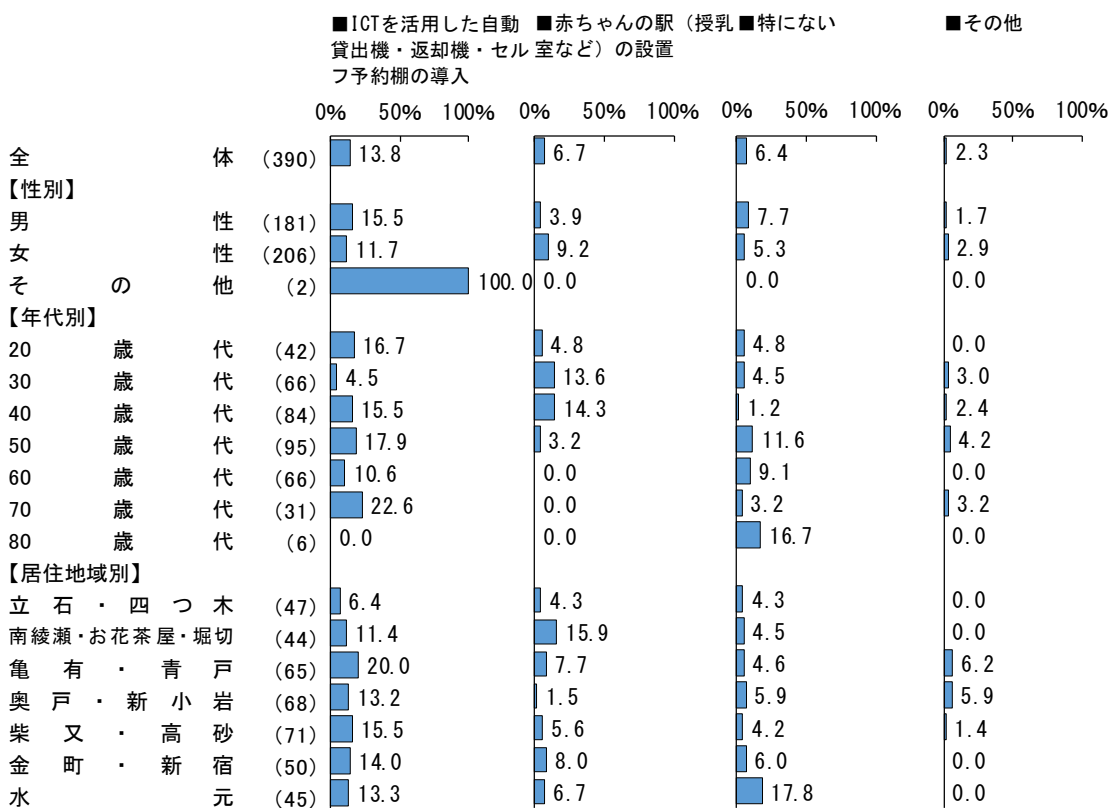
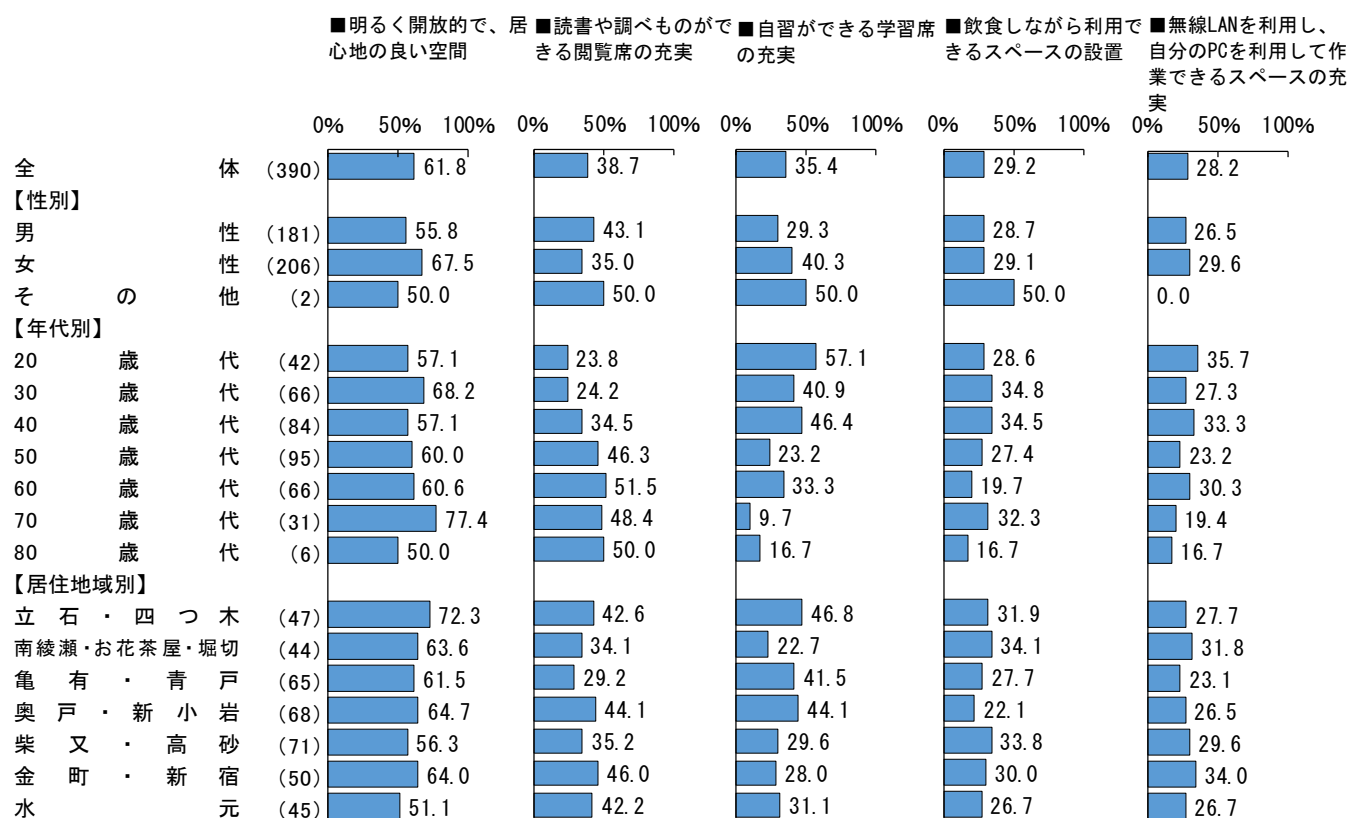
「その他」の内容としては、「区のアrchive情報を見る端末」、「本棚の間の通路を広くしてほしい」、「無料の無線LAN利用」などがある。

図表－9 充実してほしい図書館の設備・スペースについて（全体）



図表-10 充実してほしい図書館の設備・スペースについて

(全体・性別・年代別・居住地域別)



(6) ICTの活用で利用してみたい図書館サービス

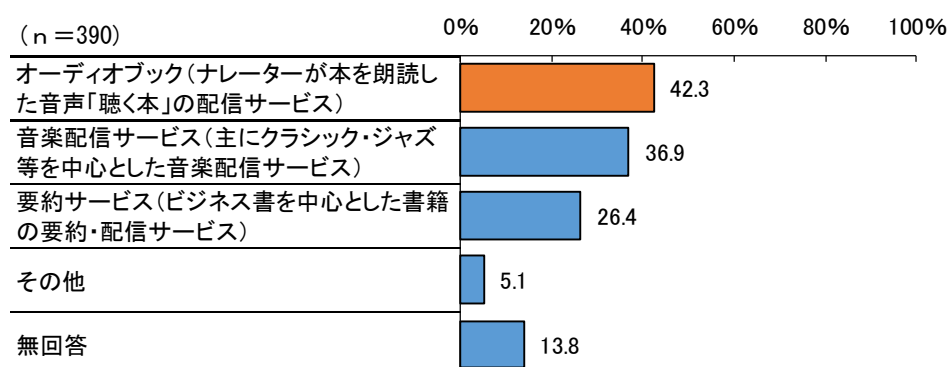
問6 ICTを活用した利用してみたい図書館サービスはありますか。(あてはまるものを全て選択)

ICTの活用で利用してみたい図書館サービスについては、「オーディオブック(ナレーターが本を朗読した音声「聴く本」の配信サービス)」が42.3%で最も高く、次いで「音楽配信サービス(主にクラシック・ジャズ等を中心とした音楽配信サービス)」が36.9%、「要約サービス(ビジネス書を中心とした書籍の要約・配信サービス)」が26.4%となっている。

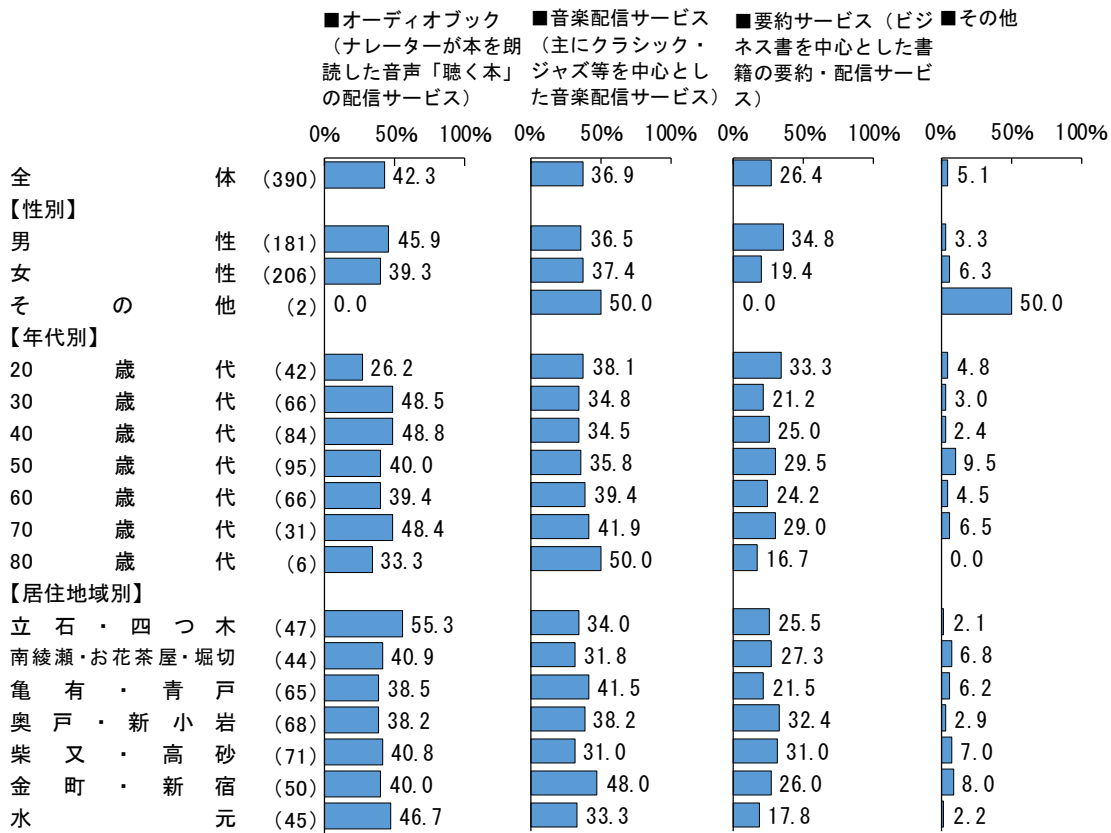
性別でみると、「オーディオブック(ナレーターが本を朗読した音声「聴く本」の配信サービス)」は男性が45.9%で女性の39.3%より高くなっている。

「その他」の内容としては、「区の文化、歴史を動画で残して閲覧できるようにしてほしい」「既存の本の電子化」「VRかARで機器を付けると本が読めるサービス」などがあつた。

図表-11 ICTの活用で利用してみたい図書館サービス(全体)



図表-12 ICTの活用で利用してみたい図書館サービス
(全体・性別・年代別・居住地域別)



(7) 葛飾区立図書館電子書籍サービス利用の有無

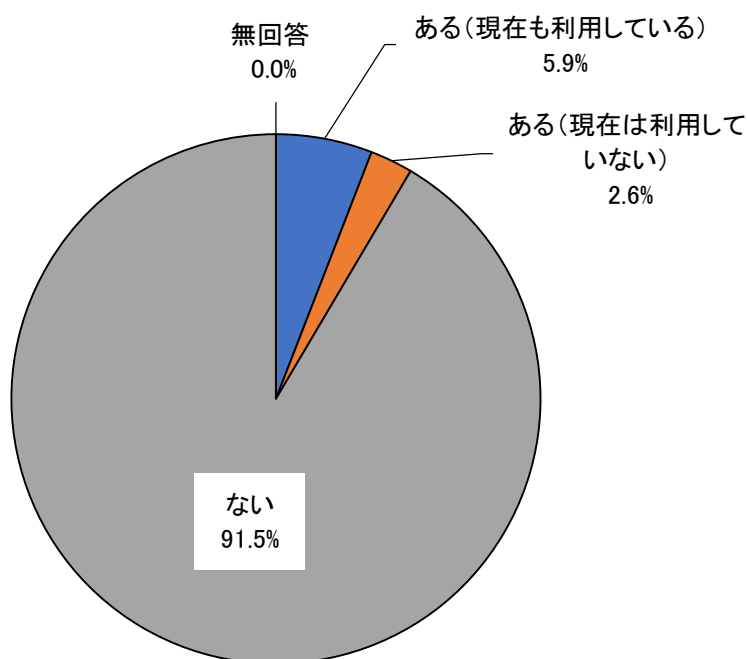
問7 葛飾区立図書館電子書籍サービスを利用したことがありますか。(1つ選択)

葛飾区立図書館電子書籍サービス利用の有無については、「ある(現在も利用している)」が5.9%、「ある(現在は利用していない)」が2.6%、「ない」が91.5%となっている。

年代別でみると、「ある(現在も利用している)」は40歳代が13.1%で最も高くなっている。

地域別でみると、「ある(現在も利用している)」は水元が8.9%で最も高くなっている一方、柴又・高砂では2.8%と低くなっている。

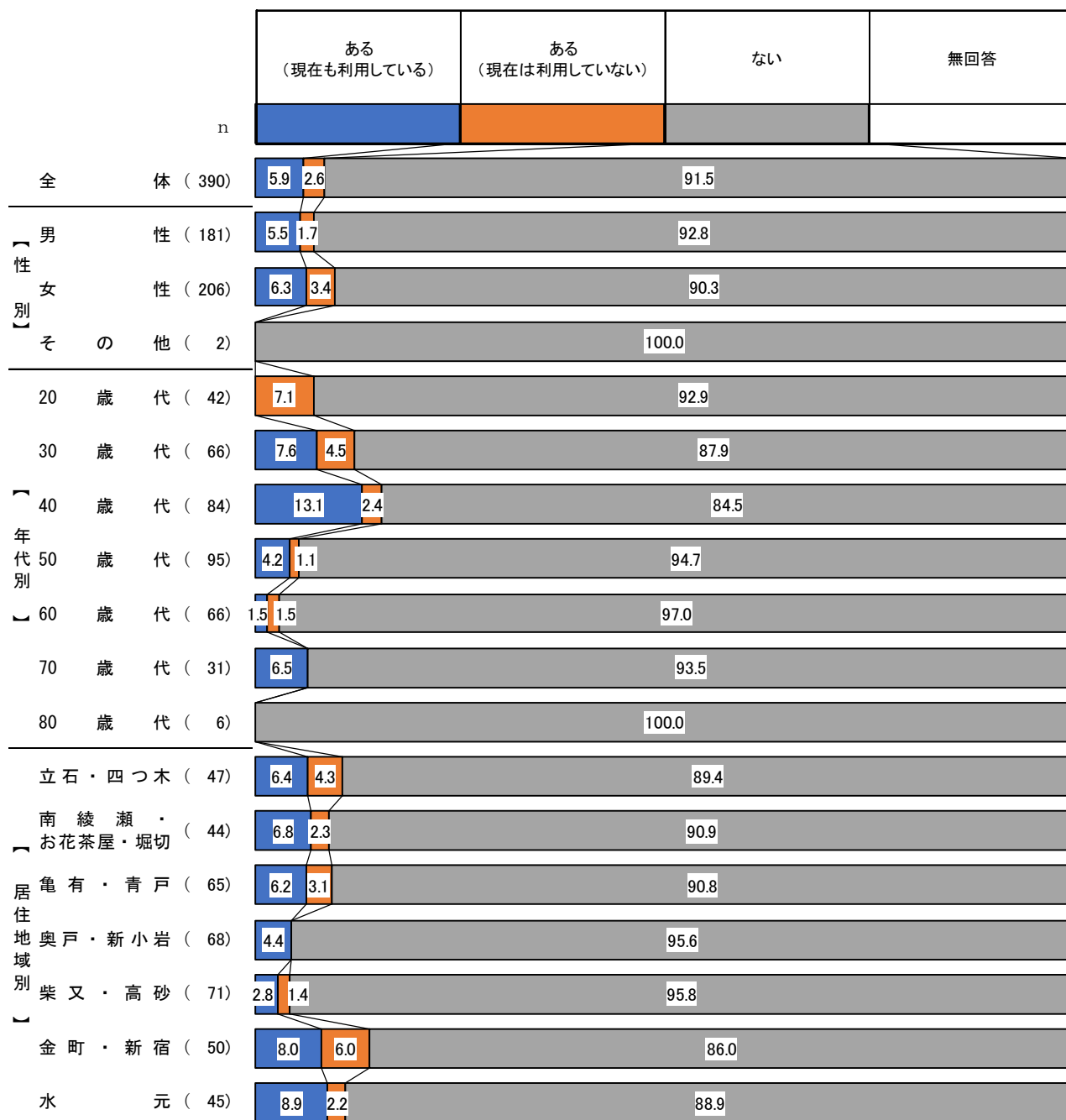
図表-13 葛飾区立図書館電子書籍サービス利用の有無(全体)



n=390

図表-14 葛飾区立図書館電子書籍サービス利用の有無
(全体・性別・年代別・居住地域別)

(%)



(8) 葛飾区立図書館電子書籍サービスを利用しない理由

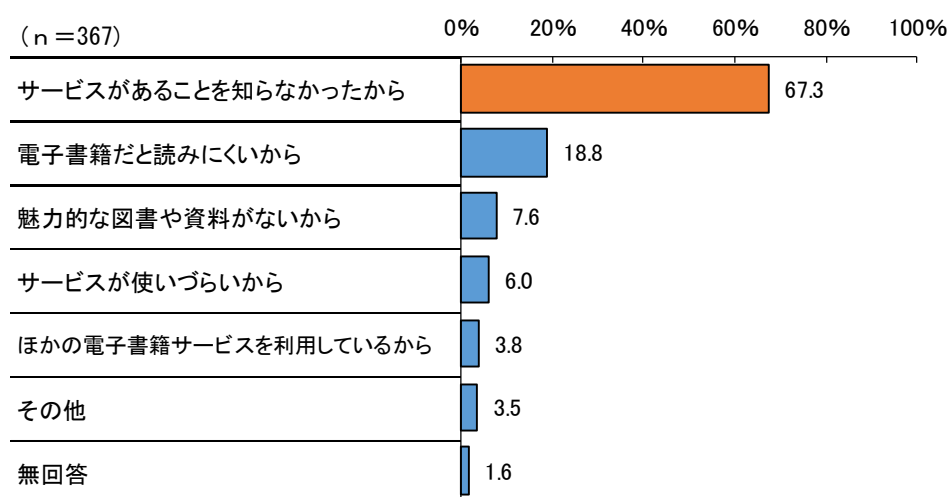
問8 問7で選択肢2「ある（現在は利用していない）」又は選択肢3「ない」と答えた方にお伺いします。その理由はなぜですか。（あてはまるものを全て選択）

葛飾区立図書館電子書籍サービスを利用しない理由については、「サービスがあることを知らなかったから」が67.3%で最も高く、次いで「電子書籍だと読みにくいから」が18.8%となっている。

年代別でみると、「サービスがあることを知らなかったから」は20歳代が83.3%で最も高くなっている。また、「電子書籍だと読みにくいから」は70歳代が51.7%で最も高くなっている。

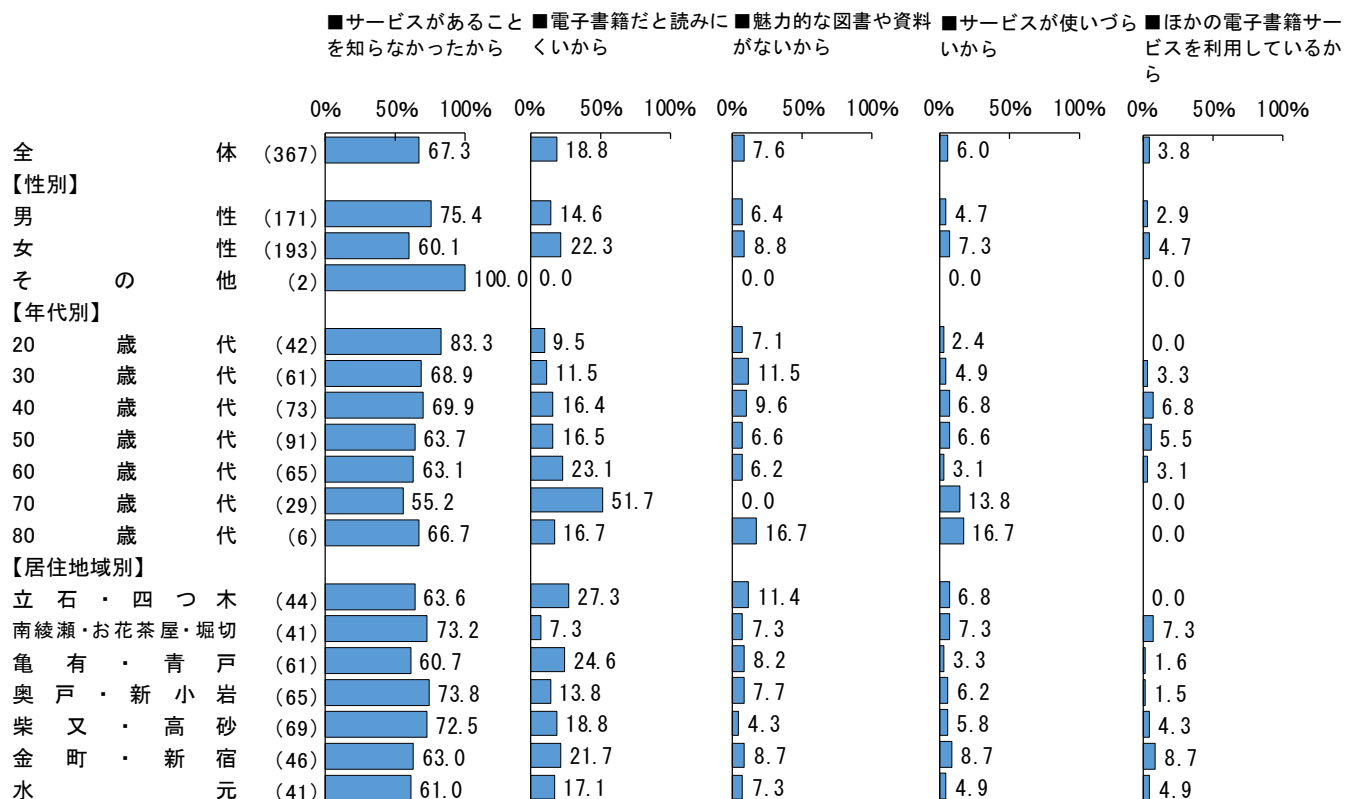
「その他」の内容としては、「子どもの絵本は紙じゃないと読みにくい」「紙の本を読む方が、表紙なども楽しめるため」「貸出可能回数が少ない」などがあつた。

図表-15 葛飾区立図書館電子書籍サービスを利用しない理由（全体）

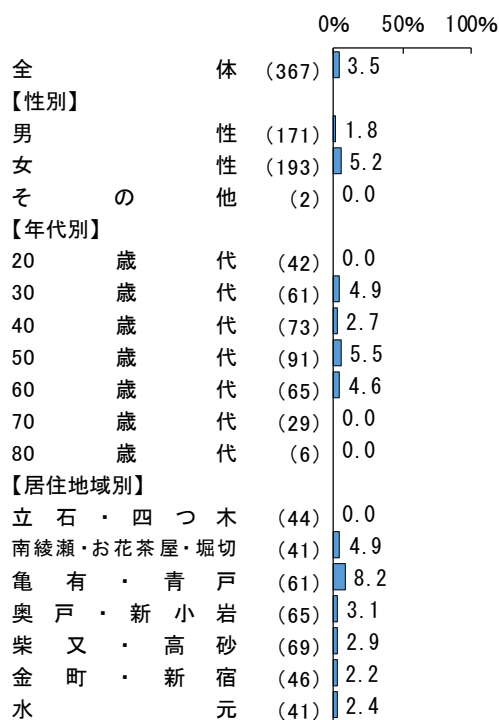


図表-16 葛飾区立図書館電子書籍サービスを利用しない理由

(全体・性別・年代別・居住地域別)



■その他



(9) 葛飾区立図書館電子書籍サービスを知るきっかけ

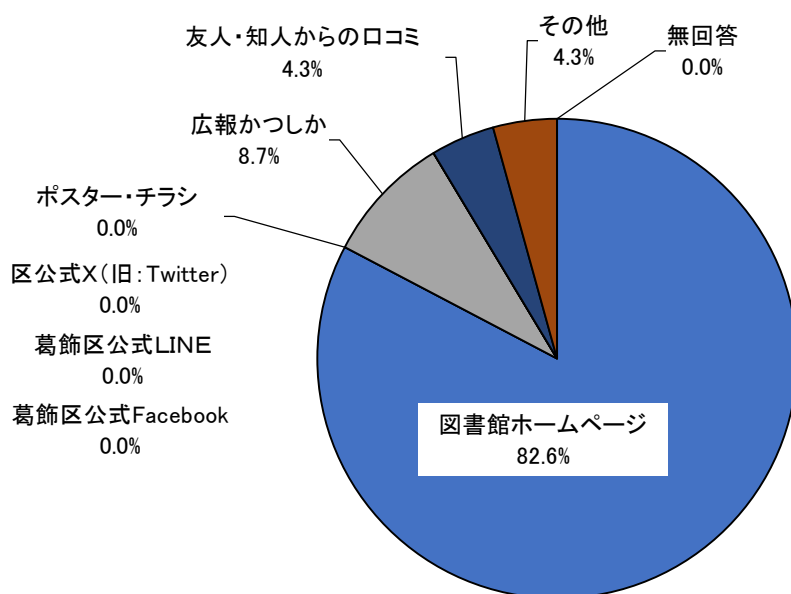
問9 問7で選択肢1「ある（現在も利用している）」と答えた方にお伺いします。電子書籍サービスを何で知りましたか。（1つ選択）

葛飾区立図書館電子書籍サービスを知るきっかけについては、「図書館ホームページ」が82.6%で最も高く、次いで「広報かつしか」が8.7%となっている。

年代別でみると、「図書館ホームページ」は、20歳代、80歳代以外の世代で6割以上と高くなっている。また、「広報かつしか」と答えたのは、40歳代のみで18.2%となっている。

「その他」の内容としては、「墨田区立図書館を利用した際に同様のサービスがあったので、葛飾区でも検索したところ発見した」があった。

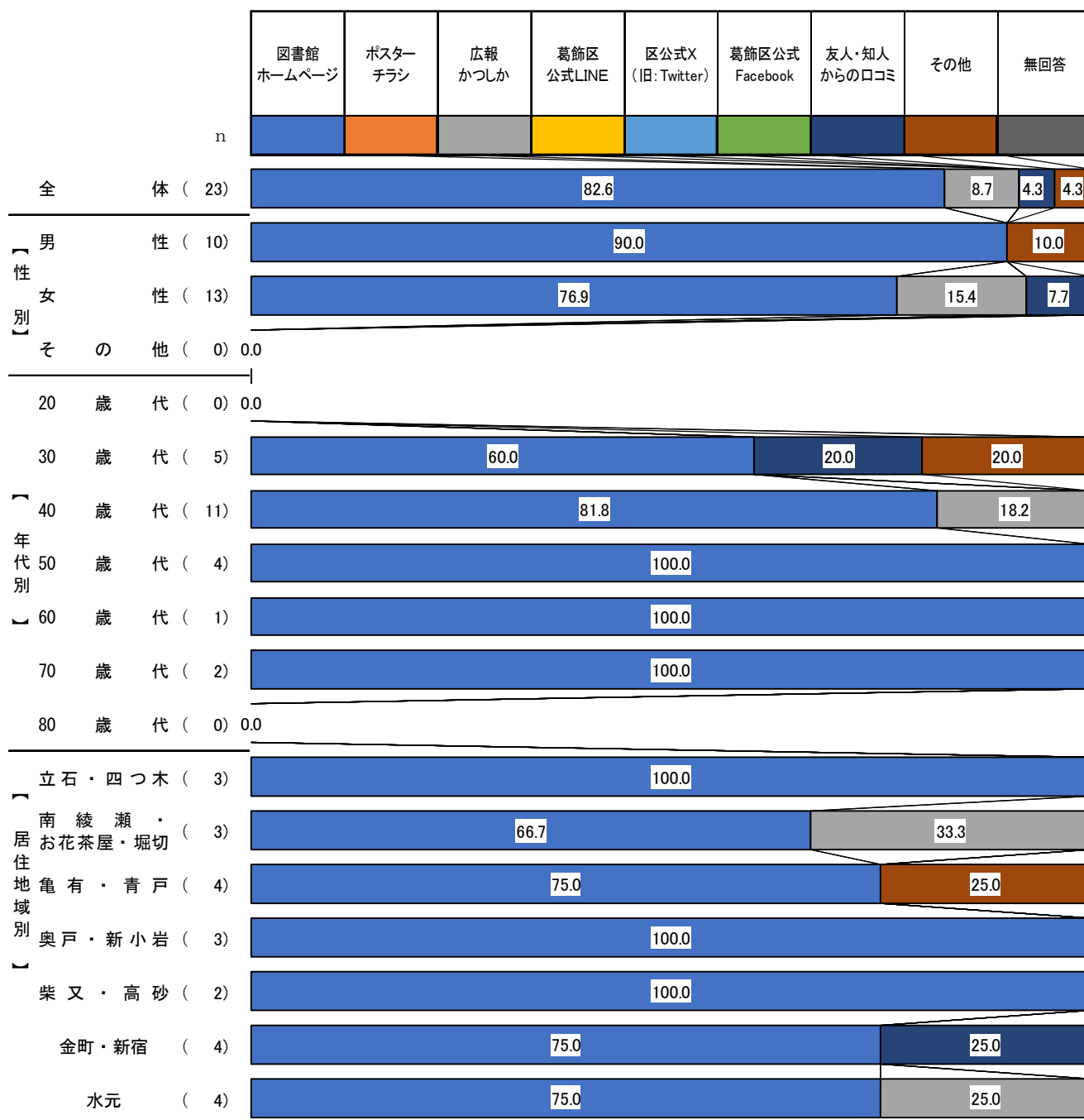
図表-17 葛飾区立図書館電子書籍サービスを知るきっかけ（全体）



n=23

図表-18 葛飾区立図書館電子書籍サービスを知るきっかけ
(全体・性別・年代別・居住地域別)

(%)



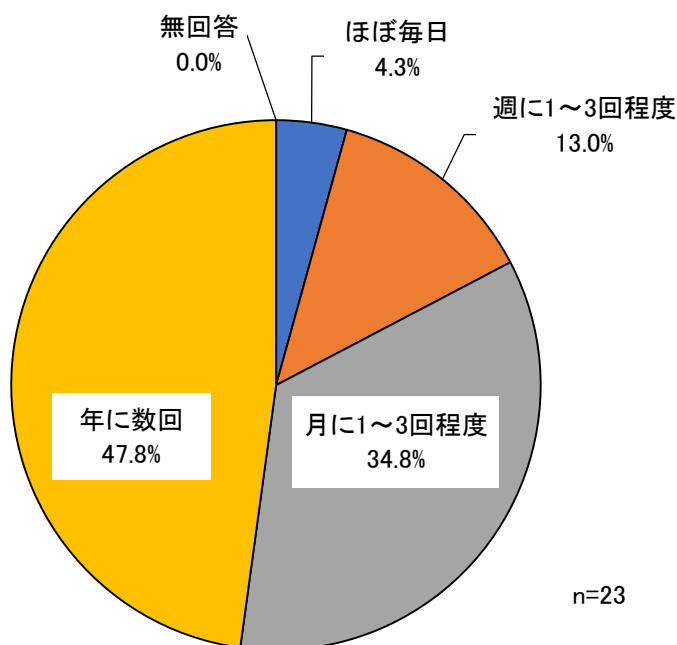
(10) 葛飾区立図書館電子書籍サービスの利用頻度

問10 問7で選択肢1「ある（現在も利用している）」と答えた方にお伺いします。電子書籍サービスをどのくらい利用（アクセス）していますか。（1つ選択）

葛飾区立図書館電子書籍サービスの利用頻度については、「年に数回」が47.8%で最も高く、次いで「月に1～3回程度」が34.8%、「週に1～3回程度」が13.0%、「ほぼ毎日」が4.3%となっている。

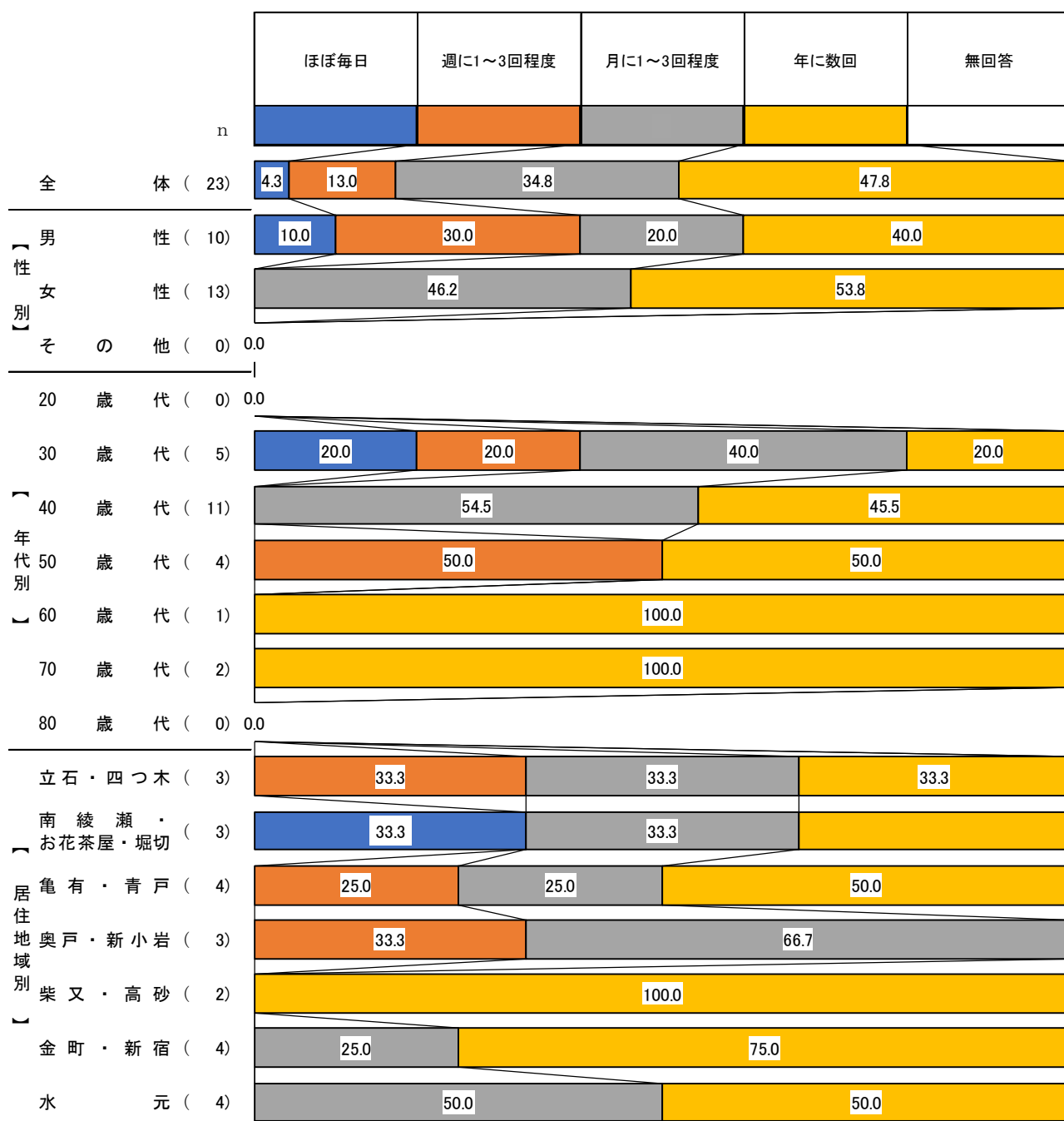
年代別でみると、「月に1～3回程度」は、30歳代から40歳代で4割以上となっている。

図表-19 葛飾区立図書館電子書籍サービスの利用頻度（全体）



図表-20 葛飾区立図書館電子書籍サービスの利用頻度
(全体・性別・年代別・居住地域別)

(%)



(11) 電子書籍サービスの良いところについて

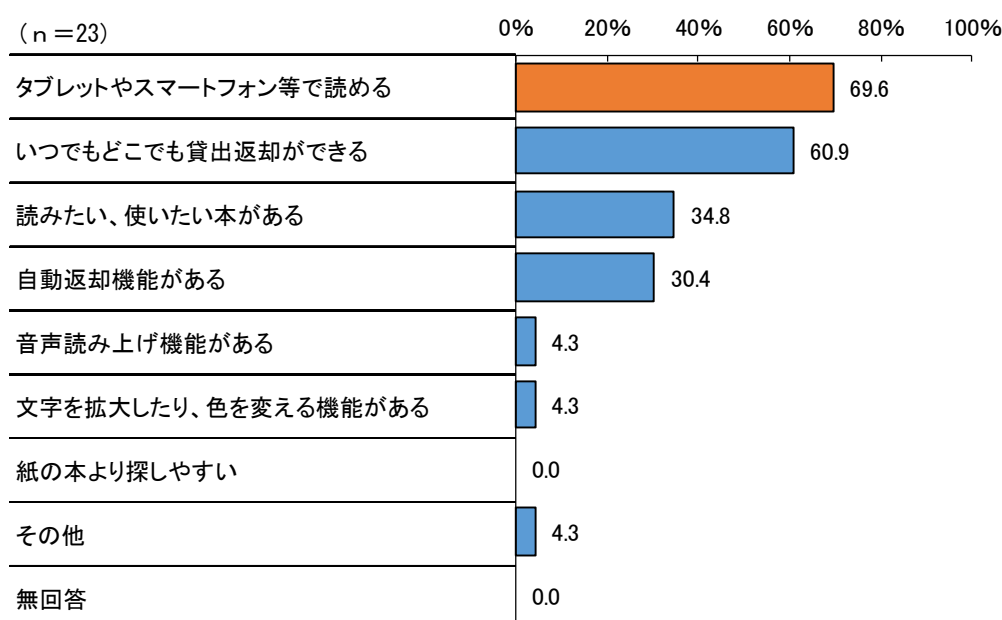
問 11 問 7 で選択肢 1 「ある（現在も利用している）」と答えた方にお伺いします。電子書籍サービスの良いところはなんですか。（あてはまるものを 3 つまで選択）

電子書籍サービスの良いところについては、「タブレットやスマートフォン等で読める」が 69.6% で最も高く、次いで「いつでもどこでも貸出返却ができる」が 60.9%、「読みたい、使いたい本がある」が 34.8%、「自動返却機能がある」が 30.4%となっている。

性別でみると、「タブレットやスマートフォン等で読める」は女性が 76.9%で男性の 60.0%より高くなっている。

「その他」の内容としては、「予約が取れやすい」があった。

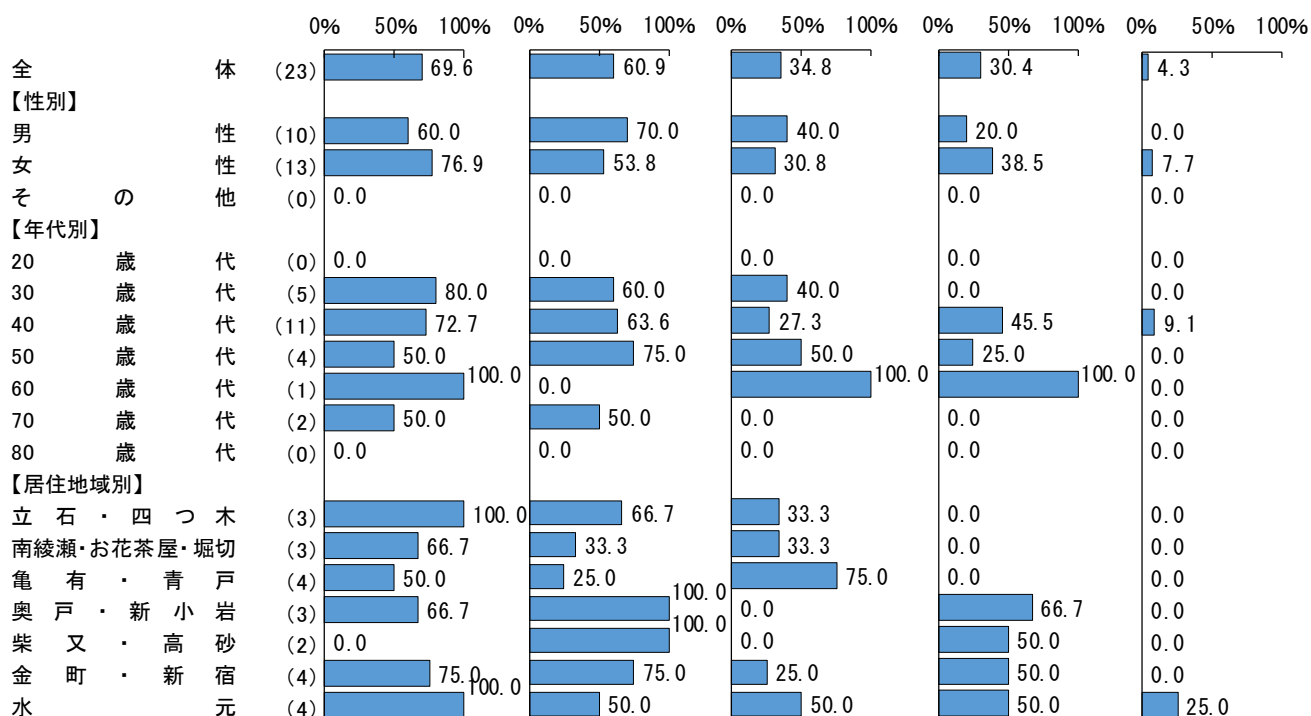
図表-21 電子書籍サービスの良いところについて（全体）



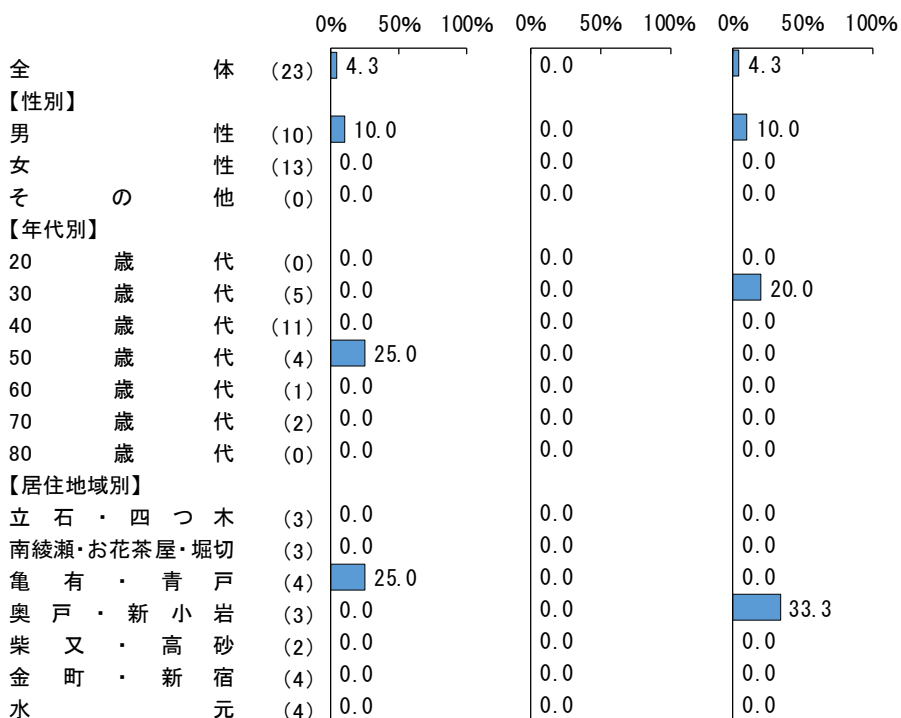
図表-22 電子書籍サービスの良いところについて

(全体・性別・年代別・居住地域別)

■タブレットやスマートフォン等で読める ■いつでもどこでも貸出返却ができる ■読みたい、使いたい本がある ■自動返却機能がある ■音声読み上げ機能がある



■文字を拡大したり、紙の本より探しやす ■その他色を変える機能がある



(12) 電子書籍サービス利用時に不便に感じること

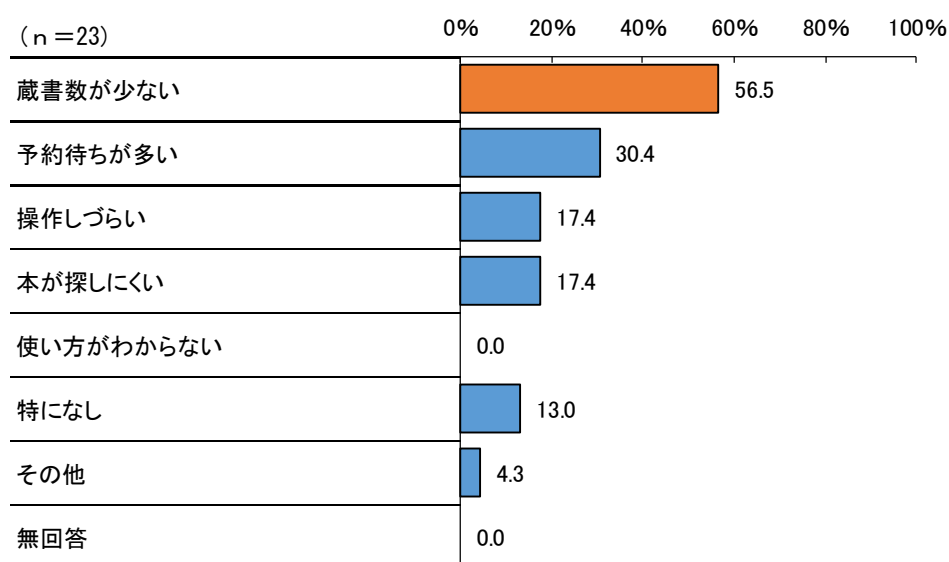
問 12 問 7 で選択肢 1 「ある（現在も利用している）」と答えた方にお伺いします。電子書籍サービスを利用して不便だと感じることはありますか。（あてはまるものを全て選択）

電子書籍サービス利用時に不便に感じることについては、「蔵書数が少ない」が 56.5% で最も高く、次いで「予約待ちが多い」が 30.4%、「操作しづらい」と「本が探しにくい」が 17.4% となっている。

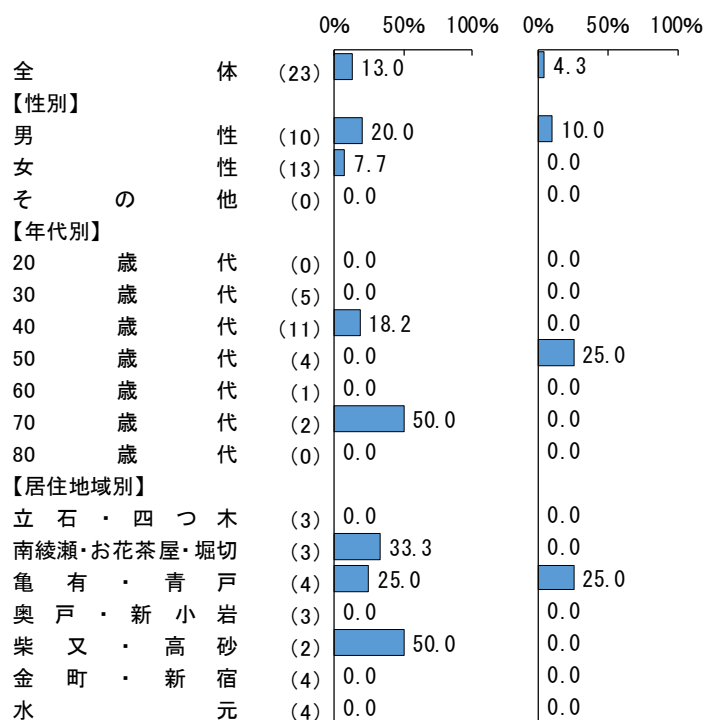
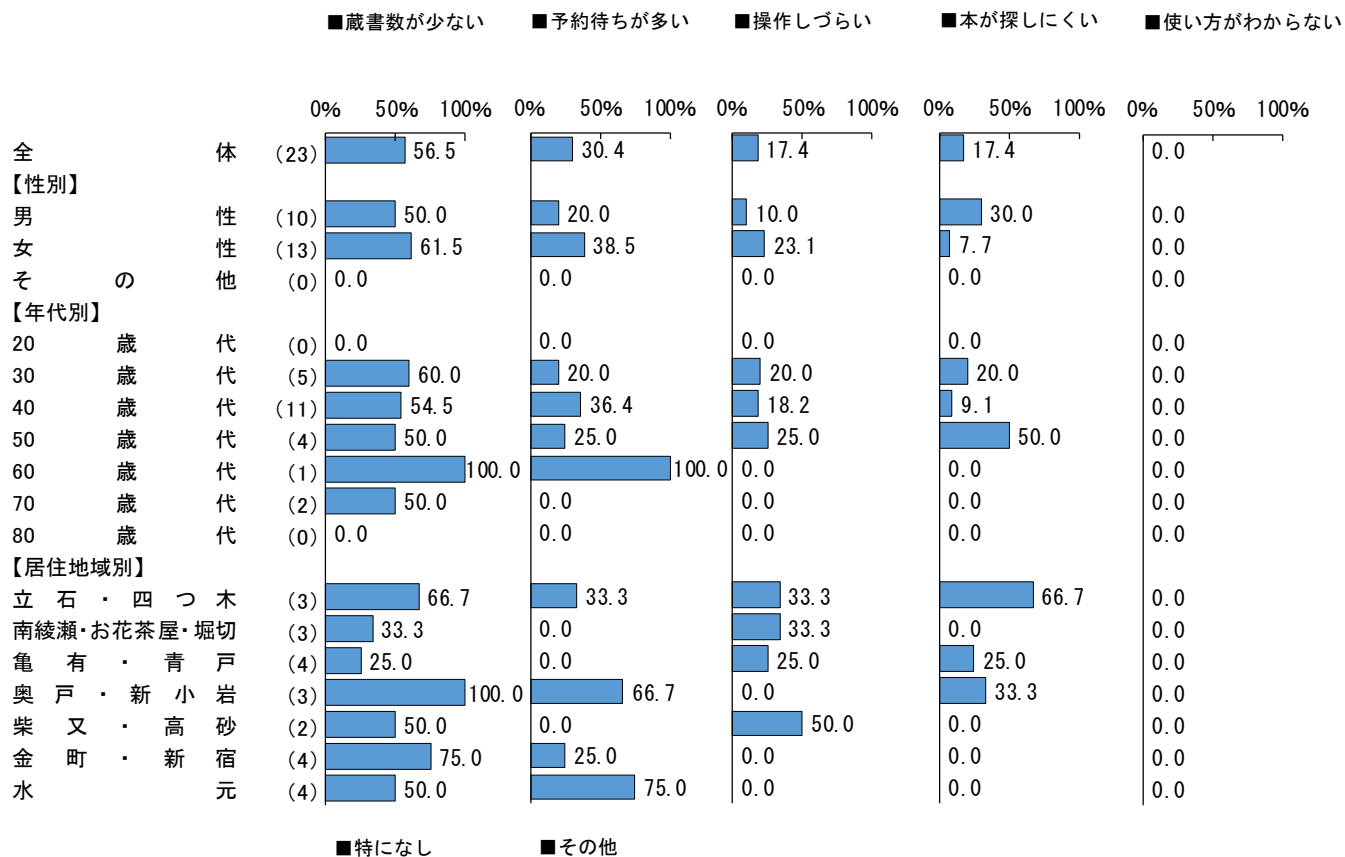
性別でみると、「蔵書数が少ない」は女性が 61.5% で男性の 50.0% より高くなっている。

「その他」の内容としては、「シリーズもので途中が抜けている作品がある」があった。

図表-23 電子書籍サービス利用時に不便に感じること（全体）



図表-24 電子書籍サービス利用時に不便に感じること
(全体・性別・年代別・居住地域別)



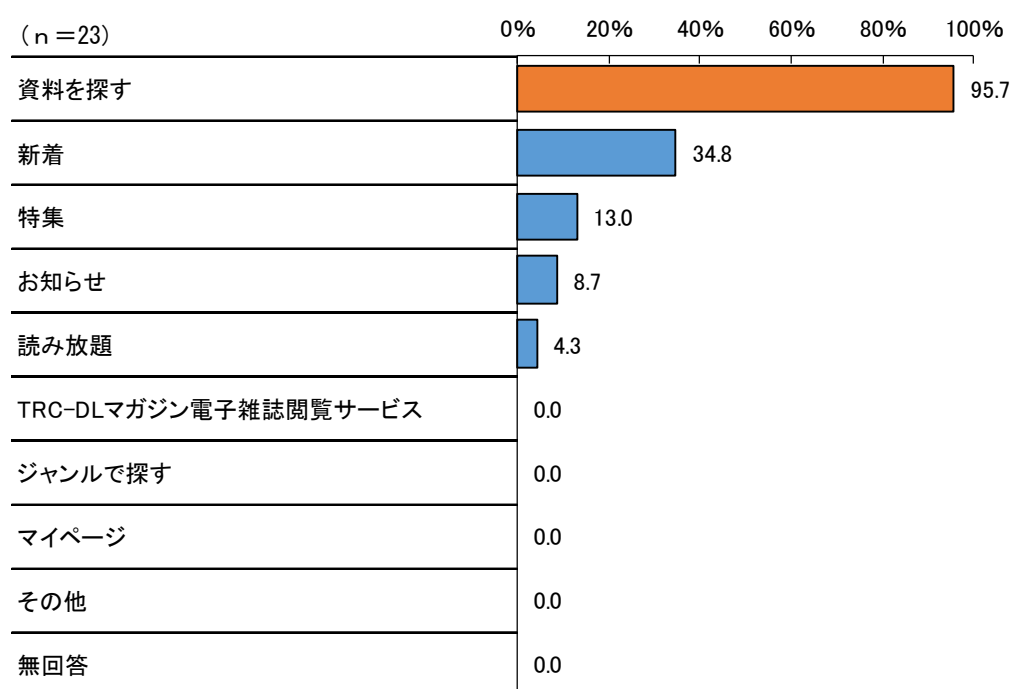
(13) 電子書籍サービス・ホームページの中でよく利用するページについて

問 13 問7で選択肢1「ある（現在も利用している）」と答えた方にお伺いします。電子書籍サービス・ホームページの中でよく利用するページはどこですか。（あてはまるものを3つまで選択）

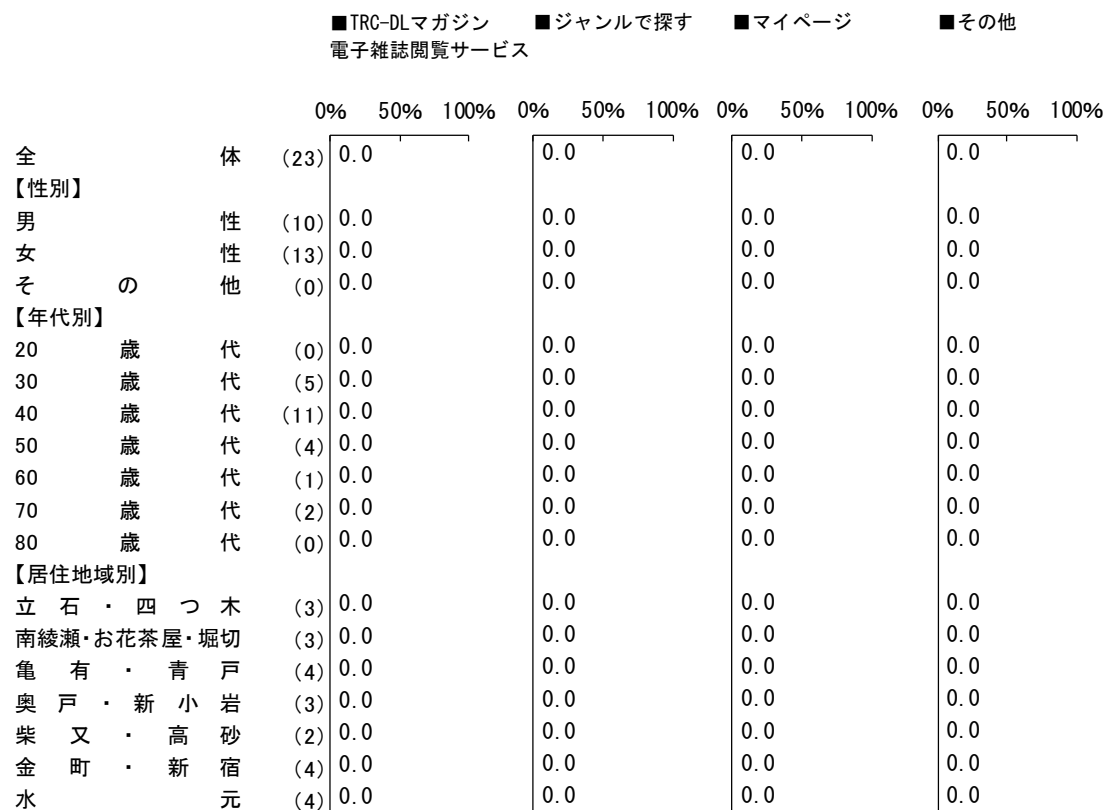
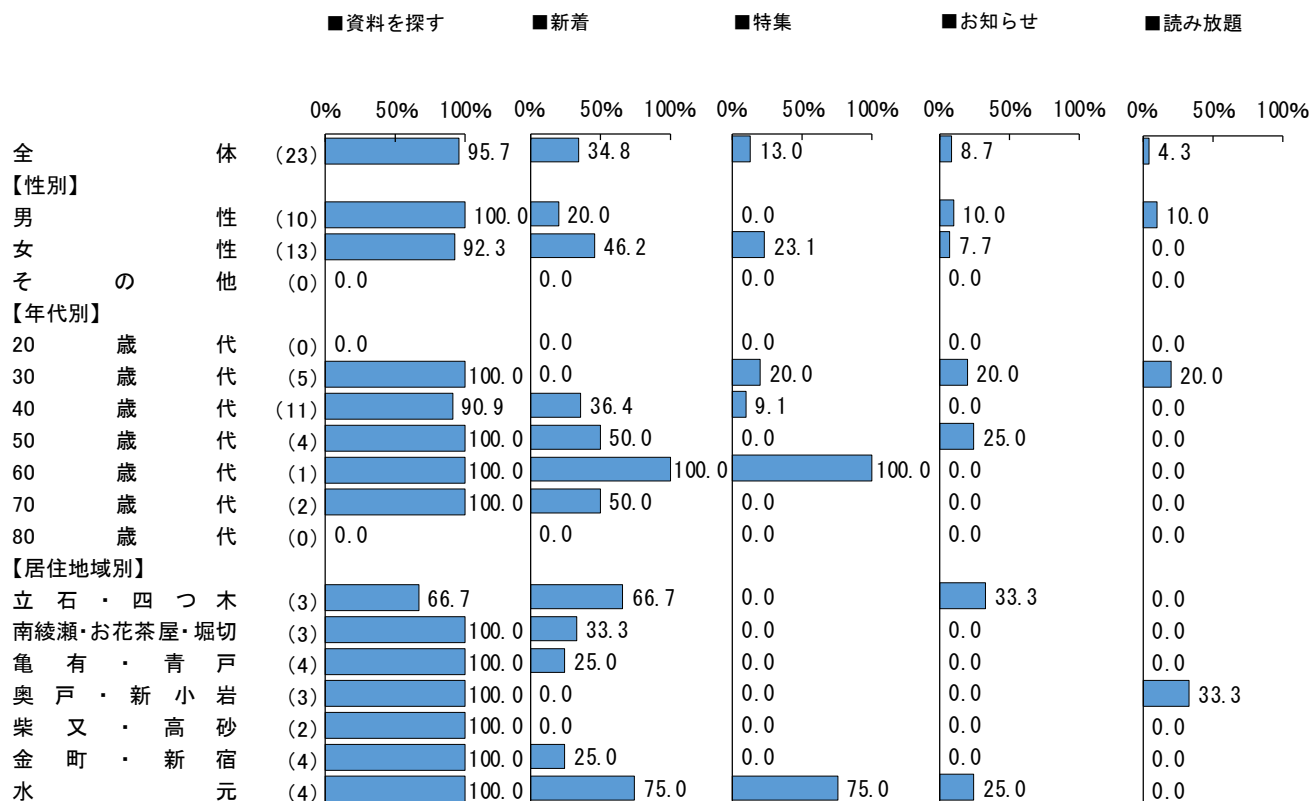
電子書籍サービス・ホームページの中でよく利用するページについては、「資料を探す」が95.7%で最も高く、次いで「新着」が34.8%、「特集」が13.0%、「お知らせ」が8.7%、「読み放題」が4.3%となっている。

性別でみると、「資料を探す」は男性が10割で女性の92.3%より高くなっている。

図表-25 電子書籍サービス・ホームページの中でよく利用するページについて（全体）



図表-26 電子書籍サービス・ホームページの中でよく利用するページについて
(全体・性別・年代別・居住地域別)



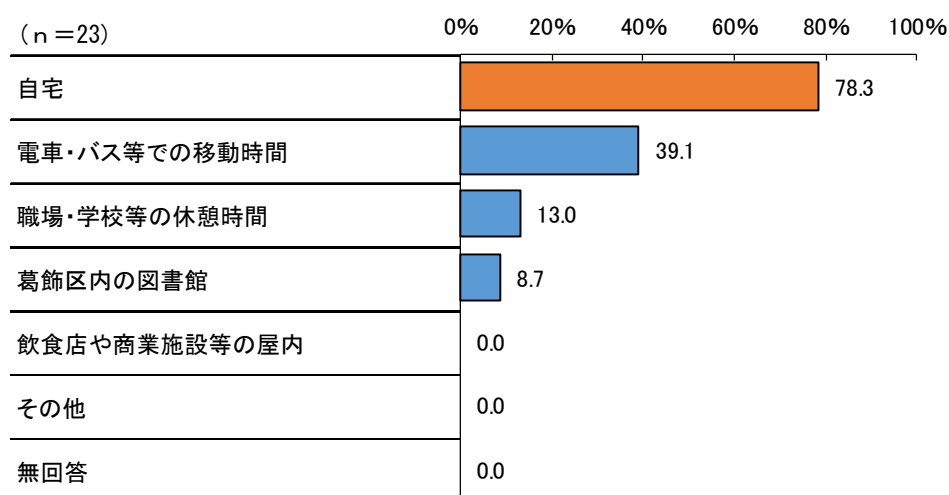
(14) 電子書籍を読む場所について

問 14 問 7 で選択肢 1 「ある（現在も利用している）」と答えた方にお伺いします。電子書籍を借りたとき、主にどこで読んでいますか。（あてはまるものを 3 つまで選択）

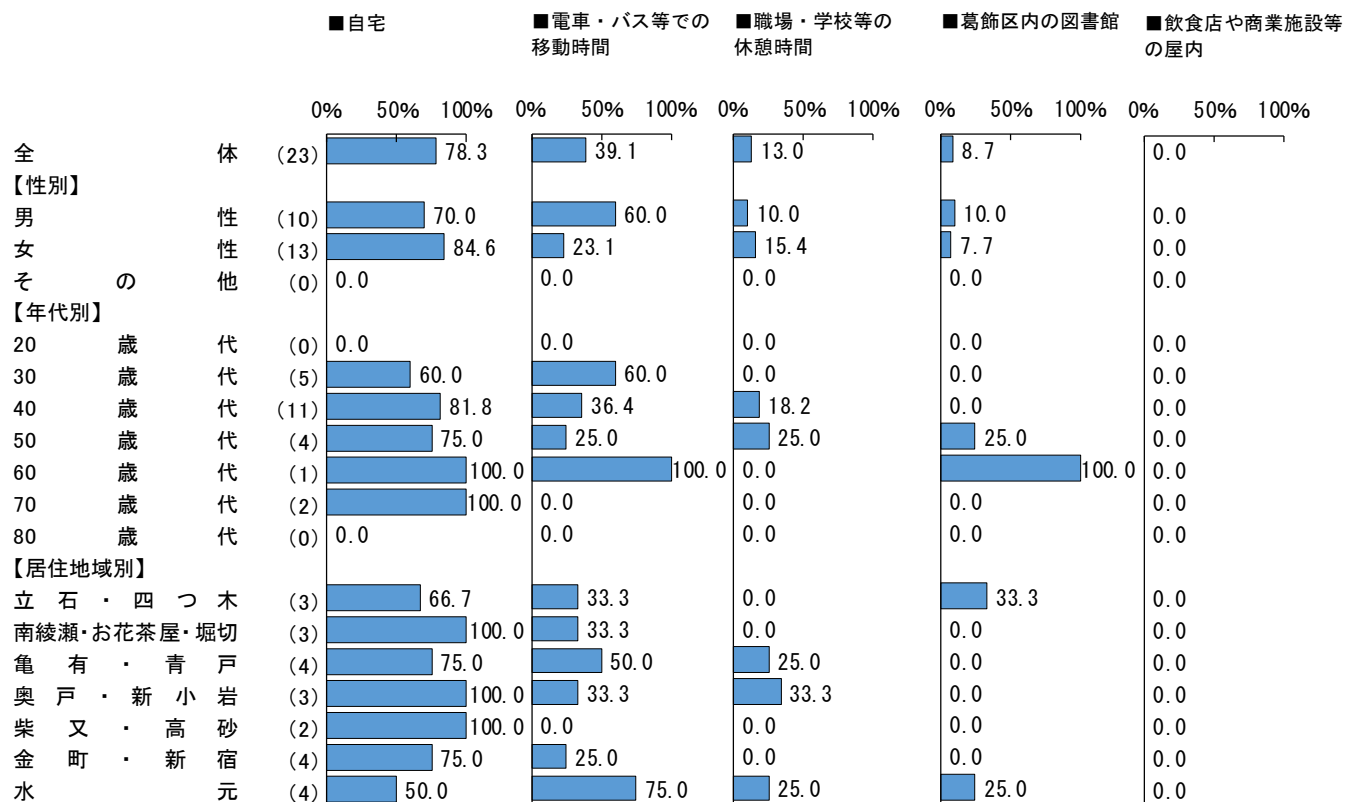
電子書籍を借りたとき、主にどこで読んでいるかについては、「自宅」が 78.3% で最も高く、次いで「電車・バス等での移動時間」が 39.1%、「職場・学校等の休憩時間」が 13.0%、「葛飾区内の図書館」が 8.7% となっている。

年代別でみると、「自宅」は、20 歳代、80 歳代を除く全ての年代で 6 割以上となっている。

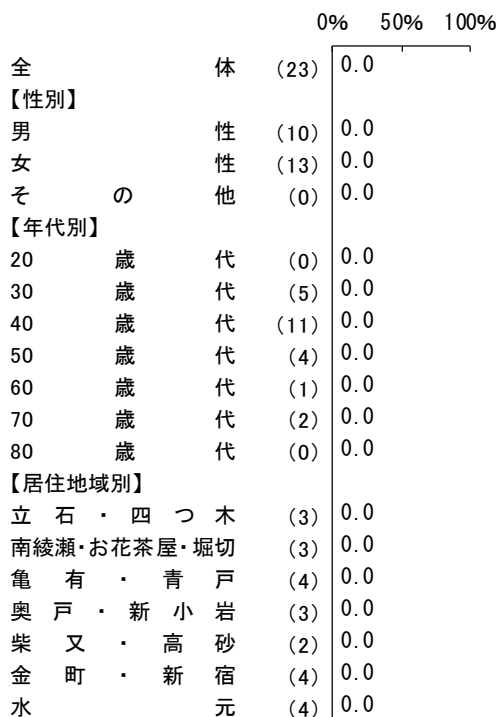
図表-27 電子書籍を読む場所について（全体）



図表-28 電子書籍を読む場所について
(全体・性別・年代別・居住地域別)



■その他

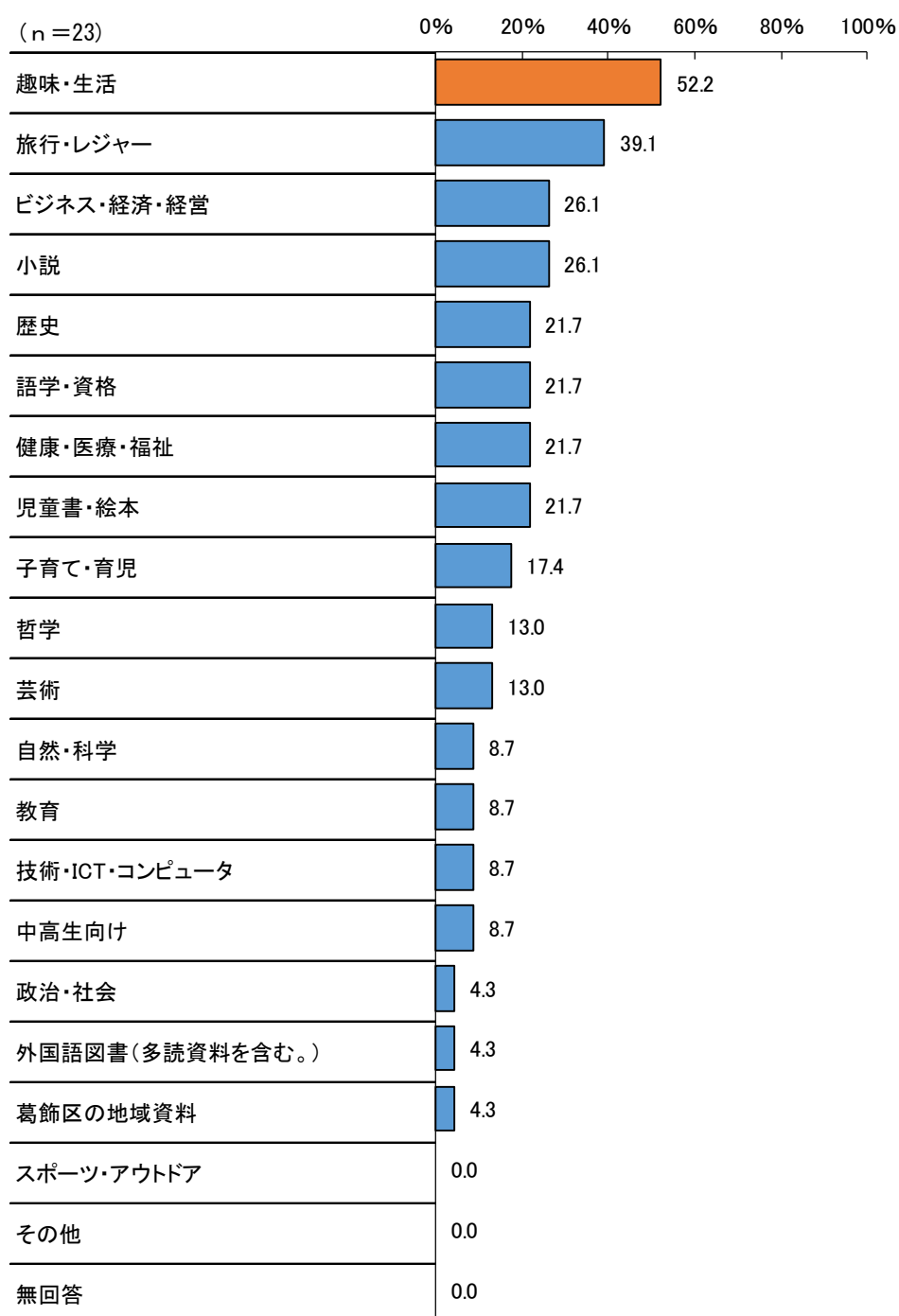


(15) 電子書籍サービスで利用したいジャンルについて

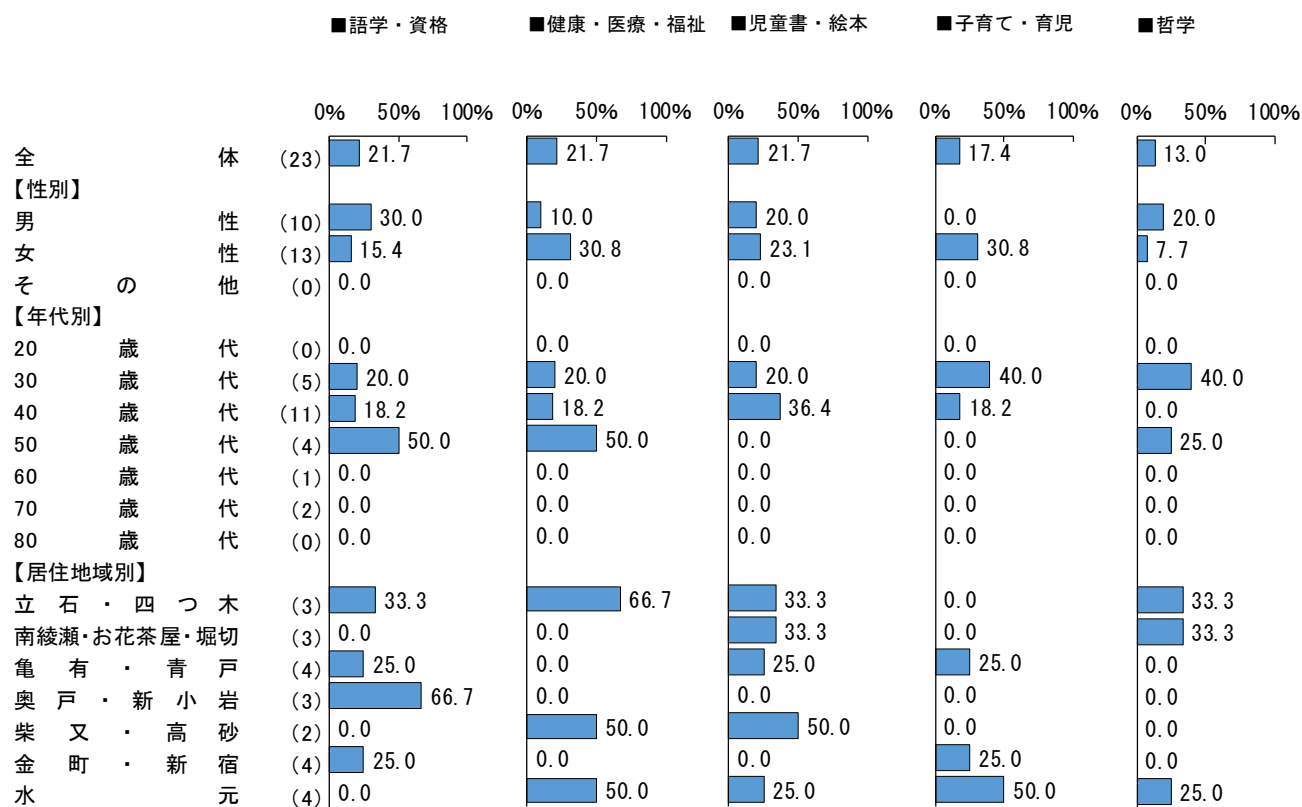
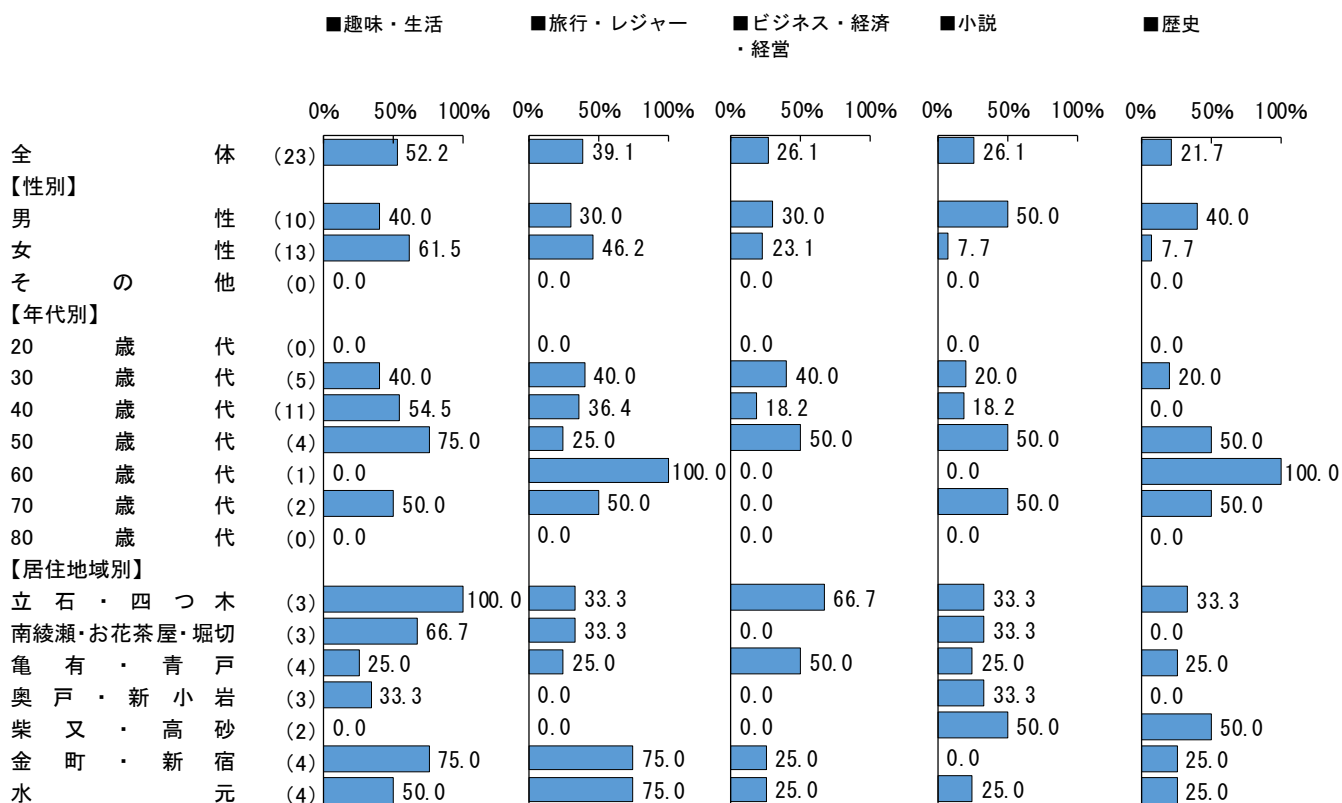
問 15 問 7 で選択肢 1 「ある（現在も利用している）」と答えた方にお伺いします。電子書籍サービスで利用したいジャンルを選んでください。（あてはまるものを全て選択）

電子書籍サービスで利用したいジャンルについては、「趣味・生活」が 52.2% で最も高く、次いで「旅行・レジャー」が 39.1%、「ビジネス・経済・経営」と「小説」が 26.1% となっている。性別でみると、「趣味・生活」は女性が 61.5% で男性の 40.0% より高くなっている。

図表－29 電子書籍サービスで利用したいジャンルについて（全体）



図表-30 電子書籍サービスで利用したいジャンルについて
(全体・性別・年代別・居住地域別—上位10項目)



(16) 葛飾区立図書館に対するご意見・ご要望

問 16 葛飾区立図書館では、ICT を活用した未来志向の図書館として新たなサービスの検討を行っています。あると便利だと思う「未来志向の図書館」サービスをご記入ください。

また、葛飾区立図書館に対するご意見・ご要望がございましたらご記入ください。
(自由記述)

※葛飾区立図書館では、これからの図書館運営の基本的な考え方として、令和 6 年 3 月に「葛飾区立図書館の基本的な考え方【取組方針】」を策定しました。「未来志向の図書館の検討」はその中での目標の一つです。

【主な意見】

- ・勉強や学習に必要な設備 (LAN、PC など) の充実。
- ・図書館に行く際は紙媒体で読みたいと思っているので特に電子化は求めている。最新の書籍が紙媒体で用意されていると嬉しい。
- ・図書館には、よく利用させてもらい助かっている。立石図書館に 3 歳の娘と行くが、子連れにも親切で嬉しい。9 歳の息子はお城が好きなので、小学生の読める日本の城の本を増やしてもらえると助かる。予約した本が届いたらメールで通知が来るので、便利だと感じる。更なる ICT の活用も素敵だが、娘や息子が温かい気持ちになれる図書館がこれからも続くことを願っている。
- ・外にある 24 時間返却可能な BOX は子連れには助かる。駅で返却できるのは本当に便利なので、新しい立石駅にも立ち寄りやすい場所に是非お願いしたい。
- ・貸出期間が短い。
- ・区の文化やお祭、歴史、名所などの写真、動画、音声をアーカイブして、文字や紙だけでなく図書館を希望する。
- ・いつでもどこでも書籍や図書館が提供するコンテンツの貸し出しを受けることができることや、図書館の情報端末で様々な講義を受けたり、資格取得の試験ができること。
- ・電子書籍がもっと増えれば良いと思う。
- ・家で本を借りて読めること。
- ・ちょっと座って本を読みたいと思っても席がないことが多い。本を読みながらではなくて休憩出来るスペースがあるといいと思う。飲み物や軽食が購入出来る自動販売機があると嬉しい。講演会などが充実してほしい。
- ・民間企業と連携した図書館づくり。
- ・区内の名所・様々なサービススポット案内。
- ・書籍を PC に読み込み、AI が朗読したものをスマホからいつでもどこでも聴ける等のサービスがあると嬉しい。
- ・購入が難しい本や専門書などを充実していただければ嬉しい。
- ・顔認証システムなどで本を借りられる。
- ・子どもが資料検索機を上手く使えず、途中で諦めてしまうことがあり、音声入力があるともっと使用しやすくなると思った。
- ・自分に合う本をおすすめ、配信してくれる。
- ・自宅から、本の予約が可能だと便利だと思う。
- ・娯楽用の書籍は電子書籍で購入しており、図書館の利用目的は、専門的で高価な書籍で調べ物を

したい場合や、同じく高価な書籍の購入の際の参考にしたい場合であるので、どの図書館に該当する書籍があるのか、家を出る前に分かったと助かる。

- ・子ども向けに、年齢や興味関心、漢字の難易度、避けたい描写や表現などの項目を選定して、おすすめの本を選んでくれるサービスがあると嬉しい。
- ・古い雑誌や書籍等、書店では手に入らないものがたくさん読めるようにする(デジタルでも可)。
- ・自宅PCやスマートフォンで本が検索でき、読むことができるサービス。
- ・図書館の本を返せる場所を増やしてほしい。
- ・地区センターの本のスペースや図書館に中学生(小学生高学年・高校生)の学習につながる本を活用し、大学生や一般の方の活動で毎週〇曜日など週に少しでも良いからわからないところを教えるなど、塾に行けない子どもへのサポートの場にしてほしい。
- ・電子書籍と同じように映像貸出もオンラインで出来るようになってほしい。ストリーミングのような配信でも構わない。映像資料のようなものも同じように出来るとなお良い。
- ・館内でパソコンを使用できるようにしてほしい。
- ・身体が不自由な人や図書館に行くのが大変な人向けに貸出物の配達サービスがあると良い。
- ・期限内に返さない人への対応を罰則も含めて検討してほしい。
- ・子ども達を連れて行きたいと思っても、近くの図書館に車で行けないので、おっくうになってしまう。
- ・他の自治体が所蔵している電子書籍を越境して借りられたら便利だと思う。
- ・学生が自習など出来るスペースを沢山作ってほしい。
- ・電子書籍をAIなど活用して代理で読むサービス。
- ・AIで資料を探したりおすすめの本を見つけたりするサービスが利用できると良いと思う。
- ・AIによる次に読むべきオススメ本を紹介するサービス。
- ・AIによる図書の検索サービス(自然言語で入力した問合せに対して、適切な図書を提示してくれるサービス)。
- ・ICTの活用にとっても期待する。分かりやすく老若男女問わず、利用出来ることを望む。
- ・高齢者が利用しやすいサービスをお願いする。
- ・受験生向け電子書籍参考書の拡充を希望する。
- ・小学校低学年が一人でも利用しやすい自習席を増やしてほしい。
- ・リモートでの講演会や演奏会、選挙時の候補者の演説とかみられたら良いと思う。
- ・読書や勉強の為に利用することが多いが、単に暇潰しや涼みに来ているような方々が会話をしていることもあって気になる。館内は静粛であってほしいと思う。
- ・駅に本返却ポストがあると便利だと思う。
- ・事前に予約出来て、自宅に近い所で返却出来るシステム。読み上げ機能や、電子書籍は今後必須となると考える。他区の図書館では、若者向けの雑誌やCD、DVDも人気があり、幅広い年齢層が図書館に通っている。私自身、読み聞かせのボランティアや、イベントボランティアなどをやってみたい。
- ・カフェを併設してほしい。
- ・オーディオブックは良いと思う。
- ・図書館として基本となる書籍などのコンテンツの充実と、貸出・返却場所の拡充。電子書籍、駐輪場の拡充をお願いしたい。

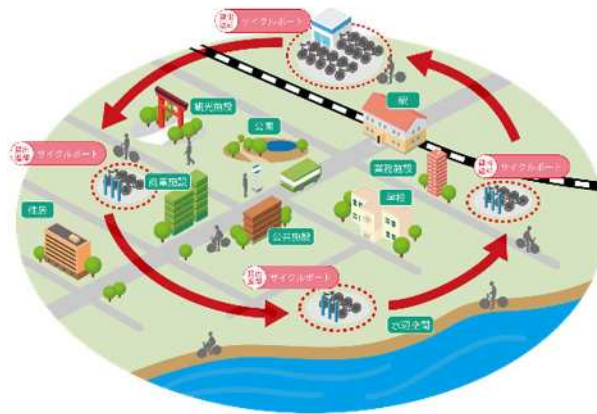
- ・新着書籍やCDの新着情報の発信。
- ・外国語学習に役立つ書籍を充実してほしいと思う。特に、スペイン語、イタリア語、フランス語を充実してほしい。
- ・他自治体の図書館との連携。
- ・電子書籍やオーディオブックのレンタルはとても魅力的なので是非検討を進めてアピールしてほしいと思った。
- ・マイナンバーカードなどで認証することで、スマートフォンやPCなど自宅に居ながら電子書籍がレンタルできるようなサービスが出来ると革新的だと思った。
- ・もっと入りやすい雰囲気作り。
- ・ICT 自体が具体的によくわからない。
- ・日本中の図書館の蔵書の検索、貸出サービス。

2. シェアサイクルについて

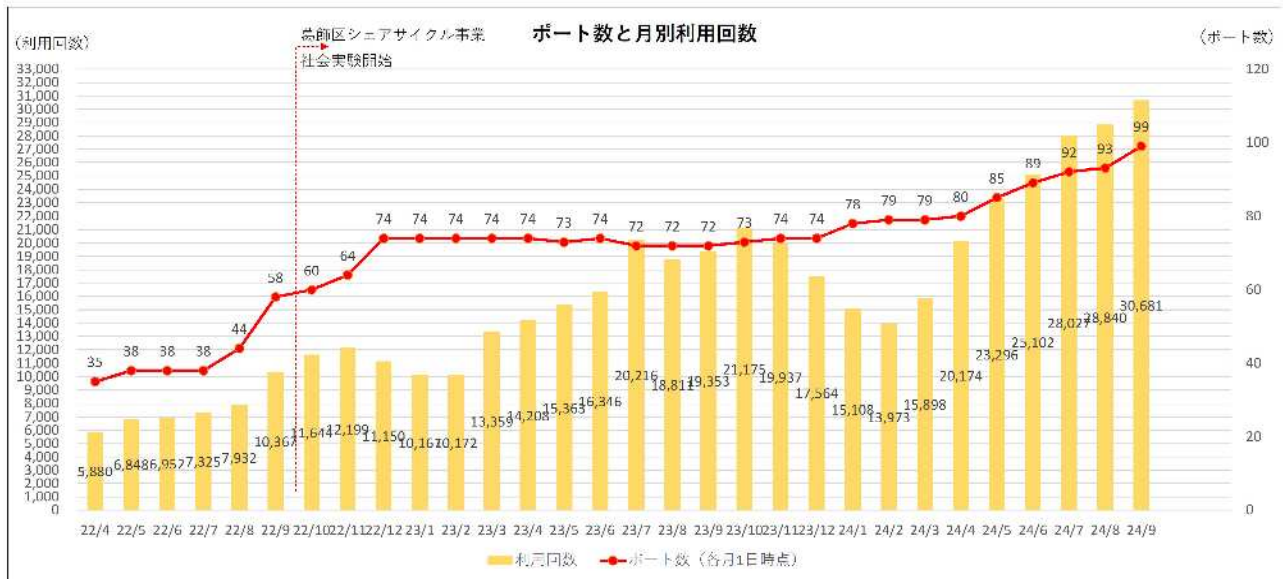
シェアサイクルとは、複数配置されたサイクルポートで自由に貸出・返却をすることができる自転車シェアリングシステムのことです。借りたサイクルポートとは異なるサイクルポートで返却することができます。

区内における移動の利便性や回遊性の向上、自家用車から自転車への交通手段の転換による環境にやさしいまちづくりに向けて、自転車をいつでも貸出・返却できるシェアサイクルをさらに普及させるため、区民モニターの皆様のご意見を伺います。

※サイクルポートとは、施設等に設置された、自転車の貸出・返却を行う無人の駐輪施設のことです。



シェアサイクルポートの普及促進について



【経緯】

「葛飾区基本計画」（令和3年8月）では、夢と誇りあるふるさと葛飾の実現に向けて「安全・快適な交通環境実現プロジェクト～区民の生活の「足」を支える～」などのプロジェクトを掲げています。

上記プロジェクトに関連する計画事業の一つとして「自転車活用の推進」が定められています。

本区においても葛飾区基本計画に基づいた「葛飾区自転車活用推進計画」（令和4年2月）を策定しました。基本理念として「人にも環境にもやさしい「自転車」を生かしたまちづくり」を掲げ、基本目標の一つとして「様々な場面で自転車が利用できる環境づくり」を定め、施策の一つとしてシェアサイクルの普及促進に取り組むこととしています。

【現況】

葛飾区は坂が少なく平坦な土地であるため、日常的に自転車を利用しやすい環境が整っています。また、江戸川や荒川、中川など多くの河川が流れており、サイクリングに適した地域資源にも恵まれています。交通手段として自転車を利用している割合は東京23区で最も高く、鉄道やバスと合わせて自転車が重要な交通手段の一つとなっています。

シェアサイクルの普及促進に向けて、民間事業者（ハローサイクリング）との共同事業として協定を締結し、令和4年9月から令和9年3月まで「葛飾区シェアサイクル事業社会実験」を実施しています。

区内シェアサイクルポート数は協定を結んだ令和4年より増加を続けており、令和6年9月30日時点で99か所のシェアサイクルポートが整備されています。ポートの整備に伴って、利用者も増加を続けています。今回の調査結果を踏まえ、今後もいつでもどこでも利用できるシェアサイクルの普及促進を進めてまいります。

(17) よく利用する交通手段

問17 区内を移動するとき、よく利用する交通手段は何ですか。(あてはまるものを3つまで選択)

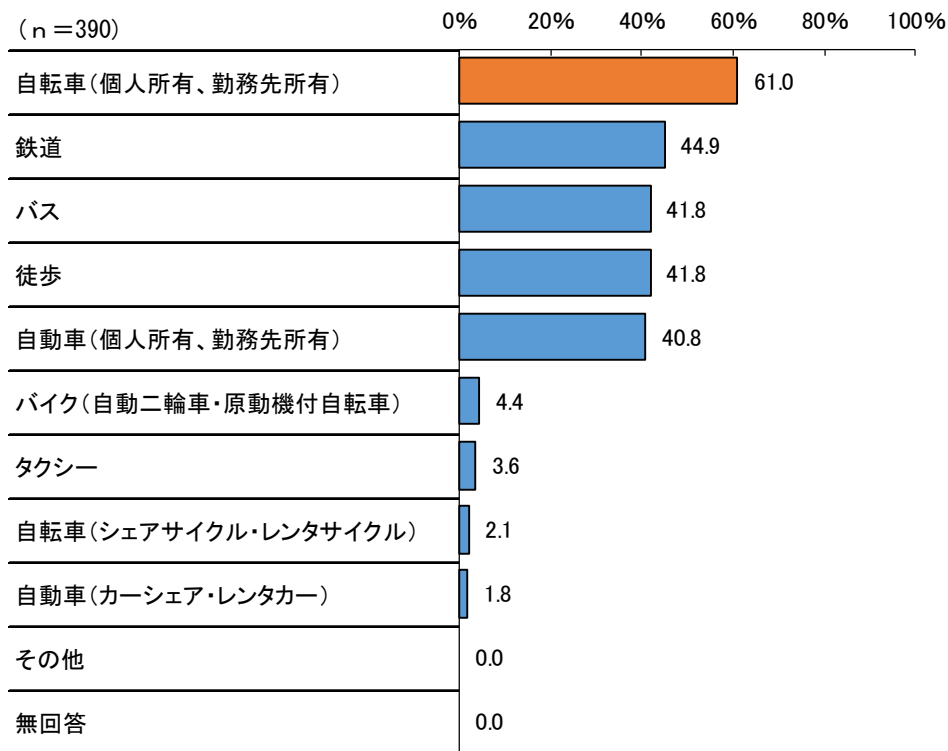
区内を移動するとき、よく利用する交通手段については、「自転車（個人所有、勤務先所有）」が61.0%で最も高く、次いで「鉄道」が44.9%、「バス」と「徒歩」が41.8%、「自動車（個人所有、勤務先所有）」が40.8%となっている。

年代別でみると、「自転車（個人所有、勤務先所有）」は40歳代が70.2%で最も高く、次いで70歳代が67.7%、60歳代が66.7%となっている。また、「鉄道」は20歳代が57.1%で最も高く、次いで40歳代が53.6%、30歳代が50.0%となっている。

地域別でみると、「自転車（個人所有、勤務先所有）」は水元が71.1%で最も高く、次いで金町・新宿が70.0%、南綾瀬・お花茶屋・堀切が65.9%となっている。また、「バス」は奥戸・新小岩が57.4%で最も高く、次いで水元が46.7%、立石・四つ木が44.7%となっている。

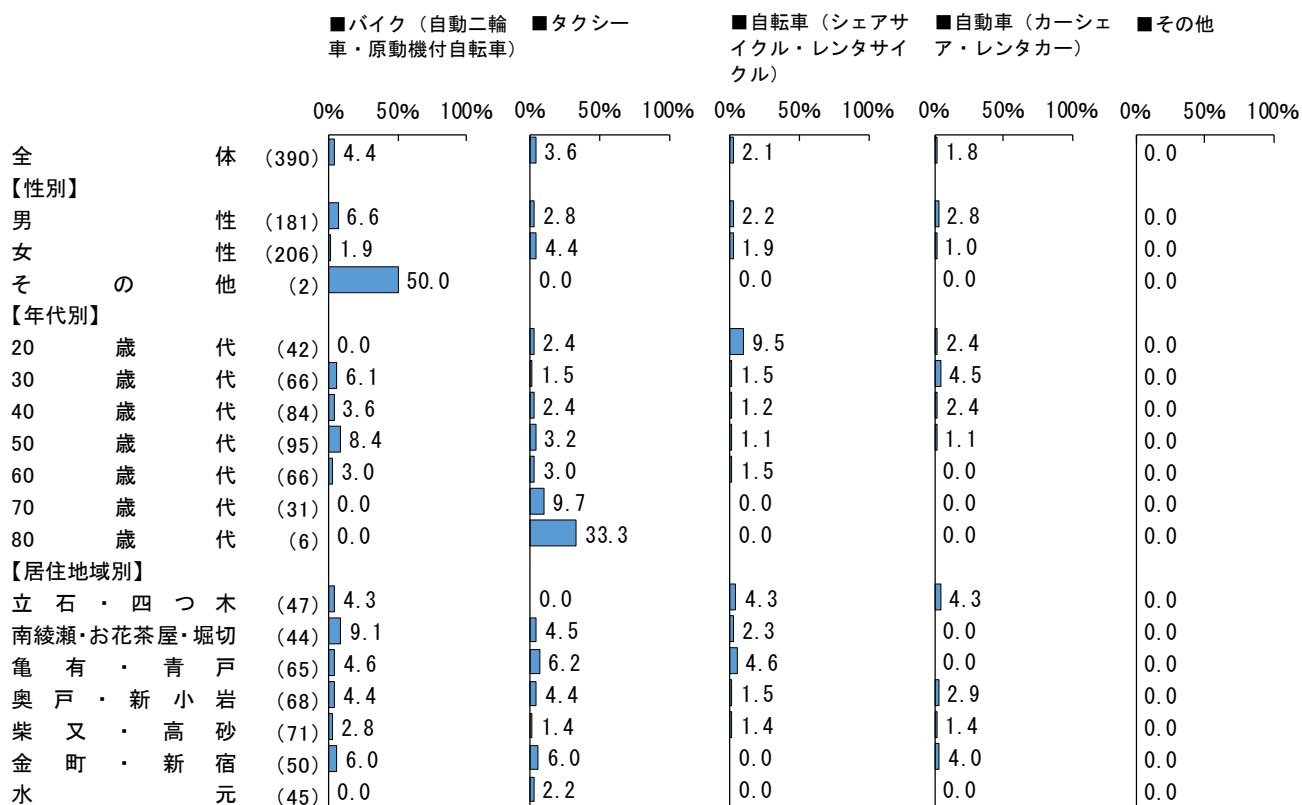
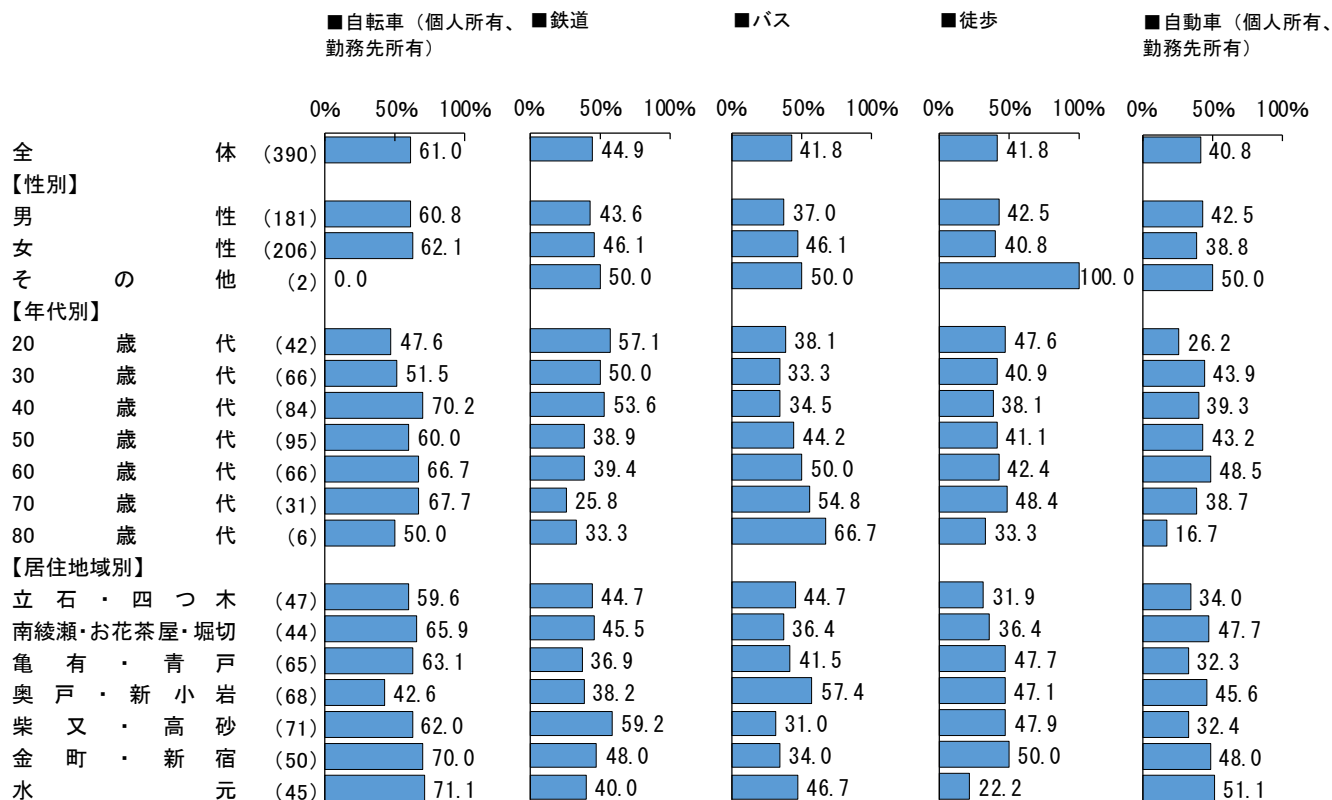
なお、自転車（シェアサイクル・レンタサイクル）は全体の2.1%であり、年代別では20歳代が9.5%と最も高い。地域別では亀有・青戸が4.6%と最も高く、続いて立石・四つ木が4.3%となっている。

図表-31 よく利用する交通手段（全体）



図表-32 よく利用する交通手段（全体）

（全体・性別・年代別・居住地域別）



(18) 区内を移動するとき、不便を感じる点

問 18 区内を移動するとき、不便を感じている、または感じたのはどのような点ですか。
(あてはまるものを全て選択)

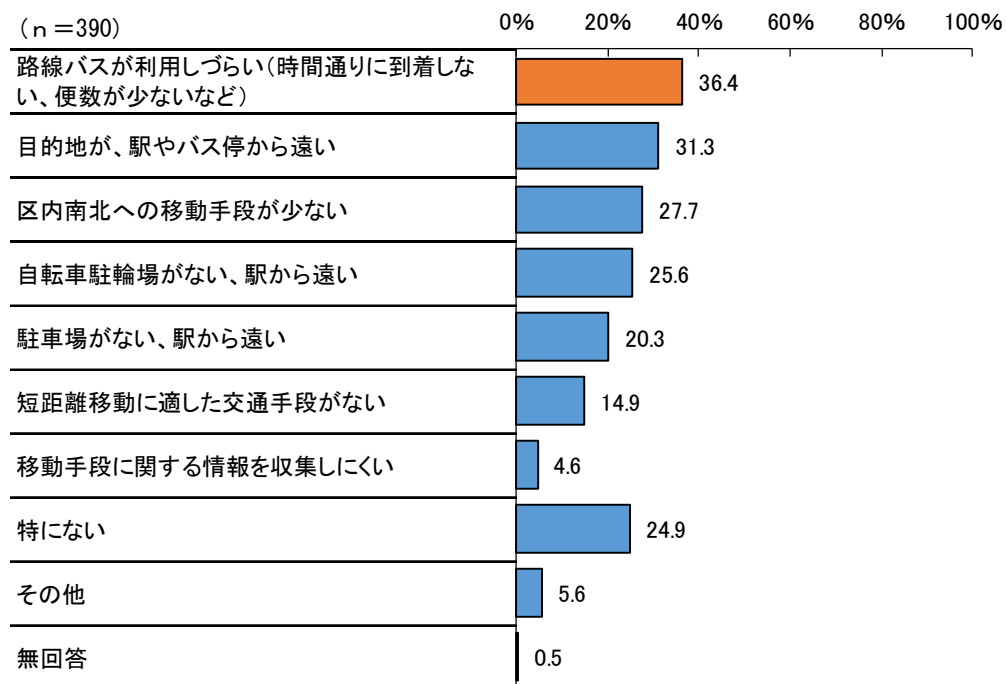
区内を移動するとき、不便を感じている、または感じた点については、「路線バスが利用しづらい（時間通りに到着しない、便数が少ないなど）」が 36.4%で最も高く、次いで「目的地が、駅やバス停から遠い」が 31.3%、「区内南北への移動手段が少ない」が 27.7%となっている。

性別でみると、「路線バスが利用しづらい（時間通りに到着しない、便数が少ないなど）」は女性が 42.7%で男性の 29.8%より高くなっている。

地域別でみると、「路線バスが利用しづらい（時間通りに到着しない、便数が少ないなど）」は奥戸・新小岩が 54.4%で最も高く、次いで南綾瀬・お花茶屋・堀切が 43.2%、立石・四つ木が 40.4%となっている。

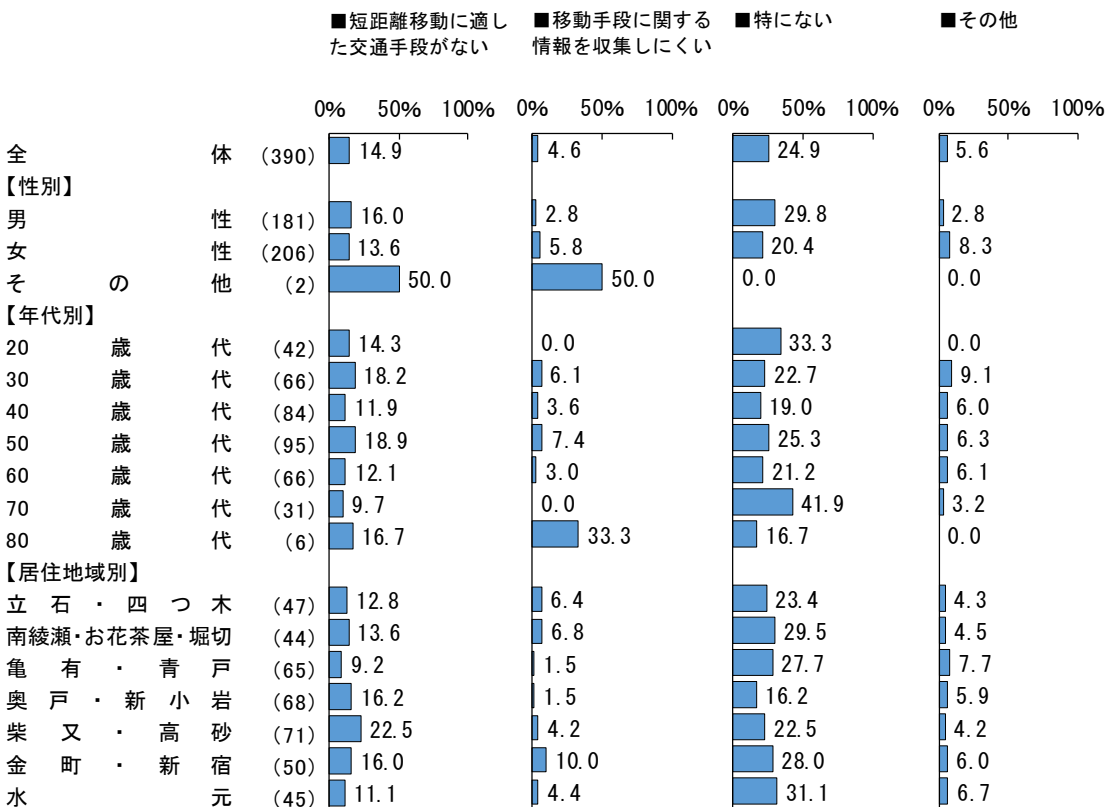
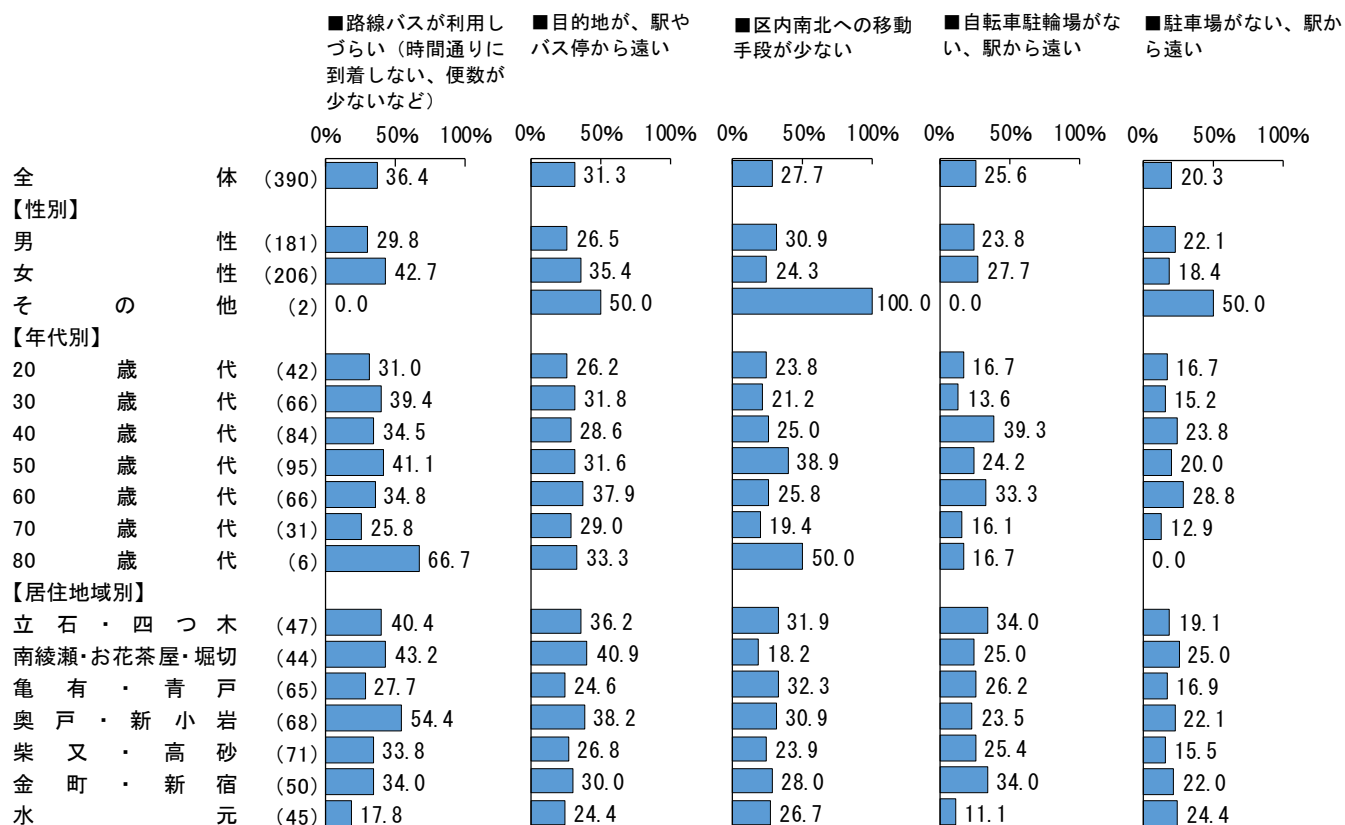
「その他」の内容としては、「シェアサイクルのポートが少ない」「バスによっては本数が少ない」「自転車やバイクの駐輪場が少ない」などがあつた。

図表-33 区内を移動するとき、不便を感じる点（全体）



図表-34 区内を移動するとき、不便を感じる点（全体）

（全体・性別・年代別・居住地域別）



(19) 区内でシェアサイクルを実施していることを知っているか

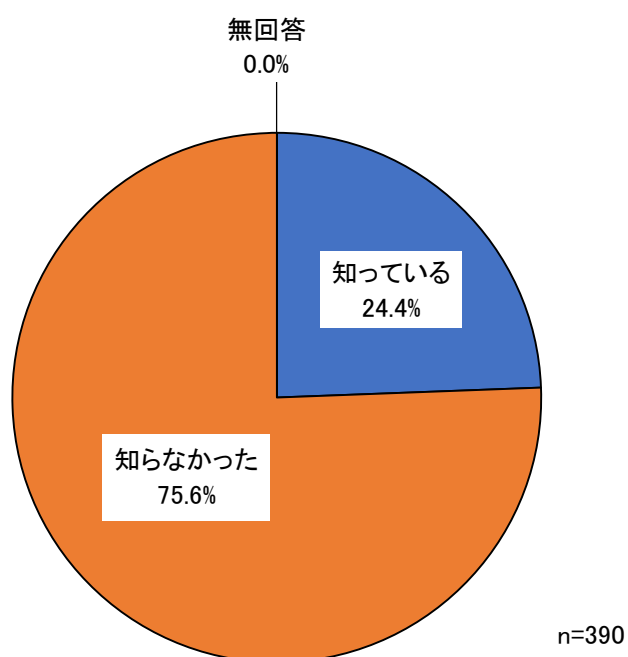
問 19 区内でシェアサイクルを実施していることを知っていますか。(1つ選択)

区内でシェアサイクルを実施していることを知っているかについては、「知っている」が24.4%、「知らなかった」が75.6%となっている。

年代別でみると、「知っている」は40歳代が29.8%で最も高く、次いで50歳代が26.3%、20歳代が23.8%となっている。

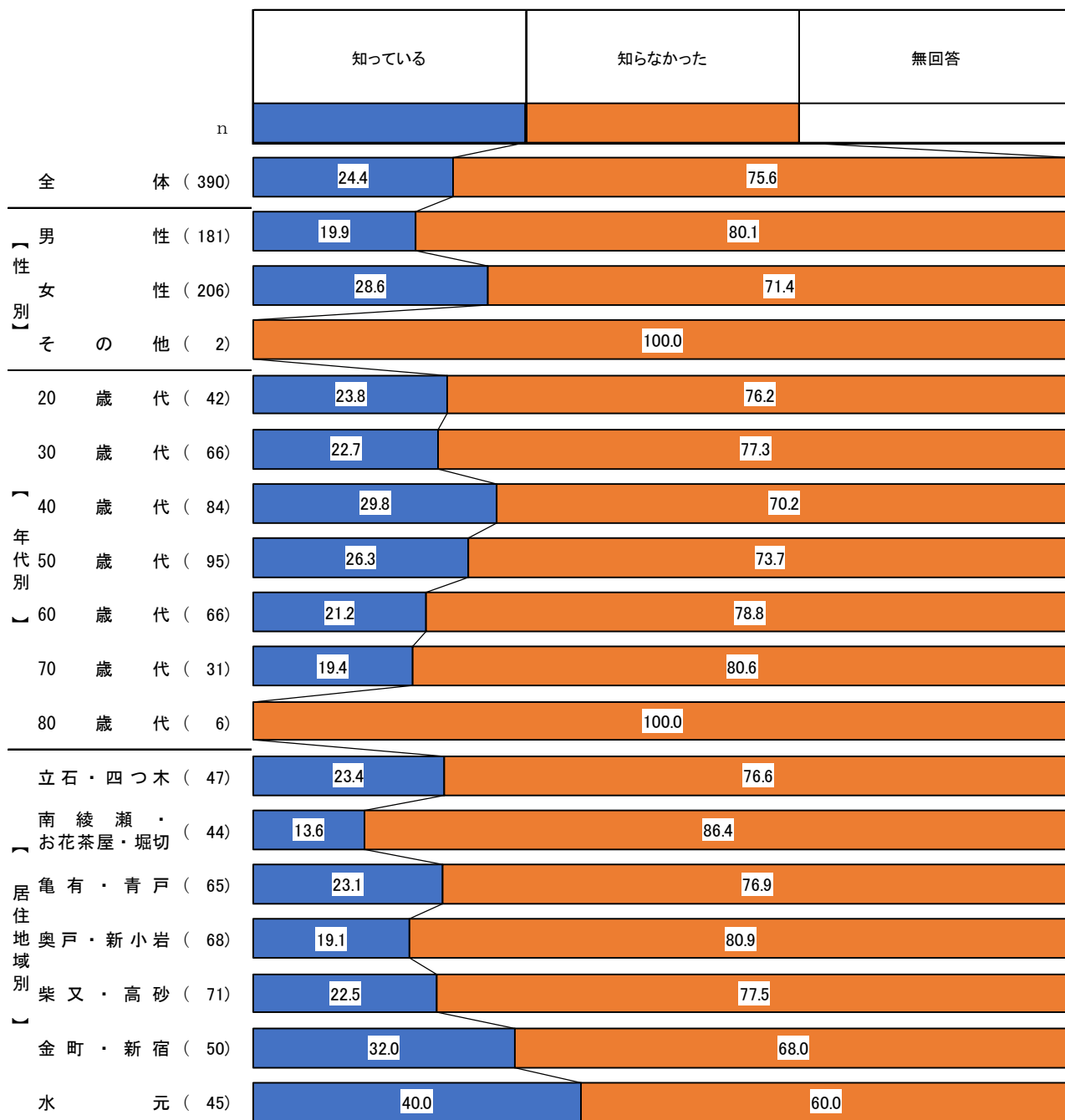
地域別でみると、「知っている」は水元が40.0%で最も高く、次いで金町・新宿が32.0%、立石・四つ木が23.4%となっている。

図表-35 区内でシェアサイクルを実施していることを知っているか（全体）



図表-36 区内でシェアサイクルを実施していることを知っているか
(全体・性別・年代別・居住地域別)

(%)



(20) 区内でシェアサイクルを実施していることをどのような手段で知ったか

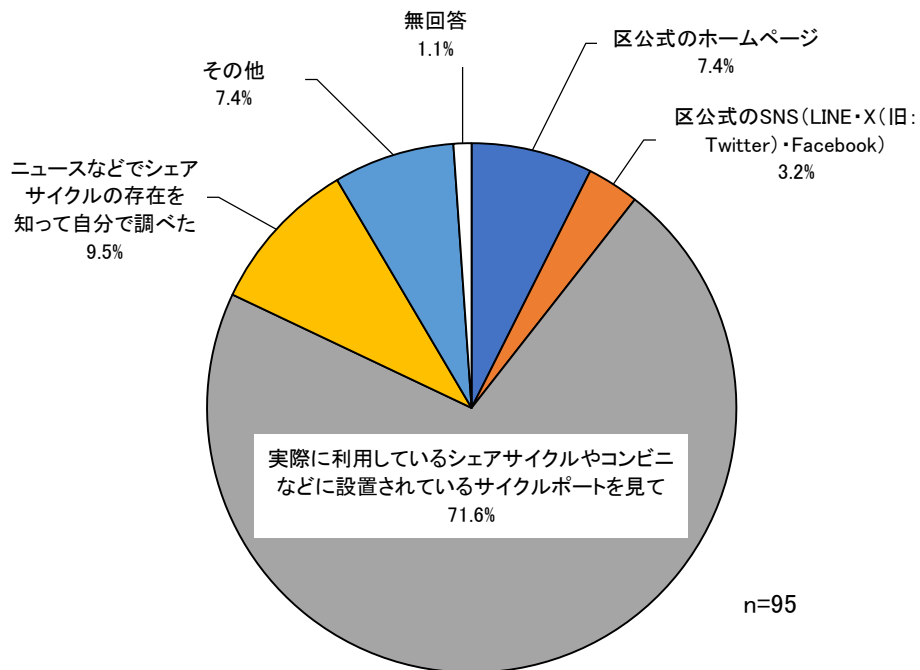
問 20 問 19 で選択肢 1 「知っている」とお答えした方にお伺いします。どのような手段で知りましたか。(1つ選択)

区内でシェアサイクルの実施をどのような手段で知ったかについては、「実際に利用しているシェアサイクルやコンビニなどに設置されているサイクルポートを見て」が71.6%で最も高く、次いで「ニュースなどでシェアサイクルの存在を知って自分で調べた」が9.5%、「区のホームページ」、「その他」がそれぞれ7.4%となっている。

年代別でみると、「実際に利用しているシェアサイクルやコンビニなどに設置されているサイクルポートを見て」は、80歳代を除く全ての世代で5割以上と高くなっている。

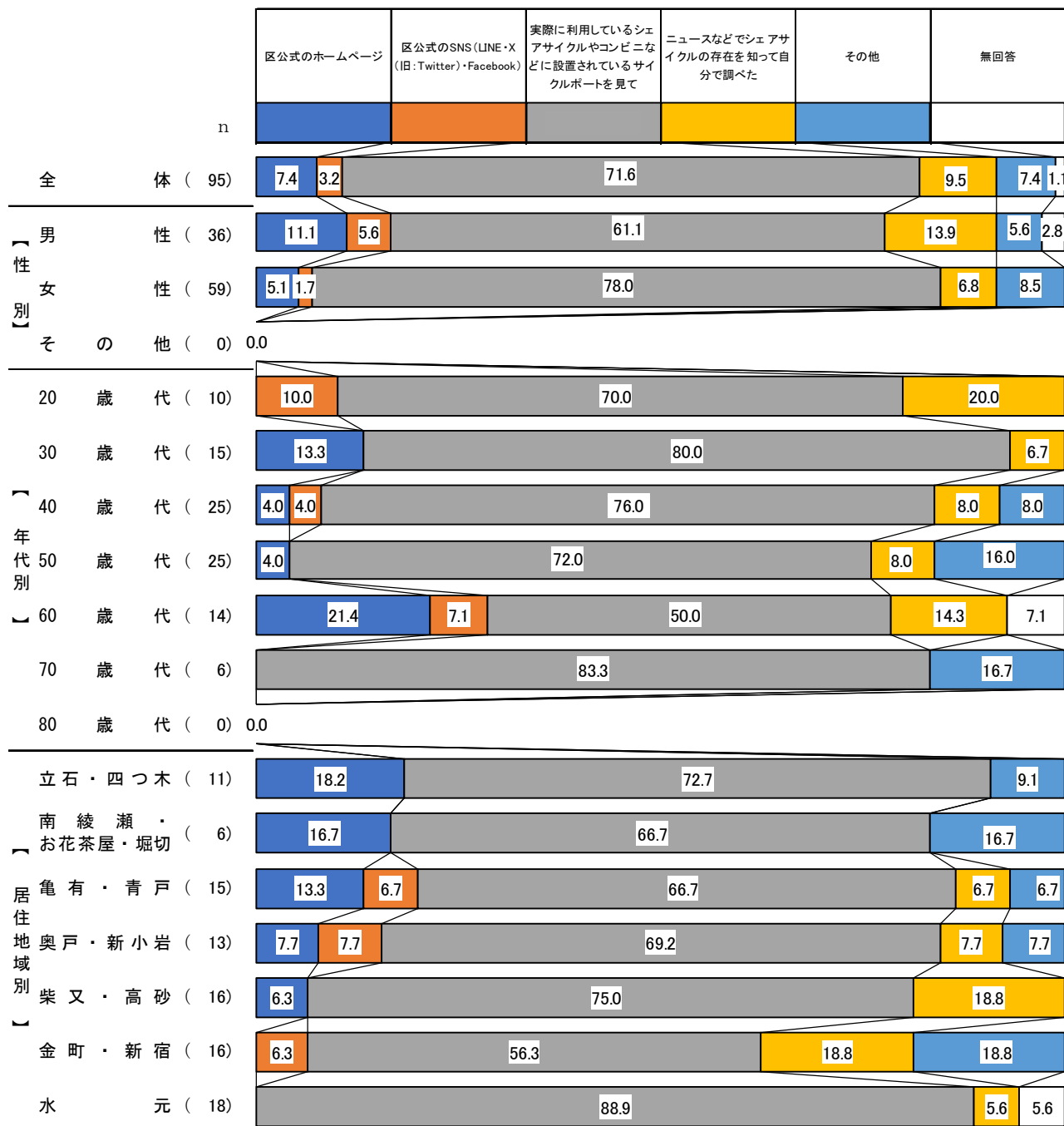
「その他」の内容としては、「見たことがある」、「人づてに聞いた」などがある。

図表-37 区内でシェアサイクルを実施していることをどのような手段で知ったか（全体）



図表-38 区内でシェアサイクルを実施していることをどのような手段で知ったか
(全体・性別・年代別・居住地域別)

(%)



(21) シェアサイクルを利用したことがあるか

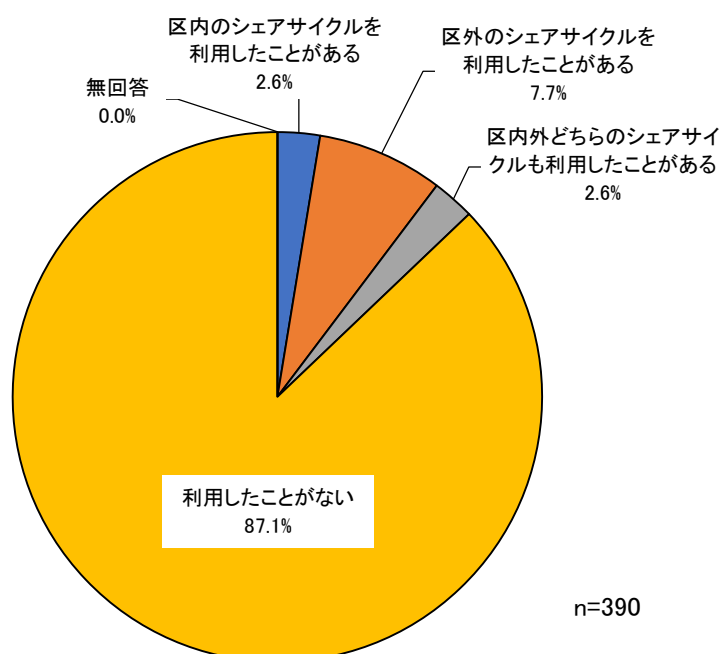
問 21 シェアサイクルを利用したことがありますか。(1つ選択)

シェアサイクルを利用したことがあるかについては、「利用したことがない」が87.1%で最も高く、次いで「区外のシェアサイクルを利用したことがある」が7.7%、「区内のシェアサイクルを利用したことがある」と「区内外どちらのシェアサイクルも利用したことがある」が2.6%となっている。

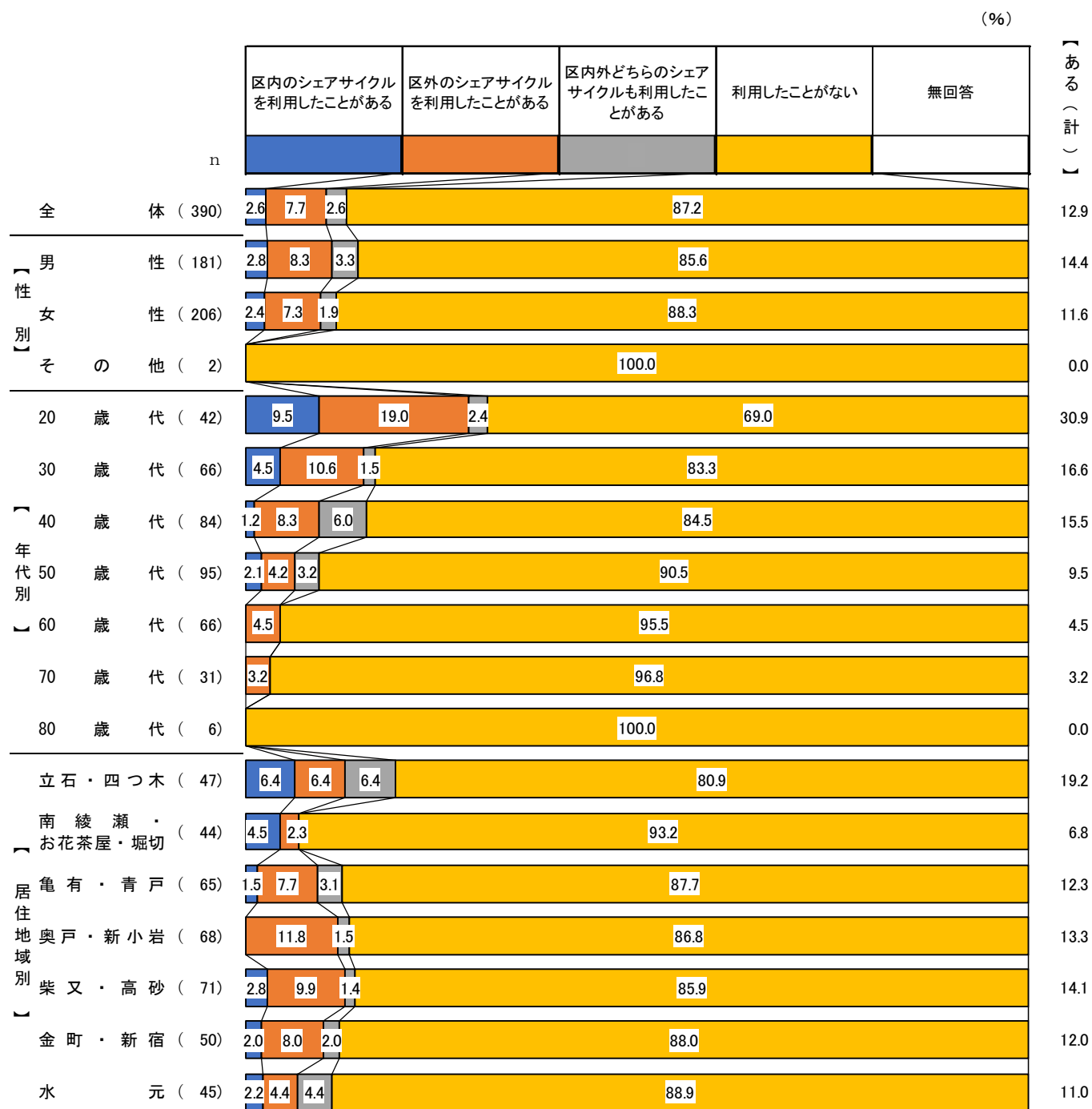
年代別でみると、「区内のシェアサイクルを利用したことがある」と「区外のシェアサイクルを利用したことがある」、「区内外どちらのシェアサイクルも利用したことがある」を合わせた『シェアサイクルを利用したことがある』は年代が若いほど割合が高く、20歳代が30.9%で最も高くなっている。

地域別でみると、「シェアサイクルを利用したことがある」は立石・四つ木が19.2%で最も高く、次いで柴又・高砂が14.1%、奥戸・新小岩が13.3%となっている。

図表-39 シェアサイクルを利用したことがあるか（全体）



図表-40 シェアサイクルを利用したことがあるか
(全体・性別・年代別・居住地域別)



(22) シェアサイクルを利用した理由

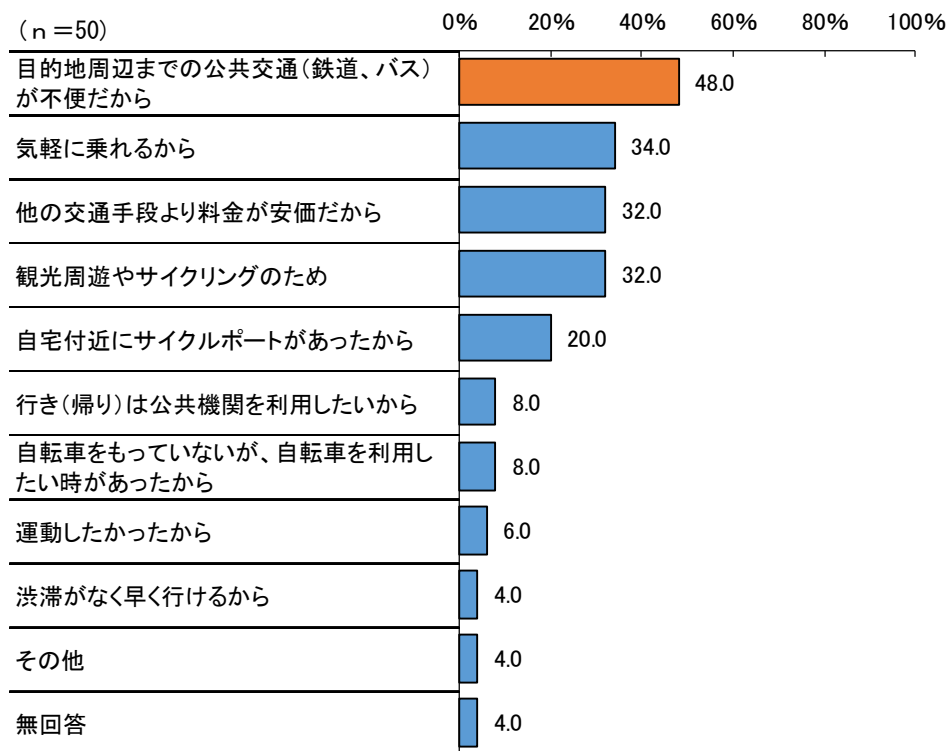
問 22 問 21 で選択肢 1～3 「シェアサイクルを利用したことがある」とお答えした方にお伺いします。シェアサイクルを利用した理由をお答えください。(あてはまるものを全て選択)

シェアサイクルを利用した理由については、「目的地周辺までの公共交通（鉄道、バス）が不便だから」が 48.0%、「気軽に乗れるから」が 34.0%、「他の交通手段より料金が安価だから」と「観光周遊やサイクリングのため」が 32.0%となっている。

性別でみると、「目的地周辺までの公共交通（鉄道、バス）が不便だから」は男性が 50.0%で女性の 45.8%より高くなっている。

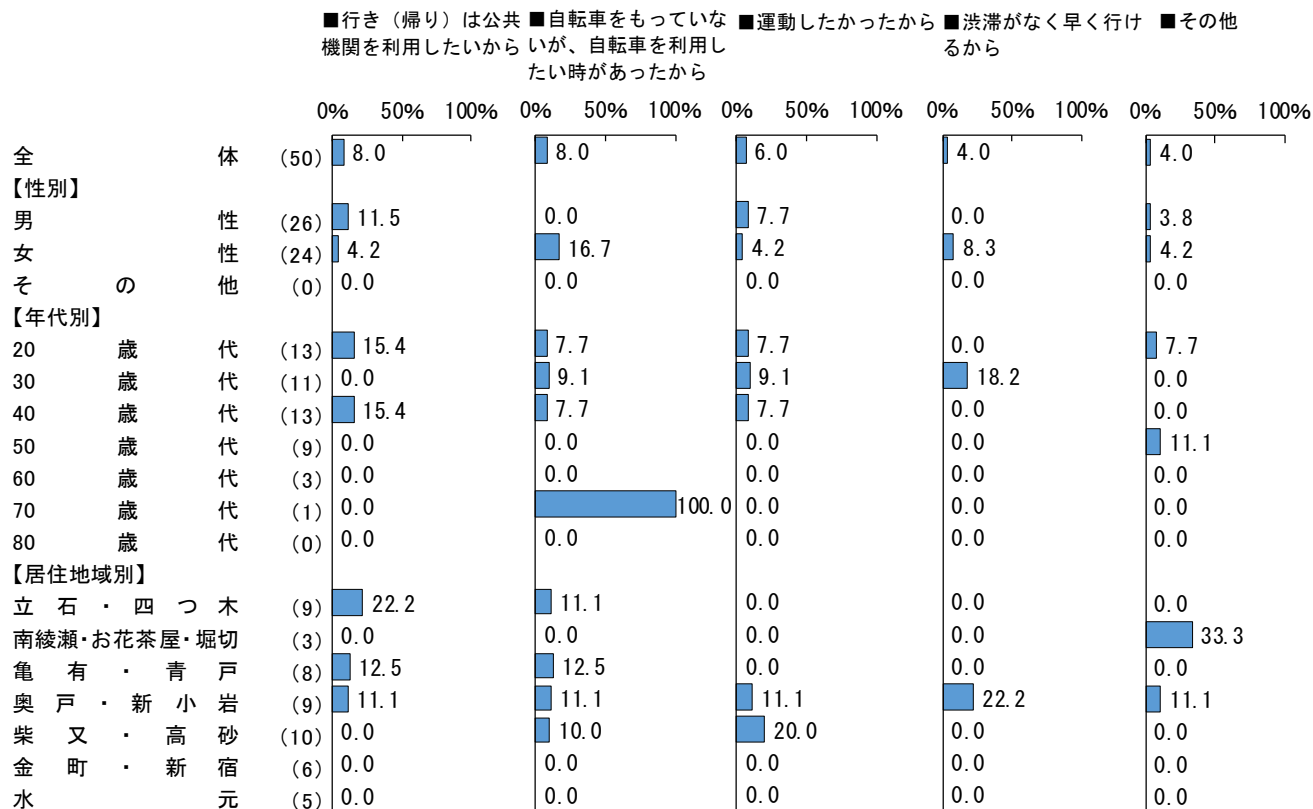
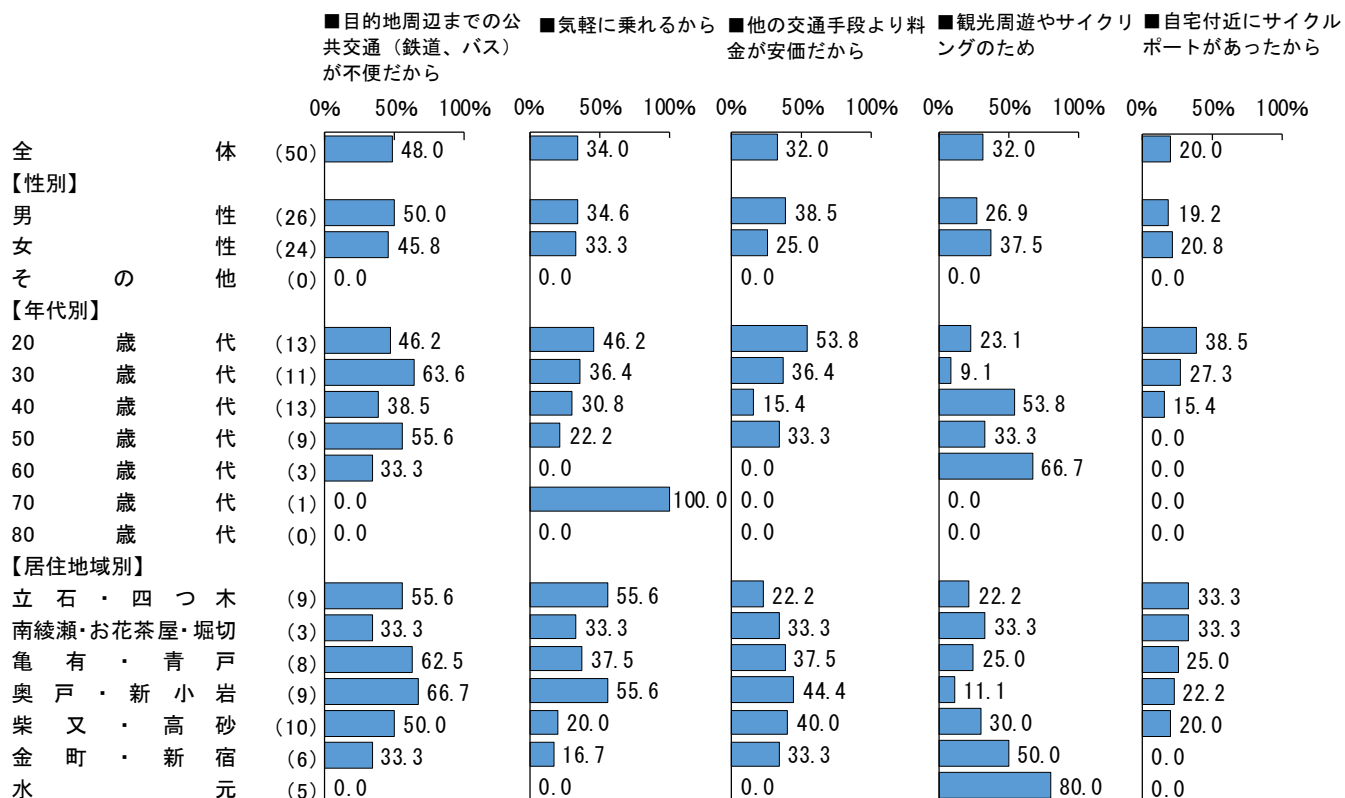
「その他」の内容としては、「待ち時間なく、どこでも行けるから」「終電を逃したから」などがあつた。

図表-41 シェアサイクルを利用した理由（全体）



図表-42 シェアサイクルを利用した理由

(全体・性別・年代別・居住地域別)



(23) シェアサイクルを利用しない理由

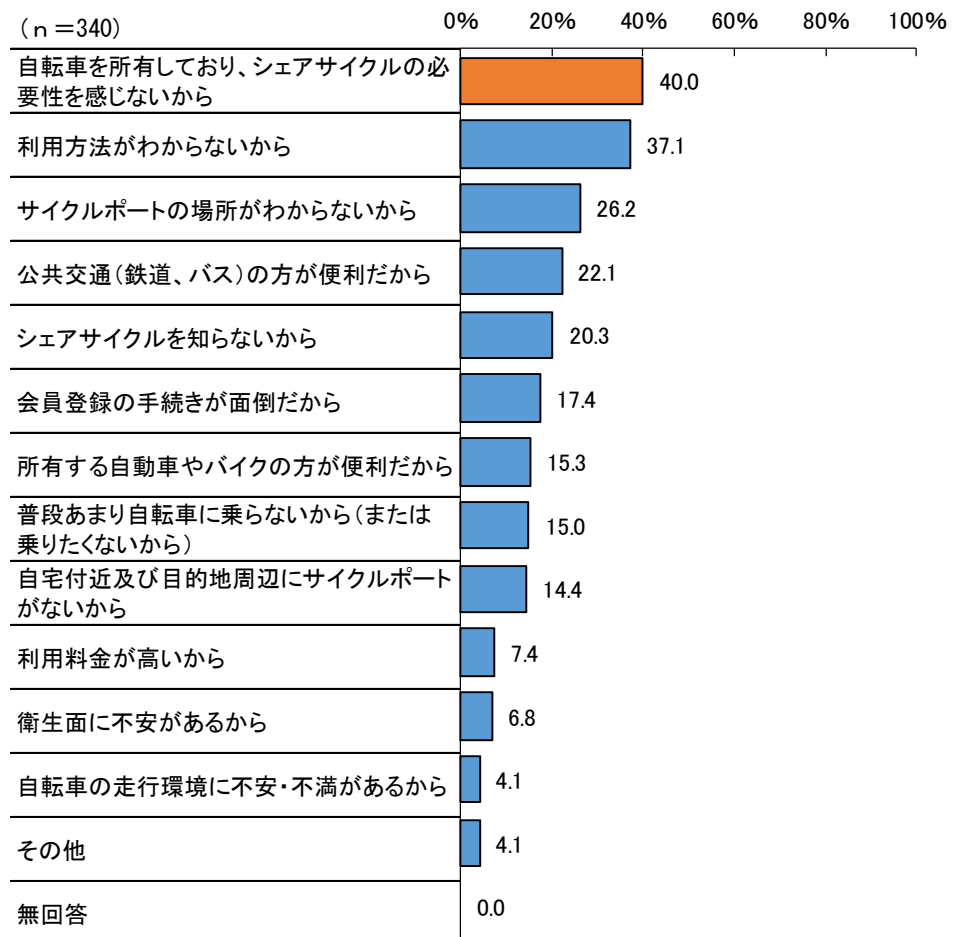
問 23 問 21 で選択肢 4 「利用したことがない」とお答えした方にお伺いします。シェアサイクルを利用しない理由をお答えください。(あてはまるものを全て選択)

シェアサイクルを利用しない理由については、「自転車を所有しており、シェアサイクルの必要性を感じないから」が 40.0% で最も高く、次いで「利用方法がわからないから」が 37.1%、「サイクルポートの場所がわからないから」が 26.2% となっている。

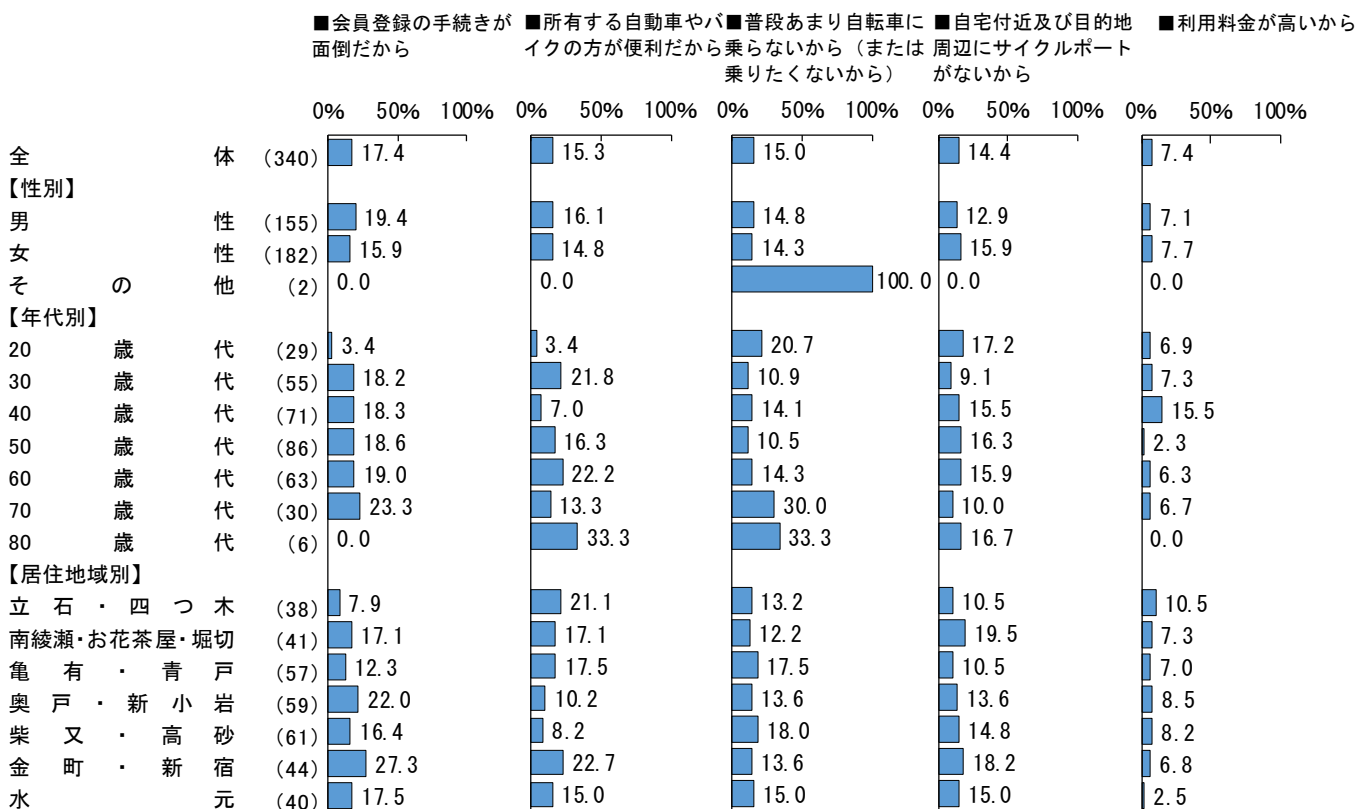
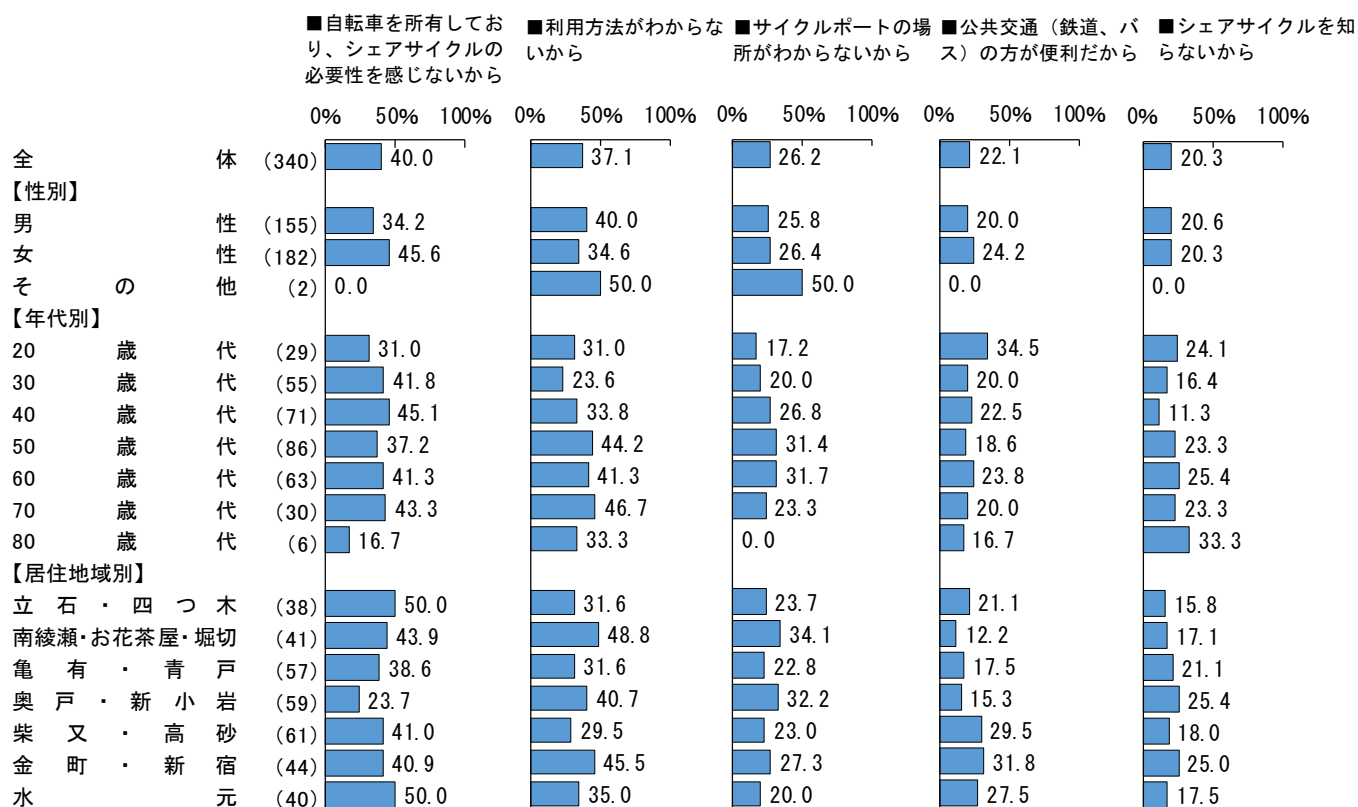
年代別でみると、「自転車を所有しており、シェアサイクルの必要性を感じないから」は、80 歳代を除く全ての年代で 3 割以上と高くなっている。また、「利用方法がわからないから」は、50 歳代、60 歳代、70 歳代で 4 割以上と高くなっている。

「その他」の内容としては、「小さな子どもと移動することが多いためチャイルドシートのない自転車は必要ではない」、「自転車レンタルにお金をかけたくない」、「一時的な置き場に困る」などがある。

図表-43 シェアサイクルを利用しない理由（全体）



図表-44 シェアサイクルを利用しない理由
(全体・性別・年代別・居住地域別—上位10項目)



(24) 今後利用したいと思うか

問 24 区内外で普段よく訪れるエリアにシェアサイクルのポート（貸出・返却場所）や自転車の台数が増えれば、今後利用したいと思いますか。（1つ選択）

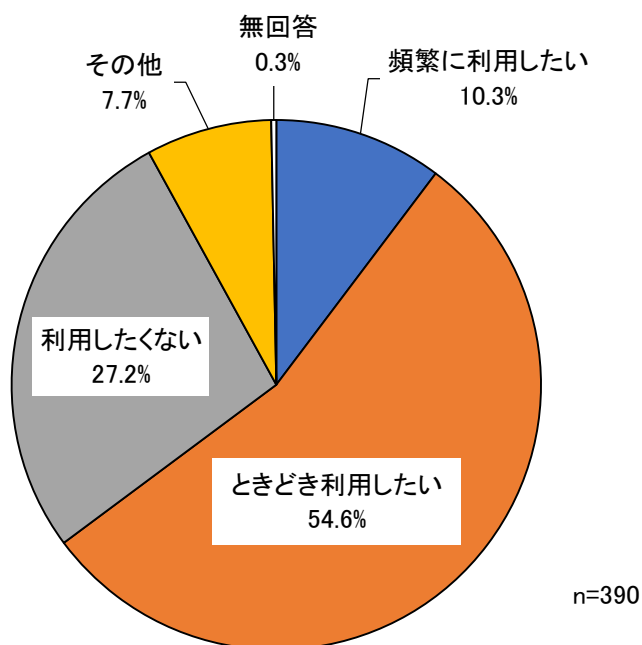
今後シェアサイクルを利用したいかどうかについては、「ときどき利用したい」が54.6%と最も高く、次いで「利用したくない」が27.2%となっている。

年代別でみると、「頻繁に利用したい」は20歳代が23.8%で最も高く、次いで40歳代が13.1%、30歳代が10.6%となっている。

地域別でみると、「頻繁に利用したい」は立石・四つ木が14.9%で最も高く、次いで奥戸・新小岩が14.7%、亀有・青戸が10.8%となっている。

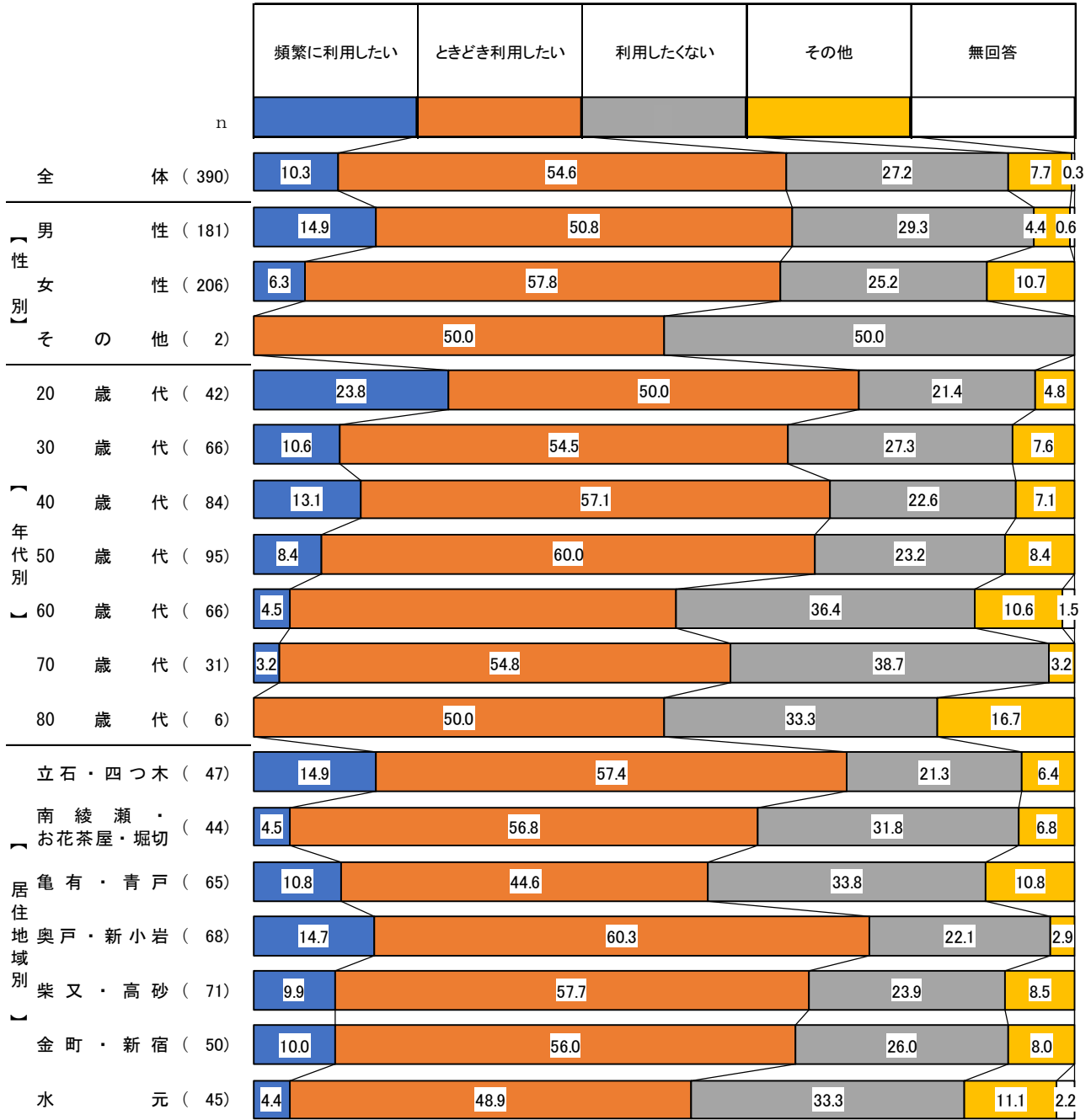
「その他」の内容については、「小さい子どもがいるので利用できない、子どもも乗せられるなら利用したい」「道が広くなれば使ってみたい」「サービスの値段による」などがあつた。

図表-45 今後利用したいと思うか（全体）



図表-46 今後利用したいと思うか
(全体・性別・年代別・居住地域別)

(%)



(25) どんな場所にあると便利だと思うか

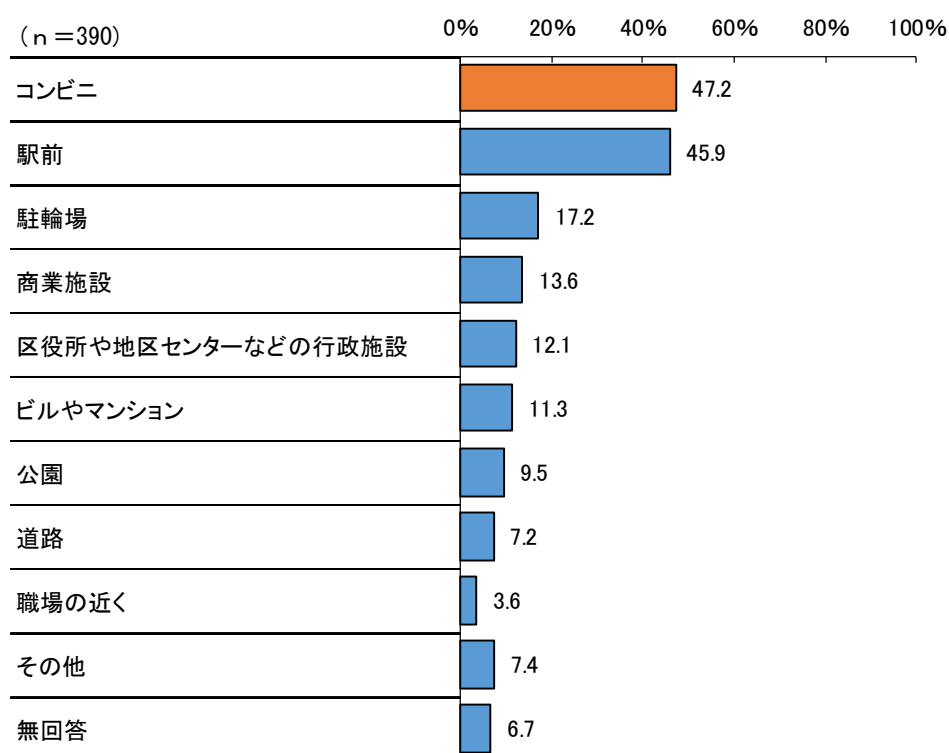
問 25 どんな場所にシェアサイクルのポートがあると便利で利用したいと思いますか。(あてはまるものを3つまで選択)

シェアサイクルがどんな場所にあると便利だと思うかについては、「コンビニ」が47.2%で最も高く、次いで「駅前」が45.9%、「駐輪場」が17.2%となっている。

年代別でみると、「コンビニ」は20歳代が61.9%で最も高く、次いで50歳代が52.6%、40歳代が46.4%となっている。

地域別でみると、「駅前」は奥戸・新小岩が55.9%で最も高く、次いで柴又・高砂が50.7%、南綾瀬・お花茶屋・堀切が47.7%となっている。

図表-47 どんな場所にあると便利だと思うか（全体）

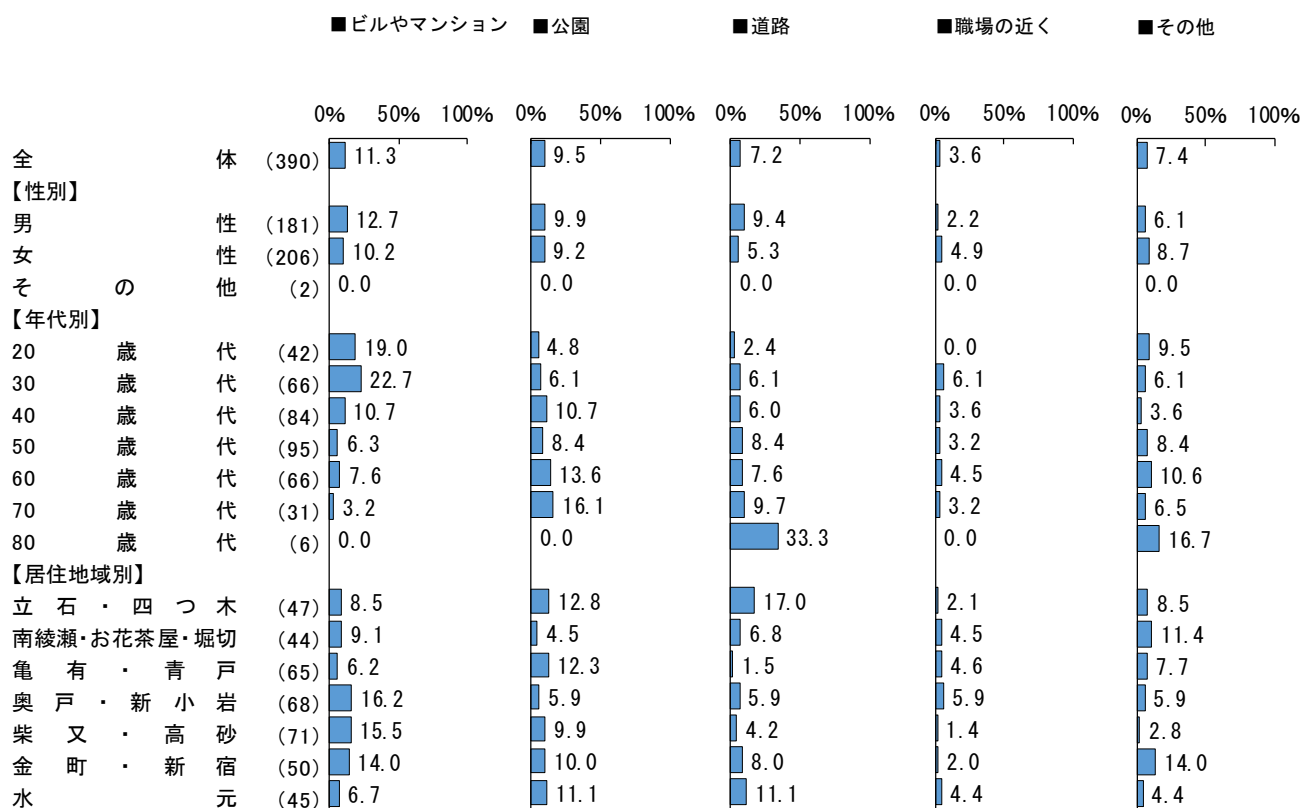
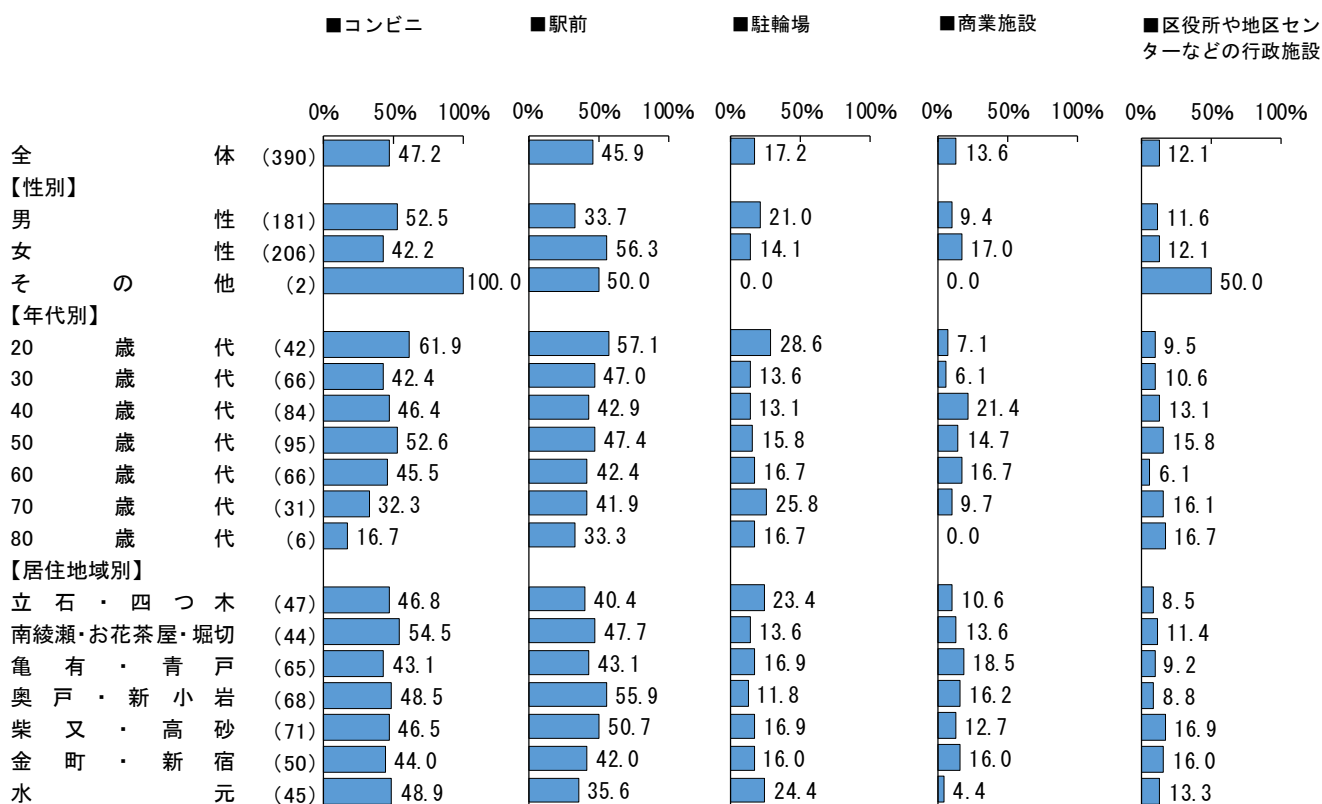


<回答の主な内容>

場所	詳しい内容
駅前	<ul style="list-style-type: none"> ・金町駅(13件) ・新小岩駅(11件) ・亀有駅(10件) ・青砥駅(9件) ・京成立石駅(9件) ・京成高砂駅(6件) ・四ツ木駅(2件) ・柴又駅(2件) ・綾瀬駅(2件) ・堀切菖蒲園駅(1件) ・バスの行き先が少ない駅 ・駅前の駐輪場
公園	<ul style="list-style-type: none"> ・水元公園(11件) ・浜江公園(2件) ・新小岩公園(1件) ・ときわ公園(1件) ・東新小岩かがやき公園(1件) ・広大な公園の移動に使う ・公園周辺にコンビニがないときはシェアサイクルがあると便利
行政施設	<ul style="list-style-type: none"> ・葛飾区区役所(9件) ・各地区センター ・図書館 ・青戸や立石駅周辺にある公共施設 ・体育館 ・にこわ新小岩
商業施設	<ul style="list-style-type: none"> ・アリオ亀有(12件) ・イトーヨーカドー(四つ木、亀有) ・テクノプラザ ・ライフ奥戸 ・新小岩駅前商店街 ・ショッピングモール ・スーパーマーケット ・観光施設や大型商業施設 ・大きな病院 ・駅から遠い場所にあるホームセンター等の商業施設
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅の近く ・バス停の近く ・河川敷のサイクルロード ・空き地 ・クリニック、検診センター ・公民問わず現状の稼働率の良い駐輪場に併設させる ・自転車の運転マナーを是正することなく増やすことに違和感がある ・個人的には区内には必要ない ・利便性がどの程度高まるのかが、わからない ・必要としていない ・利用したいと思えない ・わからない ・区内だったら家から自転車で行く ・遠くに行くには交通機関を利用するし、自転車を所有しているなら必要は無い かと思う。近場を回るのに必要な方もいらっしゃるかもしれないが、借りる場 所・返却場所が多くないと利用し辛いのではないか。

図表-48 どんな場所にあると便利だと思うか

(全体・性別・年代別・居住地域別)



(26) 電動キックボードを利用したいと思うか

問 26 今後、改正道路交通法の施行により新たな移動手段である電動キックボードが普及する可能性があります、利用したいと思いますか。(1つ選択)

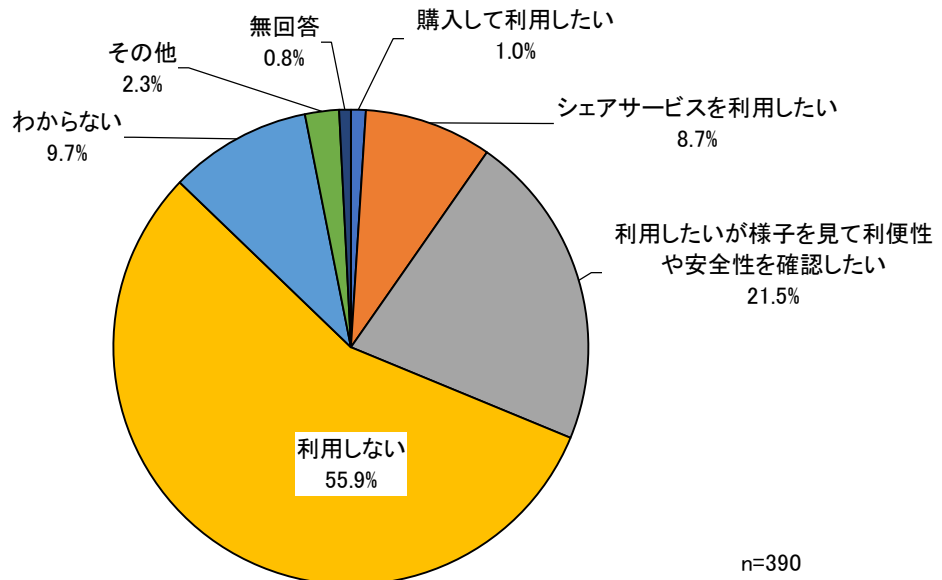
電動ボードを利用したいかについては、「利用しない」が55.9%で最も高く、次いで「利用したいが様子を見て利便性や安全性を確認したい」が21.5%、「わからない」が9.7%となっている。

年代別でみると、「シェアサービスを利用したい」は30歳代が15.2%で最も高く、次いで20歳代が14.3%、40歳代が10.7%となっている。

地域別でみると、「シェアサービスを利用したい」は奥戸・新小岩が16.2%で最も高く、次いで立石・四つ木が10.6%、柴又・高砂が8.5%となっている。

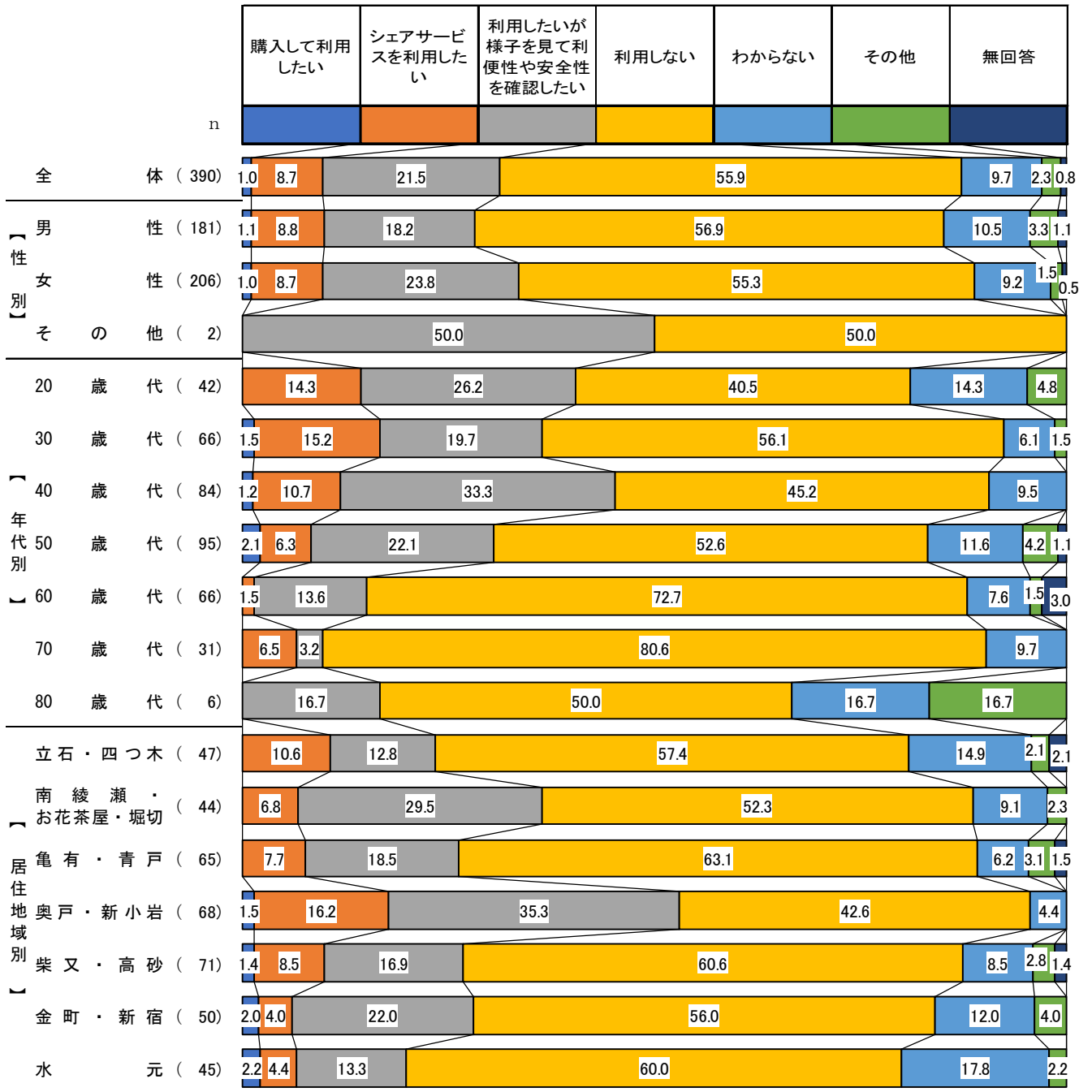
「その他」の内容については、「安全性が高まってから利用したい」「現状の法整備、道路環境では利用したいと思わない」「利用してみたいが道路事情が適していない場所も多く、危険に感じる」などがあつた。

図表-49 電動キックボードを利用したいと思うか（全体）



図表-50 電動キックボードを利用したいと思うか
(全体・性別・年代別・居住地域別)

(%)



(27) シェアサイクルについて

問 27 シェアサイクルについて、ご意見がありましたらご記入ください。(自由記述)

【主な意見】

- ・ヘルメットも、一緒に借りられるとよい。
- ・なんだか難しそうで利用しづらい。
- ・シェアサイクルを増やす前に道路整備や、交通ルールを守るための啓発をしてほしい。自転車を利用する人の多くが、歩道を通行したり、一時停止しないなど交通ルールを守らず危険と感じることが多い。
- ・シェアサイクルがあることを知らなかった。知らない人がたくさんいると思うのでもっとPRすべきだと思う。
- ・数が増えすぎると、利用者、歩行者、車の運転者全ての邪魔になると思う。便利なサービスではあるが、利用量のコントロールは必要かと思う。
- ・南北の交通手段としてぜひ多く使えるようにしてほしい。
- ・利用できる場所が周知されるよう広く発信してほしい。
- ・少し移動するのに便利だと思うが、利用先で停める所があれば利用したい。駐輪場にお金を払い、シェアサイクルにお金を払うのであれば、歩くかバスを選択すると思う。
- ・シェアサイクルできる場所までの距離や返却場所だったり不便だと結局めんどろになってしまい利用しないようになる。登録方法など利用方法も簡単にしてほしい。
- ・返却予約の時間が短すぎるのももっと長い時間を確保したい。
- ・使っている人をあまりみたことがない。自分の住んでいる地域の近くにポートがない。
- ・区営であれば放置自転車の再利用なら良いと思うが、新たに購入して運営するのは疑問を感じる。
- ・エコロジーの観点から必要だと考える。利用可能な場合が増えれば使用したいと思う。
- ・普段、車に乗っているが、危険な運転が多いと思うので、交通ルールを学ぶことを義務づけてほしい。
- ・自転車は十分に配置されているが、目的地周辺で返却できるポートに空きがない。(ポートに対する自転車の数が多すぎる)。
- ・自転車の台数や、貸し出しのスポットを増やしてほしい。
- ・災害時の移動手段として有効だと思うので区外に通学している高校生に啓発するのも良いのではないか。
- ・パンクや空気入れなどの対応や、壊してしまった際の保証はどうなるのか知りたい。
- ・利用料金が安ければ使ってみたい。
- ・シェアサイクルがある場所を、もっと周知したほうが良いと思う。
- ・遠方から来る家族や友人と区内を回る際に交通手段に悩んでいたが、利用できると思った。
- ・行った先に返却場所がないと困るので、コンビニなど全体的に利用頻度が多い所には設置してもらいたい。
- ・他区だが、返却場所が空だったり、駅前にはあふれていたり、バランスが難しいと感じる。
- ・利用者が増えると危ないと思う。狭い道路は渋滞すると思う。水元公園内で利用すると便利だと思う。

- ・交通渋滞緩和や駅から離れた地域が多いので積極的に導入、増やしてほしい。電動自転車を特に増やしてほしい。
- ・利用価格面で購入し自身で維持するより割安感があれば、シェアサイクルが有効と感じると思う。
- ・自分でメンテナンスしなくていいのが嬉しい。料金は従量制でいいから安くしてほしい。返せる場所を探すのに苦労するので乗り捨て可能であれば嬉しい。
- ・区内の人より区外の人に便利なものだと思うので、駅近辺にあると利用しやすいのではないかな。
- ・区内から区外に出て、区外サイクルポートに停めるという利用が可能であれば積極的に利用したい。
- ・交通ルールが徹底されていないので周知が必須だと感じている。
- ・シェアサイクルは便利だと思うが、衛生面や安全性は気になる。また、子連れでの利用が出来るよりも便利だと思う。
- ・コンビニにあると医療機関に行くときなど便利。
- ・広報かつしかに詳しく載せてほしい。
- ・ヘルメット着用と言われているが、ヘルメットはどうなるのか。
- ・シェアサイクルも含めて自動車交通から自転車へのモダリティシフトを促進するため、自転車利用の阻害要因を減らし、車よりも自転車のほうが利便性が高くなる道路環境を整備すべき。
- ・借りる時よりも、降りる(返す)場所の駐輪スペースに空きがあるかが気になる。
- ・江戸川区のように区営の1日数百円で利用できるようなシェアサイクルがほしい。インチの小さいものを用意してほしい。
- ・使えると便利だと思うが、放置自転車が増えてしまわないか心配。
- ・比較的どこでも借りられるが、返却ポートが非常に少ない印象を受ける。
- ・もっと低料金にしてほしい。
- ・通行の妨げになるほど停まっている場合があるので、駐輪スペースを増やす必要があると思う。
- ・葛飾区の人以外の区よりも自転車所有の割合が多いと思うので、シェアサイクルを広めるなら外国人観光客向けに配置を考えた方がよいと思う。
- ・子ども乗せがついている自転車などあったら利用したい。
- ・自転車の整備状況がわからないので不安がある。
- ・少し重たい物等を乗せても安定して走行できる自転車だとありがたい。また、自転車へ広告を入れるなどして、無料で利用できるとありがたい。

3. 妊婦・子育て世帯向け給付・助成制度について

現在区では、妊婦・子育て世帯向けに様々な給付・助成制度を実施しており、それらの制度を通じて、妊娠期から産後の育児期まで切れ目のない支援を行っています。今後も、全ての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てすることができるよう、妊娠期から産後の育児期までの各時期に応じて、様々なニーズに即した事業を実施していくため、区民モニターの皆様のご意見を伺います。

【区の実施】

区で実施している子育て支援施策は多岐にわたり、子育てしやすい街としてご認識いただいている一方、区民の方から「どの時期にこういった支援制度があるのか分かりづらい」といった声もいただいております。

そのため、令和5年度から、区で実施している給付・助成施策について、どの時期にこういった支援制度があるのか、図表を用いて視覚的に伝えるため、「妊婦・子育て世帯向け給付・助成施策周知チラシ」（次ページ参照）を作成し、親子健康手帳（母子健康手帳）交付時に配付しております。

また、親子健康手帳（母子健康手帳）交付時における配付のほか、定期的に各種 SNS（X（旧 Twitter）、Facebook、LINE）でも周知チラシデータを配信し、「分かりやすくまとまっている」等の声をいただいております。

今後も、今回の調査結果を踏まえながら、事業認知度の向上に向けた取組を引き続き行ってまいります。

葛飾区が実施している主な給付・助成制度を「**妊娠期**」・「**出産**」・「**育児期**」別にまとめました！

令和6年度版
(R6.11.1時点)

各事業の詳細な内容や
問合せ先はこちらから
ご確認ください



妊婦健康診査費用助成

親子健康手帳(母子健康手帳)交付時に妊婦健康診査受診票を配付
妊娠中の定期的な健康診査に係る費用の一部を14回分(多胎の場合追加で5回分まで)助成
あわせて、妊婦超音波検査に係る費用を4回(多胎の場合6回)分助成

子ども2人乗せ自転車等購入費助成

令和6年度拡充

小学生未満の児童を育てる世帯に、子ども2人乗せ自転車等購入費の半額(上限5万円)を助成 ※対象者を「養育児童2人以上」から「養育児童1人以上」に拡大！

子育て家庭家事サポーター派遣

3歳未満の児童を育てる世帯及び多胎妊婦に、家事支援等を行う家事サポーターの派遣費用を一部助成(利用者負担額300円/時間) ※多胎児を育てる世帯も対象！

一時預かりベビーシッター利用支援

令和6年度拡充

0~5歳児クラス(未就学児)に相当する児童及び学童保育クラブの入会申請後不承認となった小学1~3年生の児童を育てる世帯に、ベビーシッターの利用料を一部助成(利用料のうち、2,500円/時間を上限に助成(※利用時間帯により異なる)) ※対象者を「未就学児」から「未就学児及び小学1~3年生(学童待機児)」に拡大！

家庭保育の保護者への一時保育利用料助成

家庭で保育する保護者が一時的に保育施設を利用する際の利用料を助成(月額8,000円を上限に125円/時間を助成)

マタニティパス

6,000円

親子健康手帳交付後の申請により、交通系ICカードにチャージできる電子マネー6,000円分を給付 ※セブン銀行ATMで手続必要

妊娠子育て応援券

10,000円

親子健康手帳交付時等に、保健師等との面談(ゆりかご面接)実施後、商品券10,000円分をお渡し

出産応援ギフト

50,000円

親子健康手帳交付時等に、保健師等との面談(ゆりかご面接)実施後、クーポン50,000円分を給付

かつしか出産応援給付金

50,000円

出生後の児童手当・乳幼児医療証と併せて同一書式により申請後、現金50,000円を給付

子育て応援ギフト

100,000円

出生後の助産師等による家庭訪問(こんにちは赤ちゃん訪問)実施後、クーポン100,000円分を給付

1歳児子育て応援券

60,000円

1歳6か月児歯科健康診査と併せて実施する相談会(よちよちキッズ相談会)実施後、デジタルギフトカード60,000円分をお渡し ※令和5年3月以前に生まれた児童の場合は10,000円分

育児期

給付サービス…

利用支援サービス…

購入費等助成サービス…

出産



妊娠期

妊娠期にゆりかご面接をお受けください！
出産や子育てに関する様々なご相談をお受けいたします！



ご予約はこちらから

多胎児世帯向け

多胎児用ベビーカー購入等費用助成

3歳未満の多胎児を育てる世帯に、多胎児用ベビーカーの購入又はレンタル費用の半額(上限3万円)を助成

多胎児家庭移動支援(多胎児家庭応援券)

3歳未満の多胎児を育てる世帯に、こんにちは赤ちゃん訪問(出生時)、面談(1歳・2歳時)実施後、それぞれ商品券24,000円分を給付

その他の出産・子育て支援情報は
区ホームページから検索！



(28) 妊婦・子育て世帯向け給付・助成制度を知っているか

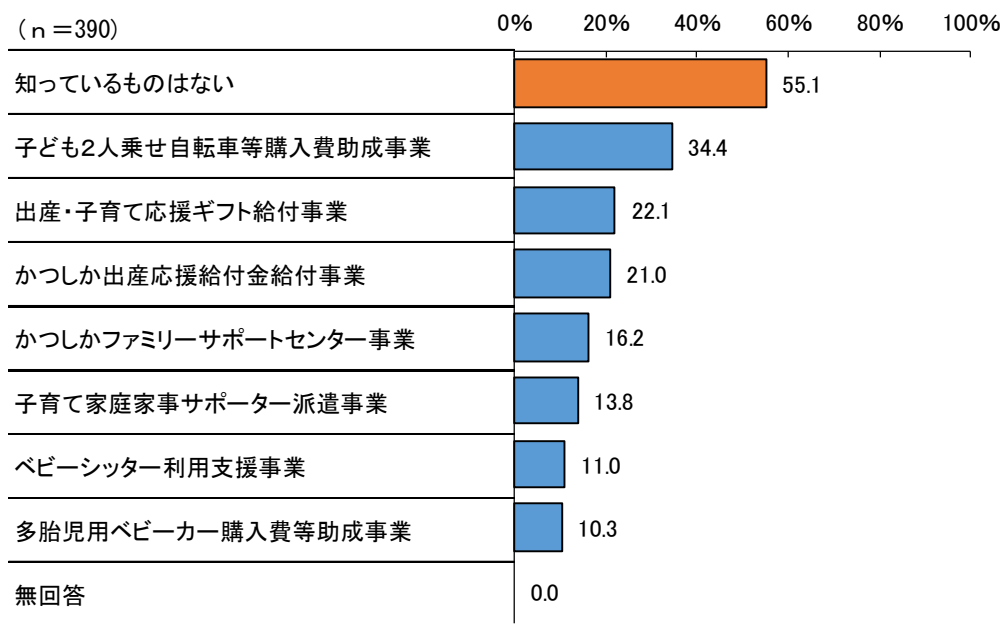
問 28 以下の給付・助成制度を知っていますか。(あてはまるものを全て選択)

妊婦・子育て世帯向け給付・助成制度を知っているかについては、「知っているものはない」が 55.1%で最も高く、次いで「子ども2人乗せ自転車等購入費助成事業」が 34.4%、「出産・子育て応援ギフト給付事業」が 22.1%となっている。

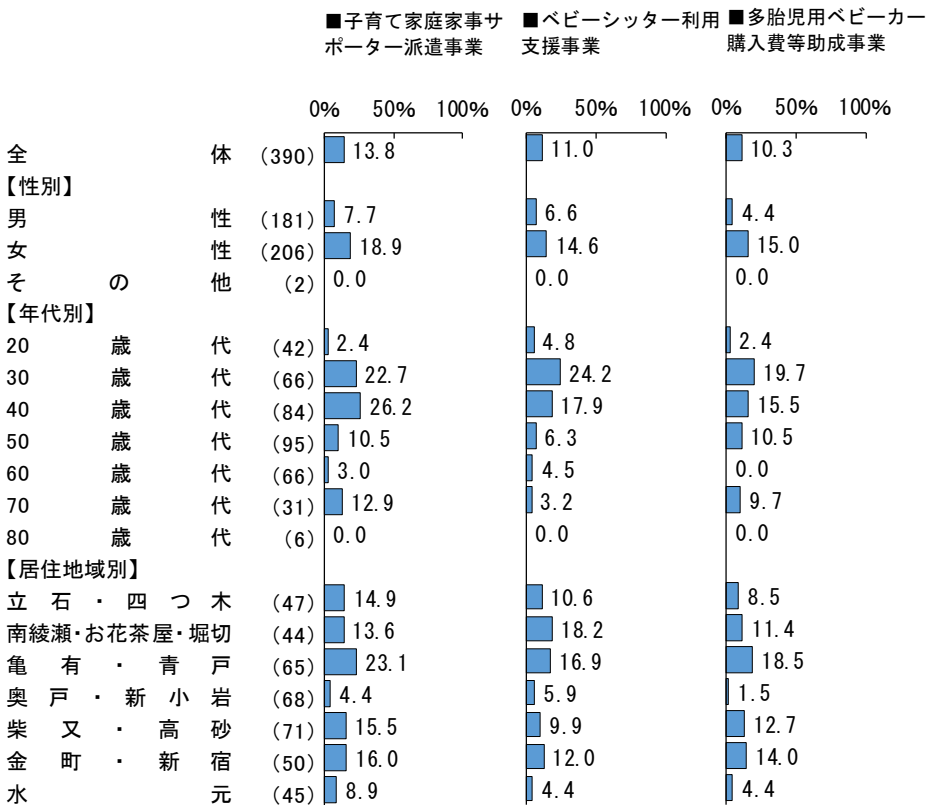
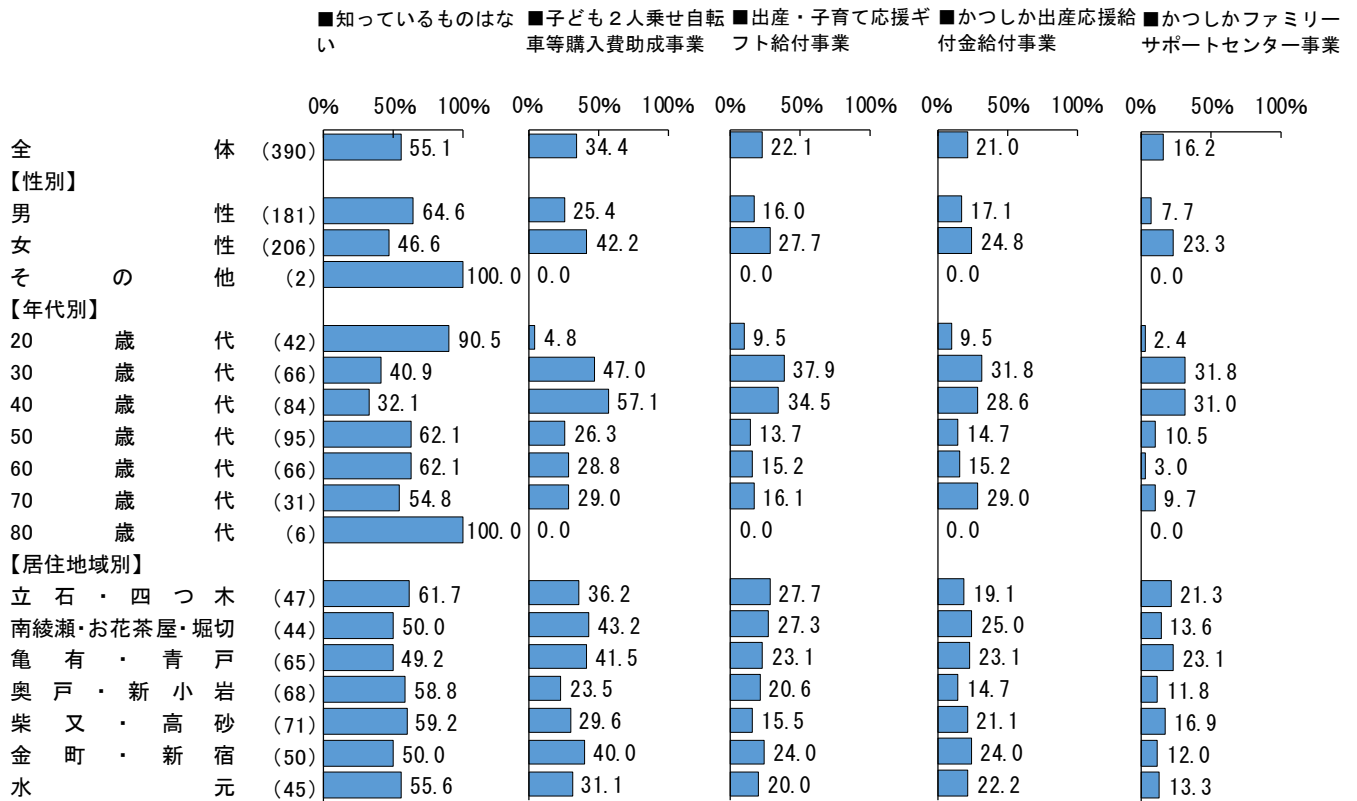
性別で見ると、全ての給付・助成制度で女性が男性より高くなっている。

年代別で見ると、「知っているものない」は 20 歳代が 90.5%と最も高くなっている一方、40 歳代が 32.1%と最も低くなっている。

図表-51 妊婦・子育て世帯向け給付・助成制度を知っているか（全体）



図表一52 妊婦・子育て世帯向け給付・助成制度を知っているか
(全体・性別・年代別・居住地域別)



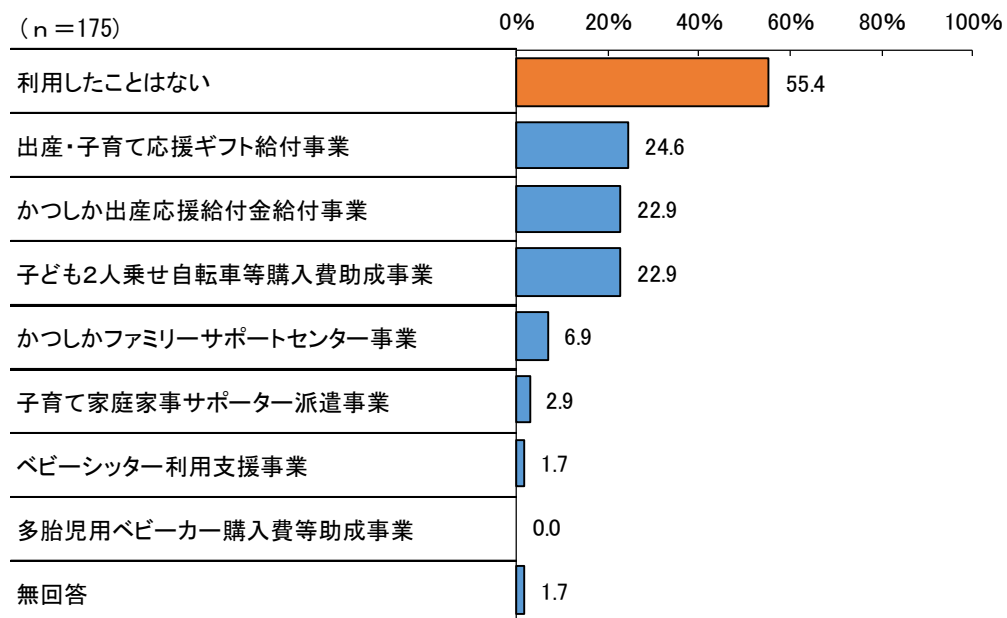
(29) 妊婦・子育て世帯向け給付・助成制度を利用したことがあるか

問 29 問 28 で選択肢 1～7 を選択した方にお伺いします。選択した制度を利用した（利用する見込みである場合含む）ことはありますか。（あてはまるものを全て選択）

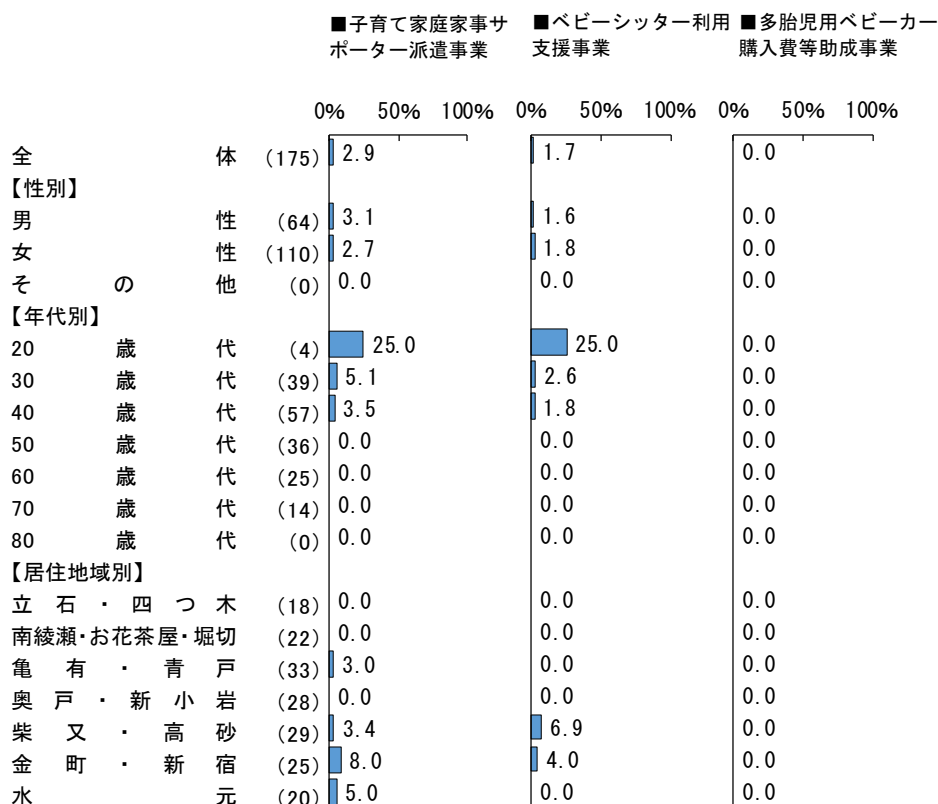
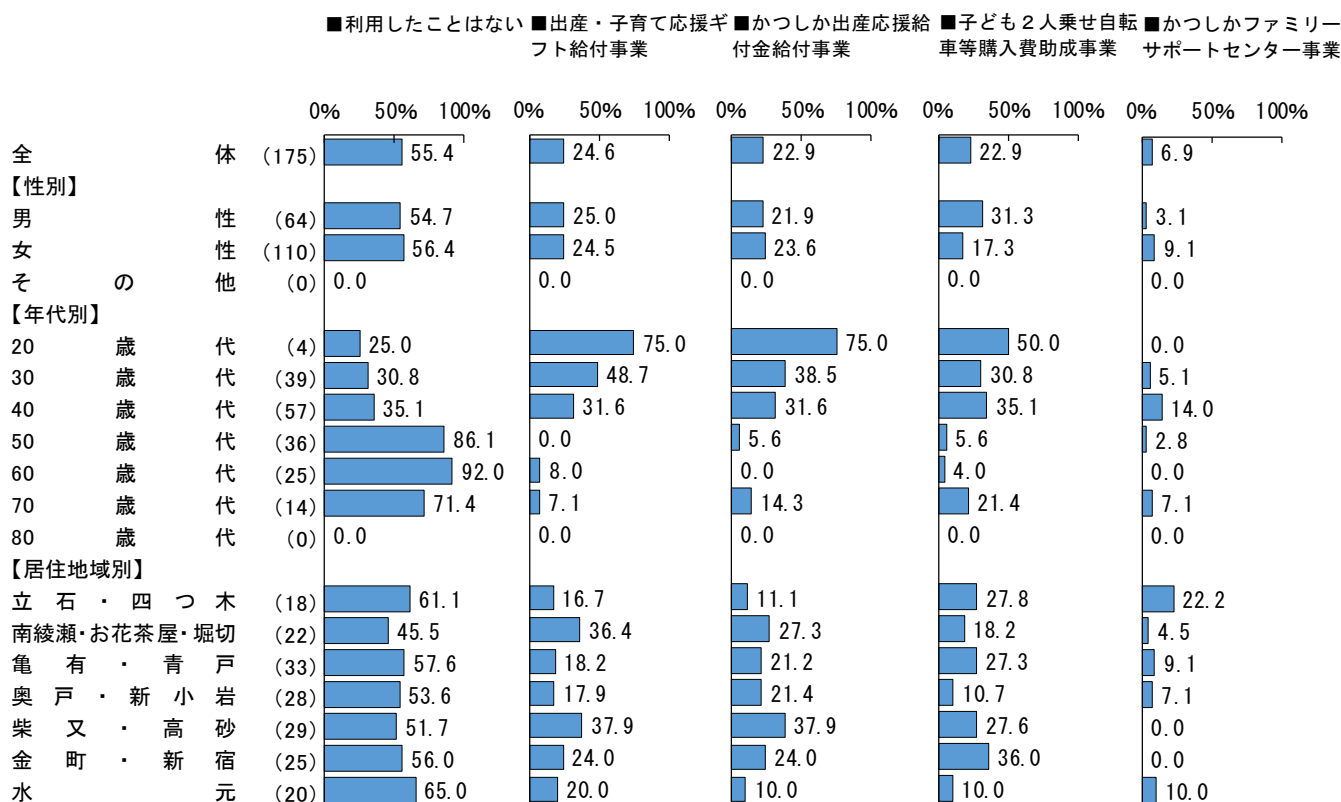
妊婦・子育て世帯向け給付・助成制度を利用したことがあるかについては、「利用したことはない」が 55.4% で最も高く、次いで「出産・子育て応援ギフト給付事業」が 24.6%、「かつしか出産応援給付金給付事業」と「子ども 2 人乗せ自転車等購入費助成事業」が 22.9% となっている。

年代別でみると、「利用したことはない」は 50 歳代以上の年代で 7 割を超えて高くなっている一方、20 歳代が 25.0%、30 歳代が 30.8%、40 歳代が 35.1% となっている。また、「出産・子育て応援ギフト給付事業」と「かつしか出産応援給付金給付事業」は 20 歳代が 75.0% と最も高くなっている。「子ども 2 人乗せ自転車等購入費助成事業」は 20 歳代が 50.0% と最も高く、次いで 40 歳代が 35.1%、30 歳代が 30.8% となっている。

図表－53 妊婦・子育て世帯向け給付・助成制度を利用したことがあるか（全体）



図表-54 妊婦・子育て世帯向け給付・助成制度を利用したことがあるか
(全体・性別・年代別・居住地域別)



(30) 制度をどのように知ったか

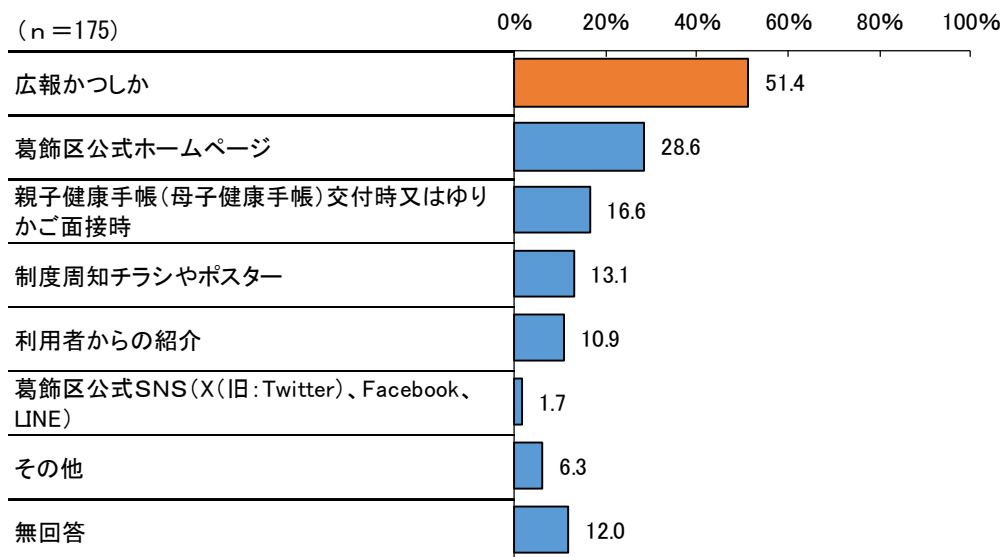
問 30 問 28 で選択肢 1～7 を選択した方にお伺いします。選択した制度をどのように知りましたか。(あてはまるものを全て選択)

制度をどのように知ったかについては、「広報かつしか」が 51.4%で最も高く、次いで「葛飾区公式ホームページ」が 28.6%、「親子健康手帳(母子健康手帳) 交付時又はゆりかご面接時」が 16.6%となっている。

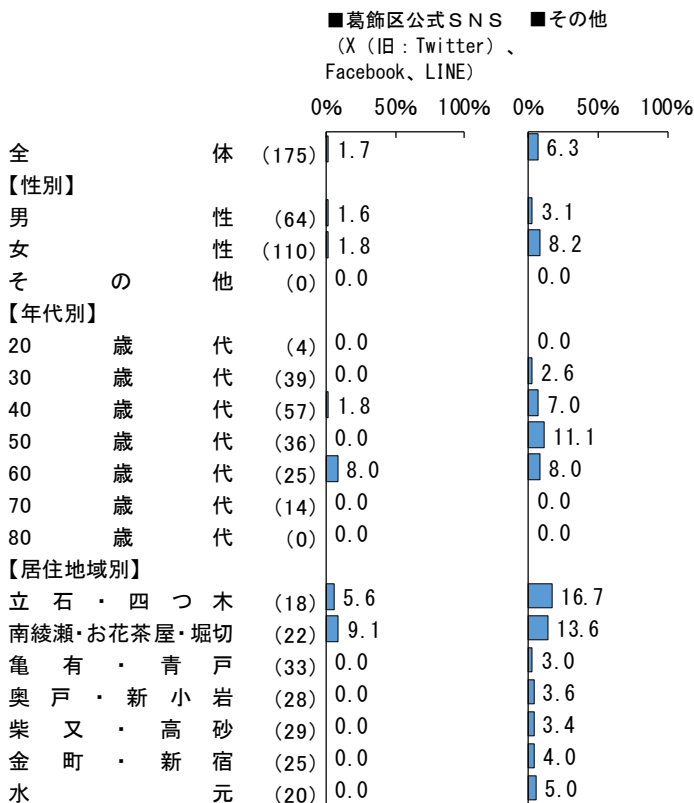
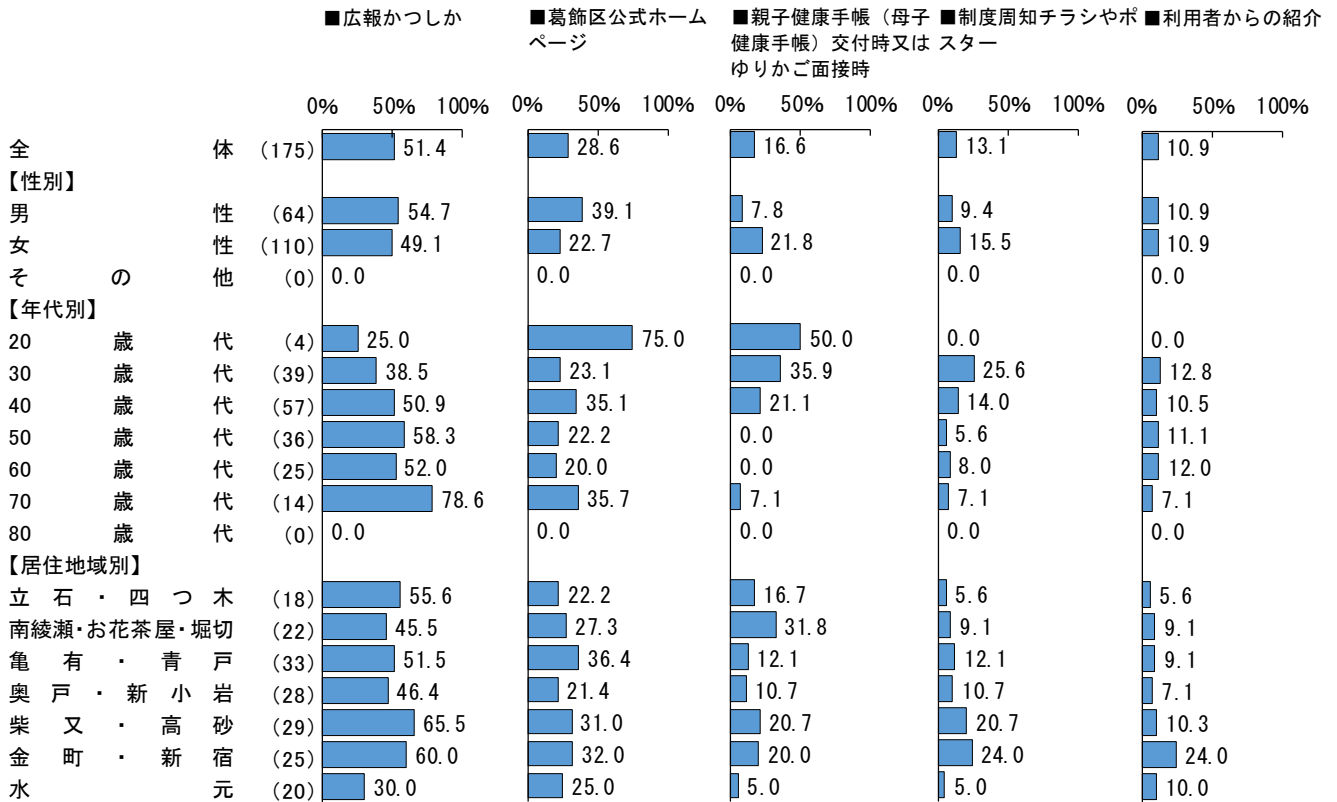
年代別でみると、「広報かつしか」は 70 歳代が 78.6%と最も高く、次いで 50 歳代が 58.3%、60 歳代が 52.0%となっている。また、「葛飾区公式ホームページ」は 20 歳代が 75.0%と最も高くなっている。

「その他」の内容については、「社協だより」「出産の際保健センターで教えてもらった」「人づて」などがあつた。

図表-55 制度をどのように知ったか (全体)



図表-56 制度をどのように知ったか
(全体・性別・年代別・居住地域別)



(31) 効果的な広報活動について

問 31 妊婦・子育て世帯向け給付・助成制度の認知度を高めるために、どのような広報が最も効果的だと思いますか。(1つ選択)

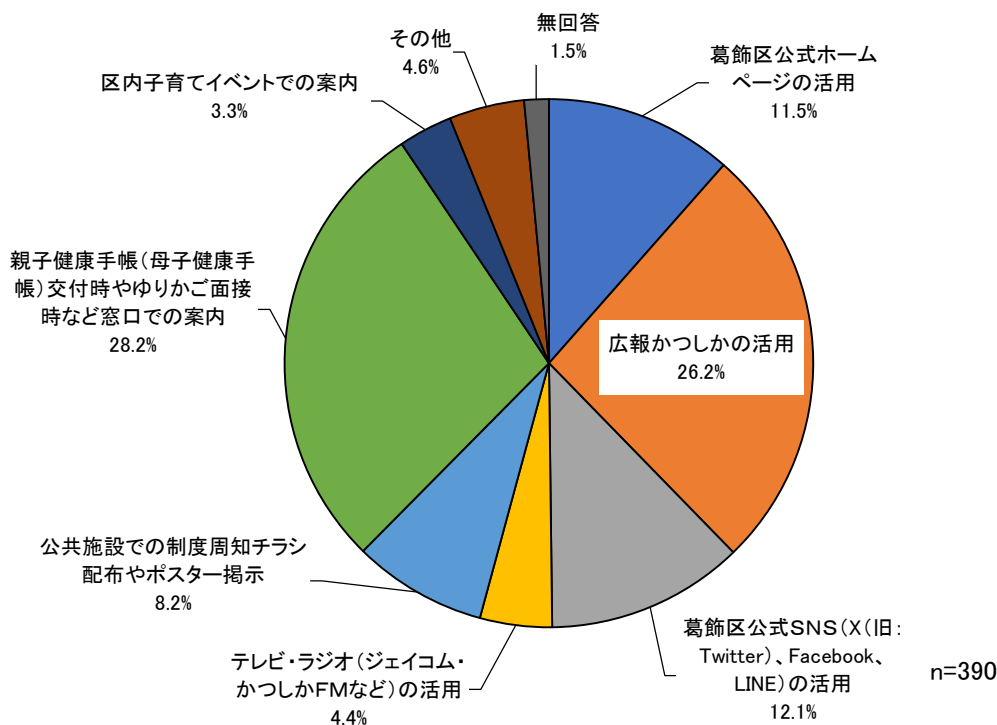
給付・助成制度の認知度を高めるために効果的な広報活動については、「親子健康手帳（母子健康手帳）交付時やゆりかご面接時など窓口での案内」が28.2%で最も高く、次いで「広報かつしかの活用」が26.2%、「葛飾区公式SNS（X（旧：Twitter）、Facebook、LINE）の活用」が12.1%となっている。

性別でみると、「親子健康手帳（母子健康手帳）交付時やゆりかご面接時など窓口での案内」は女性が35.9%で男性の19.3%より高くなっている。

年代別でみると、「親子健康手帳（母子健康手帳）交付時やゆりかご面接時など窓口での案内」は30歳代が36.4%で最も高く、次いで40歳代が31.0%、60歳代が30.3%となっている。また、「広報かつしかの活用」は70歳代が58.1%で最も高く、次いで60歳代が30.3%、40歳代が26.2%となっている。

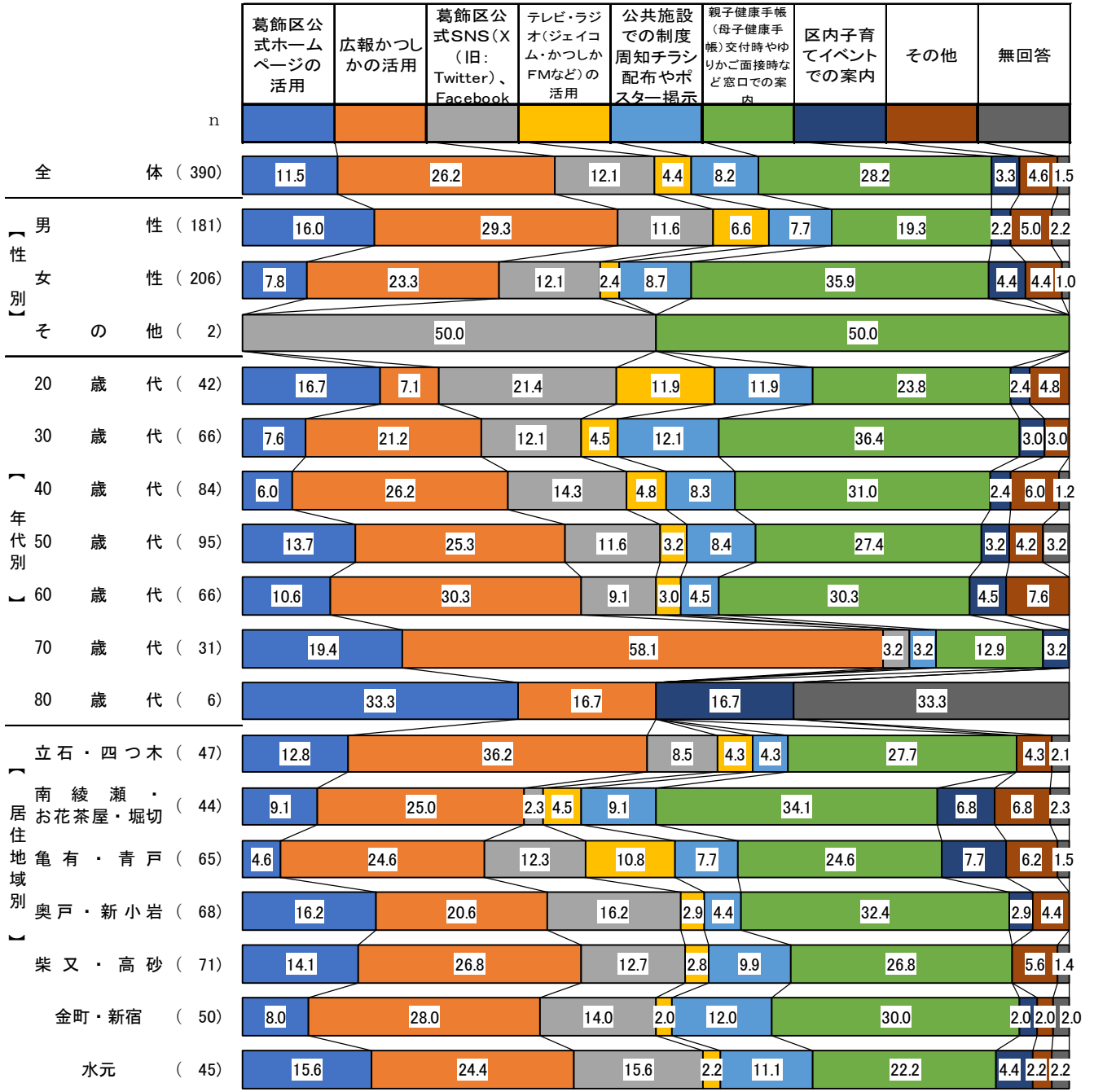
「その他」の内容については、「回覧板」、「小児科や産婦人科での周知活動」「スーパーなどの掲示スペースを利用」、「駅などにチラシを貼る」などがあつた。

図表－57 効果的な広報活動について（全体）



図表-58 効果的な広報活動について
(全体・性別・年代別・居住地域別)

(%)



(32) 妊婦・子育て世帯向けの給付・助成制度についてのご意見

問 32 妊婦・子育て世帯向け給付・助成制度について、「既存の制度において改善した方がよい点」や「このような制度があるとよい」などのご意見がありましたらご記入ください。（自由記述）

【主な意見】

- ・自転車の助成は知らずに購入してしまい、後日知人に教えてもらった。自転車についても窓口での案内やチラシなどがあると良い。
- ・数ヶ月前に妻が妊娠し、補助制度について調べた。葛飾区の HP に情報がまとめられており大変助かった。妊娠するまで調べる機会はなかったため、自転車購入補助などまであるのかと驚いた。妊娠前では関心が薄いので、母子手帳交付時に案内するのが一番効率的かと思う。
- ・このアンケートで、子育て家族にはとても良いサポートがあると知った。私の子どもたちにも葛飾区に住んで子育てしてもらいたいと思った。
- ・このような情報は児童館等の公共の施設や知人からの話で知ることが多いが、周りに知人が少ない方や公共施設に行けない人たち向けに、助成があることを周知できるよう強化していったらよいと思う。
- ・おもちゃ貸し出しサービスがあったら利用してみたいと思う。
- ・役所等に出向かなくても申請等ができるといいと思う。認知度も低い気がするので、スーパー等にもポスターがあると目につきやすいと思う。
- ・核家族で夫が仕事の場合、昼間は母と子どもだけになってしまうので、母親が大人とお話できる機会等の場所の提供もほしい。
- ・緊急の時に使えるタクシー券（体調不良や急な子どもの搬送などに使える）があると良いと思う。ただし期間や区内限定とする。救急車を呼ばなくても自分で何とか動けるが、車が無いとか、自身も妊婦で下の子もまだ手がかかる時など役に立つのではないかと思う。
- ・自転車の助成を子ども 1 人からでも給付してほしい。子育て中に家事の支援など気軽に使えるサービスがあると助かる。
- ・子育て時期に経済的に豊かになる支援が必要。
- ・給付金を増やす。
- ・子育て世代には、申請するしないにかかわらず、支援をお願いしたい。
- ・大学に行ってからの方がお金がかかるので、18 歳までではなく、大学卒業までの援助があるととても助かる。
- ・保育士や幼稚園教諭など子育て世代を支える人たちに対して給料が上がるような制度があると良い。
- ・初めての出産を経験した母親の家庭には、必ず複数回のサポートをしてほしいと願う。ベテラン保育士の家庭訪問や、給食宅配サービスなどの具体的なサービスを複数回することで、産後うつや虐待も見つけやすくなると思う。
- ・ポイントではなく現金が嬉しい。
- ・児童館や子育て施設に職員を増やして、積極的に話を聞いてあげてほしいです、とくに一人目の妊婦さん。

- ・若い人たちが葛飾に引っ越してきてくれるような、転入特典があったら良いと思う。5年以上住んだらいくらかなど支援金のようなもの。
- ・3人目からのサポート(2人乗せ自転車等)が手厚く感じるが、今は晩婚化や高齢出産が当たり前の時代なので、1人でも給付や助成が手厚いとありがたいと思う。
- ・基本的な出産系の費用は国と自治体でほぼ無料にしてほしい。
- ・妊娠中のつわりが辛い時や出産後移動が大変な中、窓口へ行くことが本当に大変である。また何事も書類を揃えることや申請が必要で、利用したくても今すぐというのが難しい。児童館や地区センターのような自宅から行きやすい場所を利用者が指定して面談や手続きがスムーズに出来るとありがたい。何よりも手軽なのはスマホで申請できるようにすること。
- ・子育て中の親の医療費や予防接種費の助成をしてほしい。
- ・保育園、学童保育の無償化。学校の無償化。習い事、塾などの費用支援。
- ・ファミリーサポート制度の登録が手間すぎて途中で挫折した。もっと簡易的に登録、利用できるようにしてほしい。
- ・いろいろな助成があって、どれがどれだかわかりづらい。
- ・小学生の放課後の遊び場の充実。安全に遊べる場があればと思う。
- ・妊娠初期のケアに関する支援があると、なお手厚いと感じる。
- ・マイナンバーカードがあるので、未申請でも早急の支給を検討してほしい。
- ・大学生の子育て世代も補助があればかなり嬉しい。
- ・乳児の一時保育を利用したく調べているが、面倒であきらめかけている。もう少しわかりやすく、利用しやすくしてほしい。制度があっても利用出来なければ無いのと一緒に。
- ・小・中学校の修学旅行費を無料にしたのは良い制度だと思う。現金の給付・助成金の支給など金銭を直接支給するのではなく、妊婦・子育て世帯が手助けしてほしいサービスを行うことをした方が良い。金銭の給付をしていると給付ありきの生活設計になり給付がなくなると途端に生活が苦しいと思うようになる。妊婦の検診料を払うことが厳しい世帯が子どもが生まれてからおむつ代やミルク代を自腹で払うことは厳しいと思う。お金で支給するのではなくおむつやミルクの引換券を渡せば良いのではないかと感じる。

令和6年度
第4回葛飾区区民モニターアンケート調査報告書

令和6年（2024年）12月
葛飾区総務部すぐやる課すぐやる係
東京都葛飾区立石5-13-1
電話 03-3695-1111（代表）